

1 教育を取り巻く環境

	ページ
(1) 人口減少・少子高齢社会・核家族化	
① 県人口の推移と将来推計（三重県）	1
② 公立小学校の児童数の推移と将来推計（三重県）	1
③ 世帯数と世帯当たりの人数(三重県)	2
(2) 国際化・グローバル化の進展	
① 外国人住民数の推移（三重県・国別）	3
② 日本語指導が必要な外国人児童生徒数の推移（三重県）	3
③ 日本から海外への留学者数の推移（全国）	4
④ 三重県への外国人留学生数の推移	4
⑤ 高校生の海外留学者数の推移（三重県）	5
(3) 高度情報化の進展	
① インターネット利用者数および人口普及率の推移（全国）	6
(4) 経済・雇用環境の変化	
① 一人当たりの市町民所得（三重県・市町別）	7
② 年齢階級別若年無業者と人口に占める割合の推移（全国）	7
③ 卒業後3年以内に離職した人の割合	8
(5) 価値観の変化	
① 現在の世相（肯定的・否定的イメージ）（全国）	9
② 地域の人々との交流に対する意識の推移（全国）	10
③ 心の豊かさ、物の豊かさを重視する割合（全国）	10

2 子どもたちの姿

(1) 学力・学習意欲	
① 全国学力・学習状況調査の各教科の平均正答率	11
② 上記調査結果の推移（全国平均正答率との差）	12
③ 家庭で学校の授業の復習に取り組む児童生徒の割合	13
④ 学習塾に通っている児童生徒の割合	13
⑤ 1日当たりの家庭学習の時間（登校日・休日）	14
⑥ 家庭での計画的な学習への取組	15
⑦ 授業内容の理解度（三重県）	15
⑧ 国語の授業内容の理解度	16
⑨ 算数・数学の授業内容の理解度	16
⑩ 理科の授業内容の理解度	17

(2) 体力・運動能力	
① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査の結果	18
② 運動やスポーツに対する意識と体力の関係	21
③ 体育・保健体育の授業に対する意識と体力の関係	22
④ 部活動等への所属状況と体力との関係	23
⑤ 体育・保健体育の授業以外での運動時間確保の取組	23
⑥ 運動習慣	24
(3) 生活習慣	
① 朝食の摂食状況	26
② 寝起きの状況	26
③ 平日のテレビ等の視聴時間	27
(4) 規範意識・道徳心・自尊感情	
① 学校のきまりを守ること	28
② 人の気持ちが分かる人間になりたいという意識	28
③ 人の役に立つ人間になりたいという意識	29
④ 自分には、よいところがあるという意識	29
(5) いじめ・不登校等の状況	
① いじめの認知件数の推移（三重県）	30
② いじめに対する考え方	30
③ 暴力行為の発生件数の推移（三重県）	31
④ 学年別不登校児童生徒数の推移（三重県）	31
⑤ 県立高校における中途退学者数および中途退学率の推移（三重県）	32
(6) 読書活動	
① 平日の読書時間	33
② 一斉読書の実施状況	33
③ 学校図書館を活用した授業の実施状況	34
④ 学校図書館担当職員の配置状況	34
(7) 文化芸術活動	
① 住んでいる地域の行事への参加状況	35
② 博物館や科学館、図書館を利用した授業の実施状況	35
(8) 特別支援教育	
① 特別支援学級等に在籍する児童生徒数の推移（三重県）	36
② 発達障がいの可能性のある児童生徒数の割合	36
③ 特別支援学校卒業生の進路状況（三重県）	37
(9) キャリア教育・進路	
① 将来の夢や目標の有無	37
② チャレンジ精神	38
③ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導の実施状況	38
④ 職場見学・職場体験活動の実施状況	39

⑤ 県立高校におけるインターンシップの実施状況（三重県）	39
⑥ 県立高校卒業者の進学率・就職率の推移（三重県）	40
⑦ 高校卒業者の就職内定率の推移	40
⑧ 高校卒業者の産業別構成比の推移（三重県）	41

(10) 情報モラル教育

① 携帯電話やスマートフォンの使用状況	42
② インターネット利用に関する家庭のきまりの有無（全国）	42

3 子どもたちを取り巻く環境

(1) 安全・安心

① 不審者事案の件数（三重県）	43
② 児童生徒の食物アレルギーの現状(三重県)	43
③ 奨学金貸与者数(三重県)	44
④ 防災教育・防災対策の推進状況（三重県）	44
⑤ 学校の耐震化率(三重県)	44

(2) 教員

① 教員の年齢構成（三重県）	45
② 教員の病気休職者数（精神疾患の数）（三重県）	45
③ 教職員の満足度（三重県）	46
④ 教員のICTを活用する能力	47
⑤ 授業の目標（めあて・ねらい）の提示状況	47
⑥ 授業の振り返り活動の取組状況	48
⑦ 全国学力・学習状況調査結果の学校全体での活用状況	48
⑧ 校長の授業見回り状況	49
⑨ 放課後の補充的な学習サポートの実施状況	49

(3) 学校

① 学校評価の取組状況（三重県）	50
② 三重県内の中学校卒業生数の推移と予測	50
③ コミュニティ・スクールの状況(三重県)	51
④ 学校支援地域本部の設置状況(三重県)	52
⑤ 県立高等学校の教育課程による分類	53
⑥ 県立高等学校全日課程の専門学科等の設置状況	53
⑦ 県立高等学校全日課程の総合学科における系列の設置状況	53

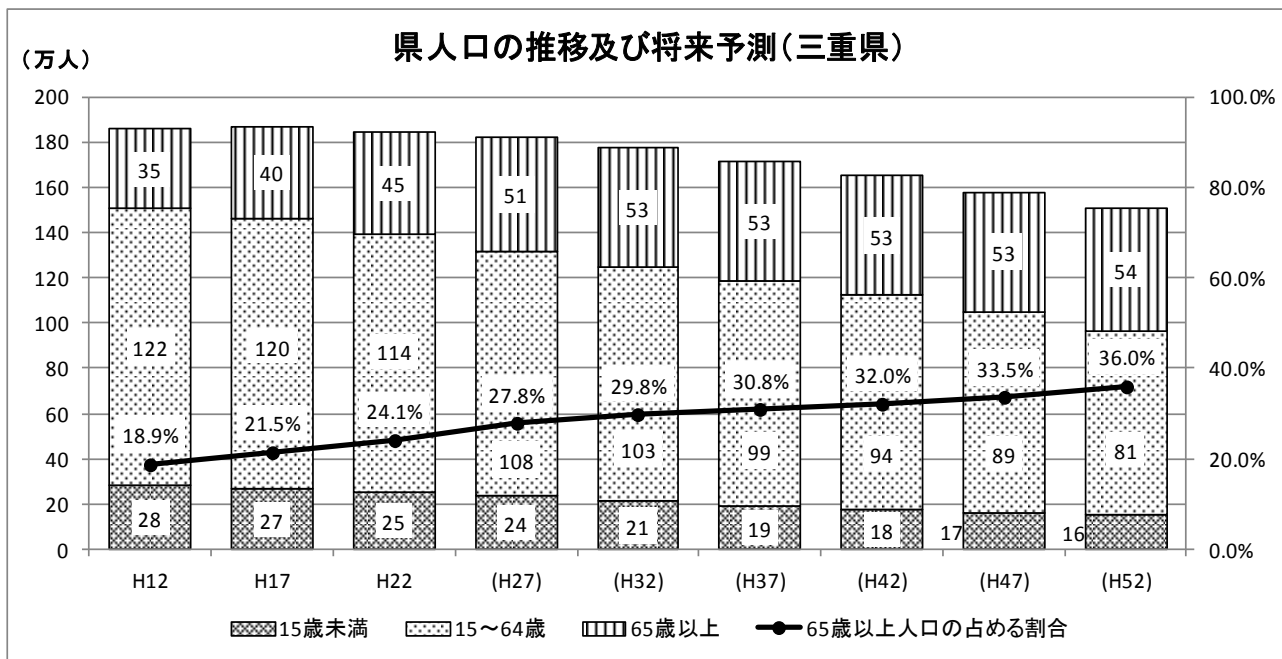
(4) 家庭・地域の教育力の向上

① 地域の人材を活用した授業の実施状況	54
② 教育を助ける活動への参加状況と意欲(三重県)	54
③ 子どものためになる教育が行われていると感じる割合(三重県)	55
④ 地域社会の中で子どもが元気に育っていると感じる割合(三重県)	55

1 教育を取り巻く環境

(1) 人口減少・少子高齢化社会

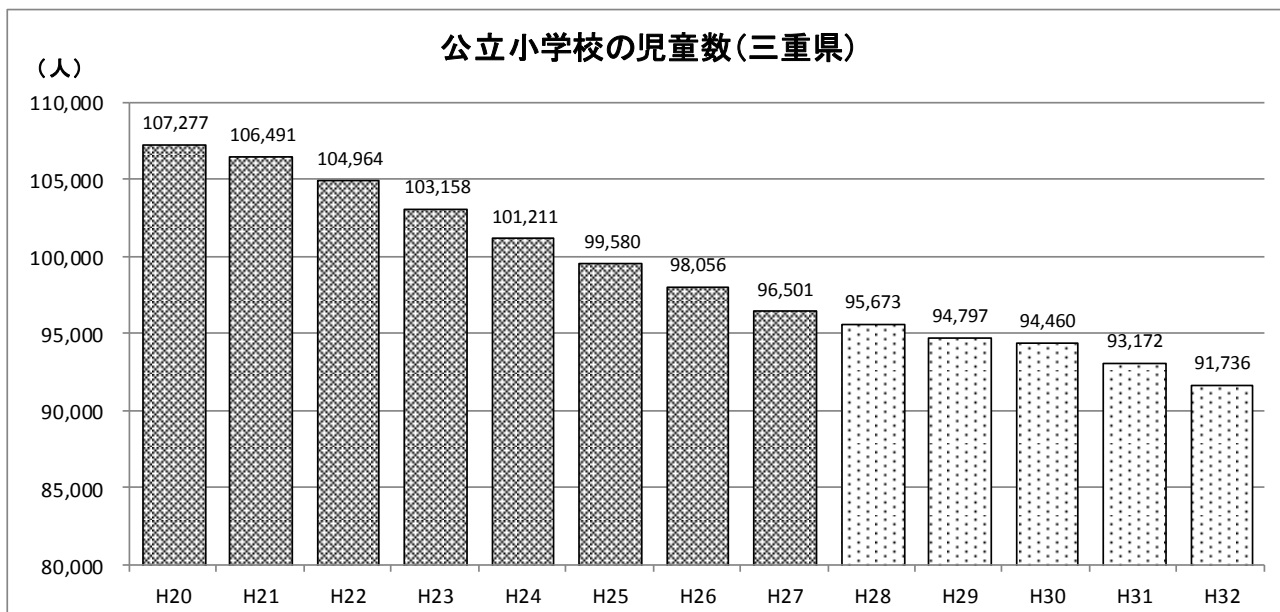
① 県人口（年齢3区分別）と将来推計



【国勢調査（総務省）、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）】

- ・ 少子高齢化が進む傾向となっている。

② 公立小学校の児童数と将来推計

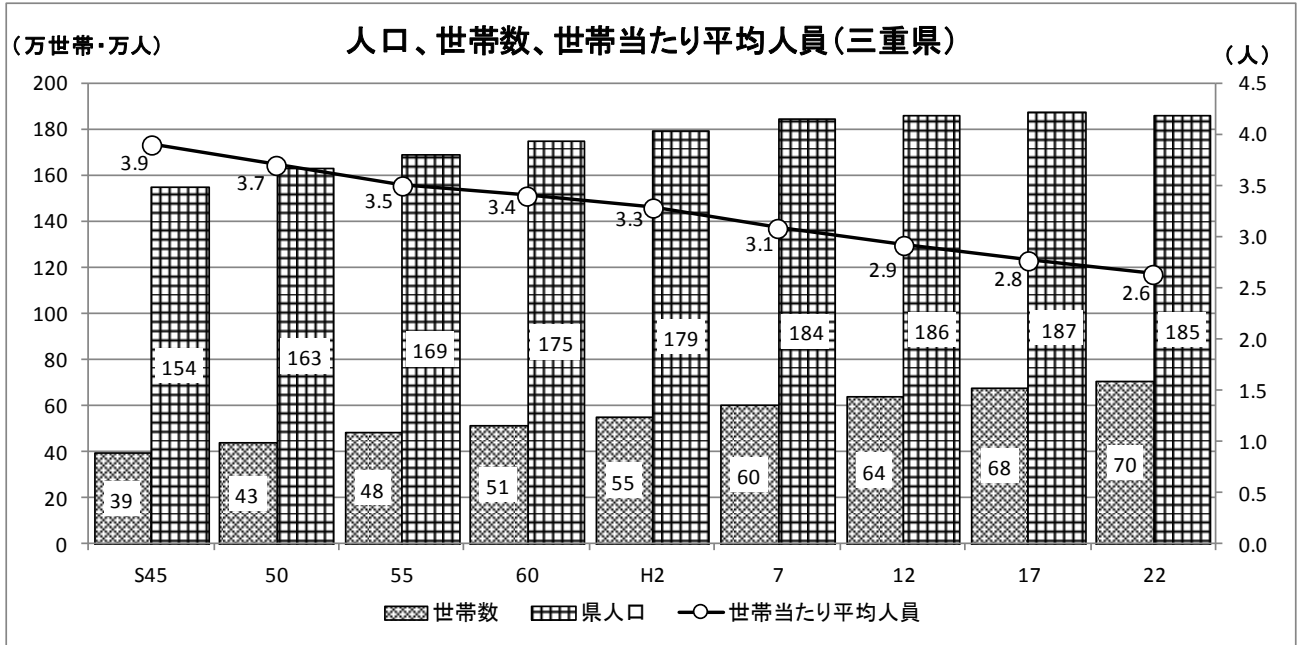


【三重県教育委員会調べ（毎年度5月1日現在）】

- ・ 公立小学校の児童数は年々減少している。

* 平成28年度以降は、見込み数。

③ 世帯数と世帯当たり人数

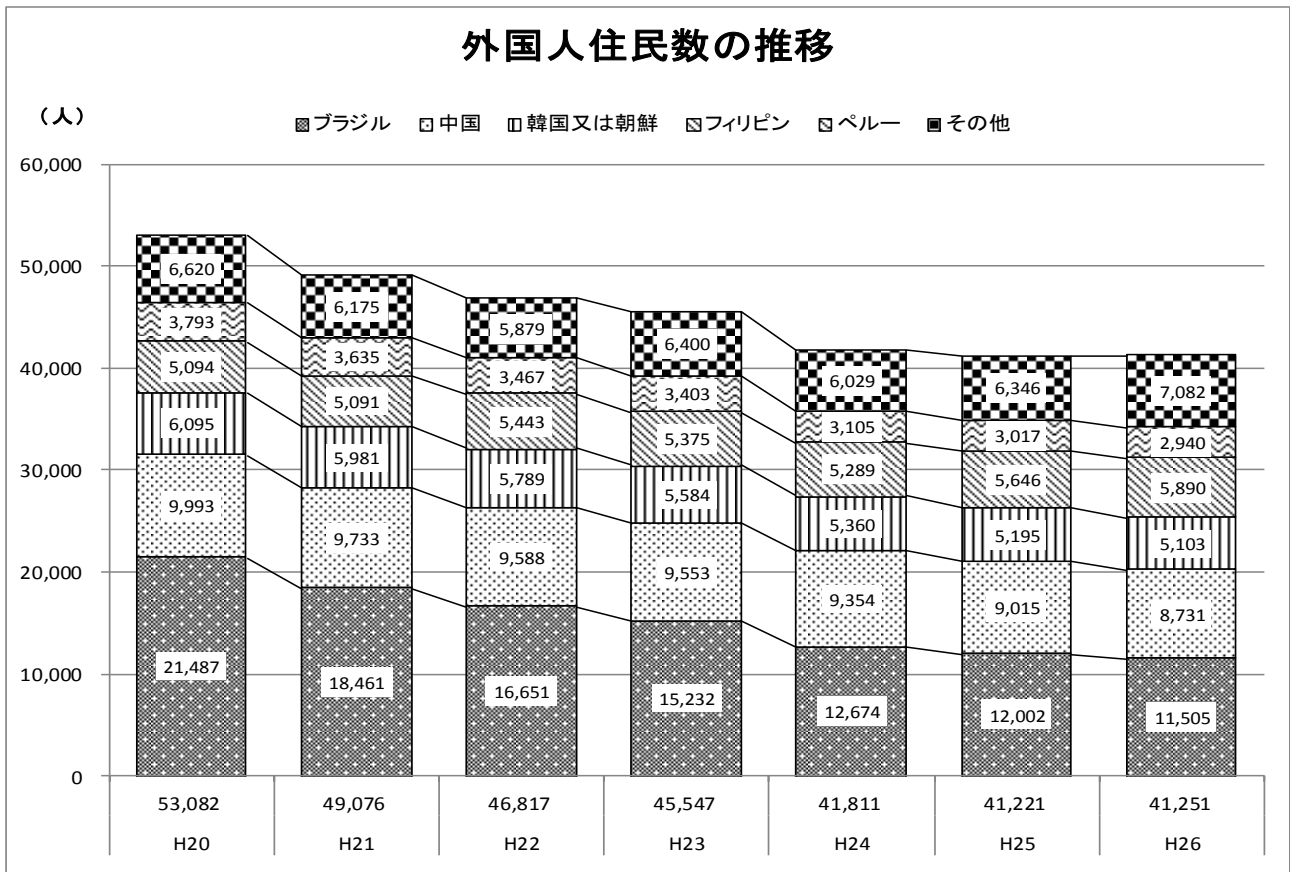


【国勢調査(総務省)】

- ・ 世帯当たりの人員は、年々減少している。

(2) 国際化・グローバル化の進展

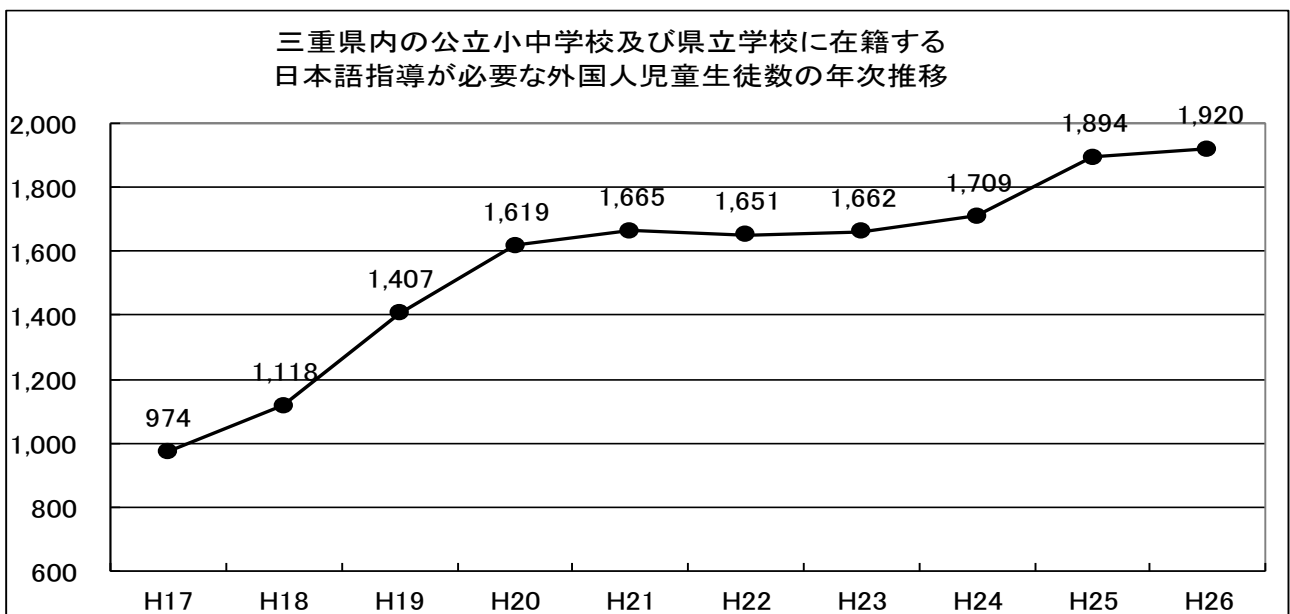
① 外国人住民数の推移（三重県）



【三重県多文化共生課調べ】

- 外国人住民数は平成20年をピークに減少傾向となっている。

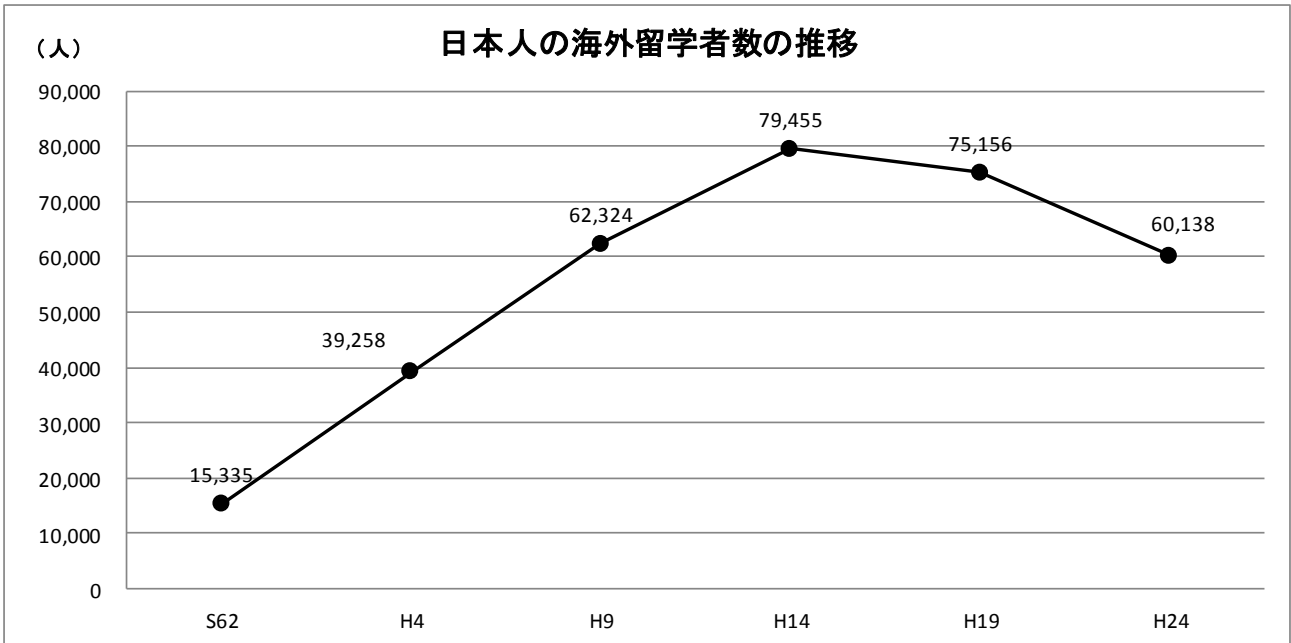
② 日本語指導が必要な外国人児童生徒数の推移（三重県）



【三重県教育委員会調べ（各年度9月1日時点）】

- 日本語指導が必要な外国人児童生徒数は増加傾向にある。

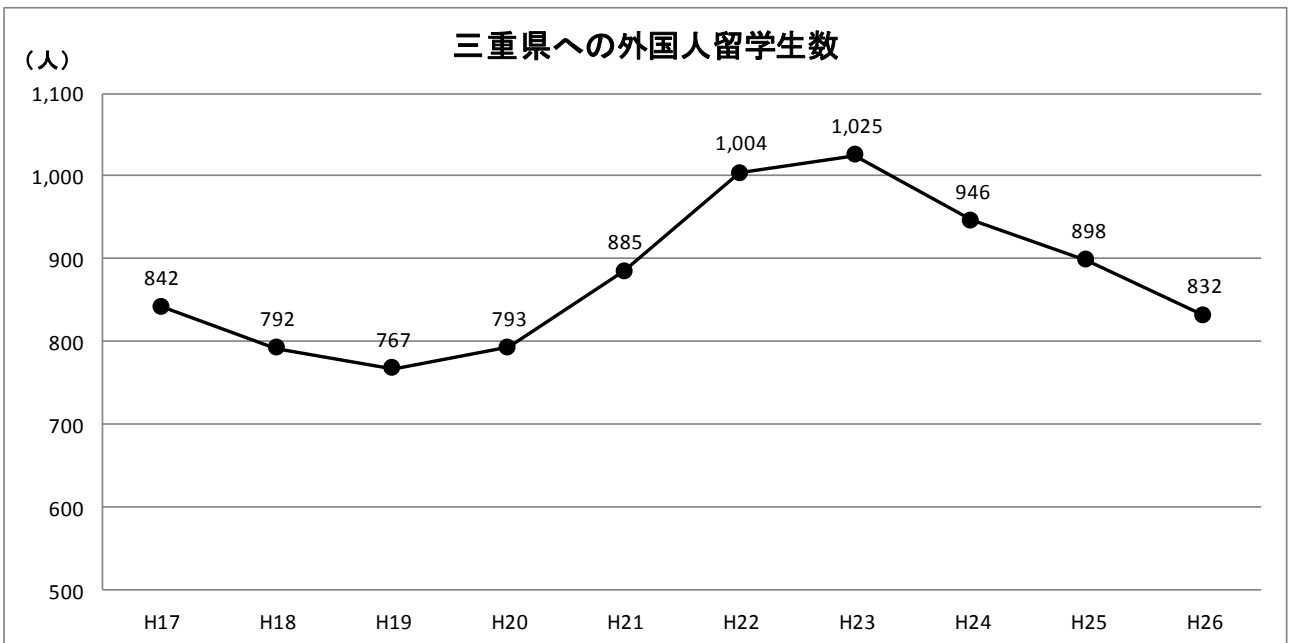
③ 日本から海外への留学者数の推移（全国）



【図表でみる教育 (Educational at a Glance) (OECD)】

- ・ 海外へ留学する日本人は減少傾向に転じている。

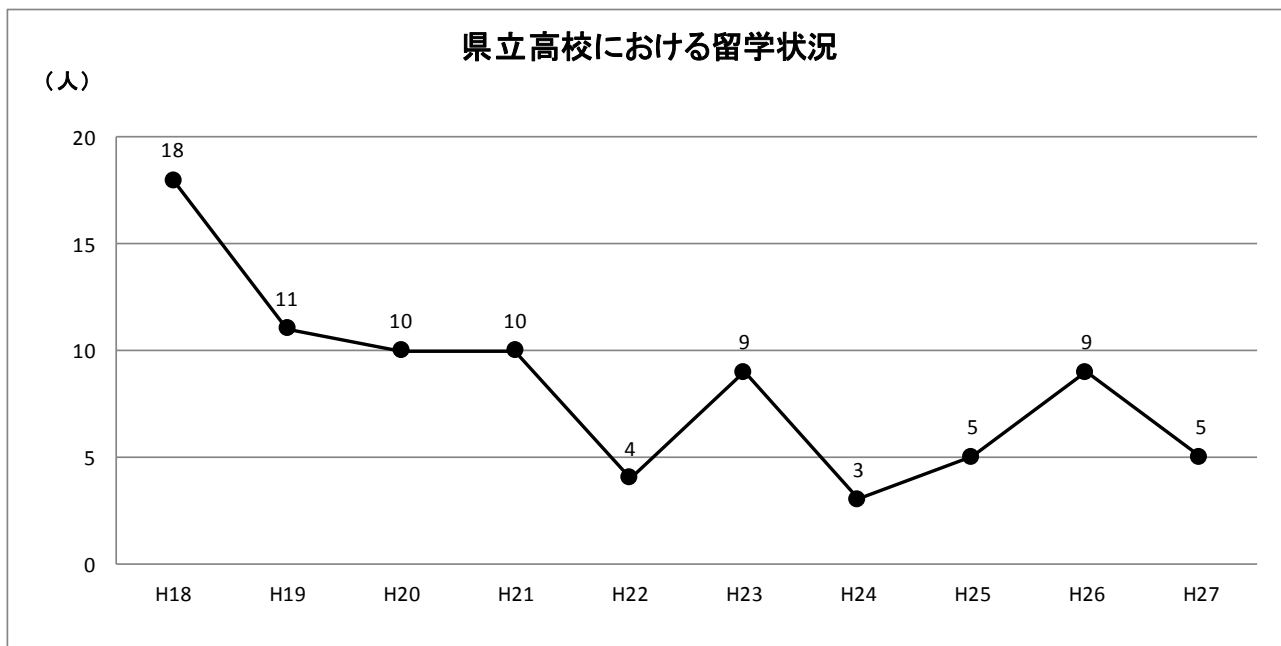
④ 三重県への外国人留学生数の推移



【外国人留学生在籍状況調査 (独立行政法人日本学生支援機構)】

- ・ 県内への留学生は、平成23年をピークに減少傾向となっている。

⑤ 高校生の海外留学者数の推移(三重県)

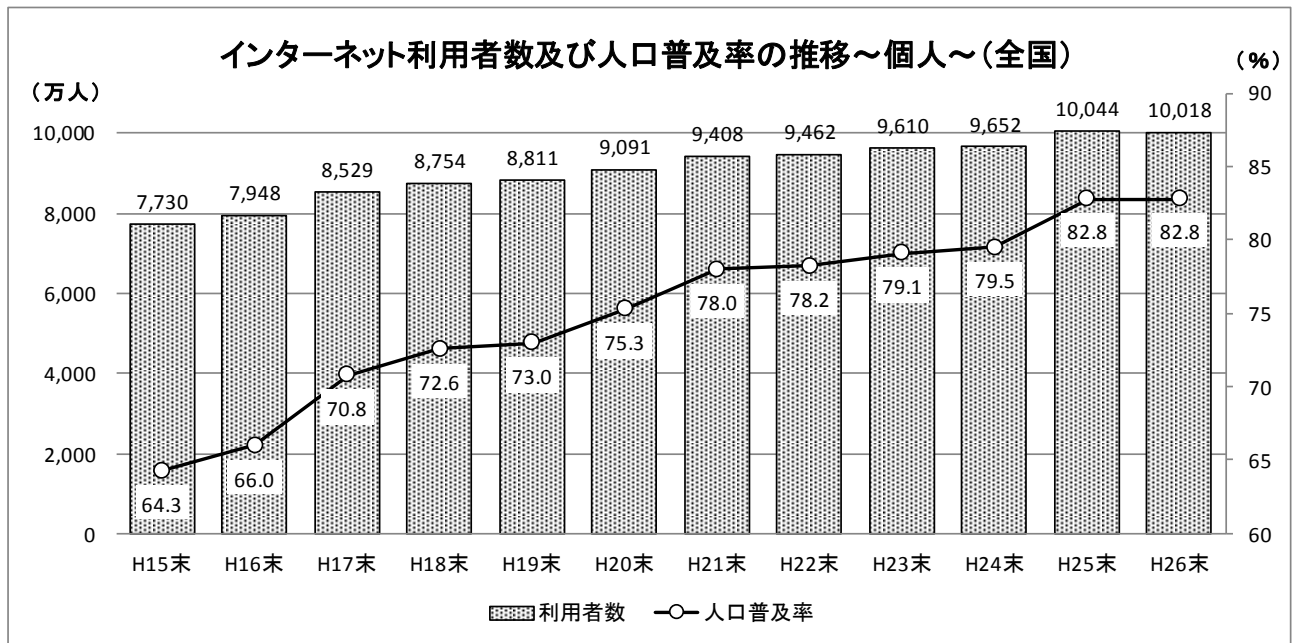


【三重県教育委員会調べ(各年度5月1日時点)】

- ・ 海外留学する県立高等学校の生徒数は、中期的にみて減少傾向にある。

(3) 高度情報化の進展

① インターネット利用者数および人口普及率



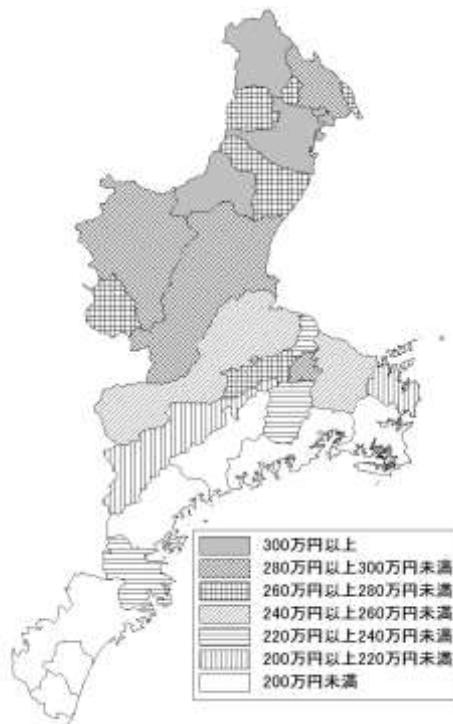
【通信利用動向調査 (総務省)】

- ・ インターネットの普及率は非常に高くなっている。

(4) 経済・雇用環境の変化

① 一人当たりの県内市町民所得（平成23年度）

	所得額	順位
全国	272	
三重県	274	全国21位
四日市市	316	1
川越町	316	2
亀山市	315	3
朝日町	315	4
いなべ市	309	5
玉城町	294	6
伊賀市	290	7
津市	286	8
桑名市	284	9
菰野町	273	10
鈴鹿市	272	11
東員町	271	12
木曾岬町	268	13
名張市	263	14
多気町	263	15
松阪市	251	16
伊勢市	245	17
明和町	238	18
尾鷲市	222	19
度会町	220	20
大台町	210	21
鳥羽市	210	22
志摩市	193	23
大紀町	191	24
御浜町	191	25
紀北町	186	26
熊野市	181	27
南伊勢町	180	28
紀宝町	173	29



※ 所得額は、雇用者報酬、財産所得、企業所得の合計であり、個人の所得水準を表わすものではない。

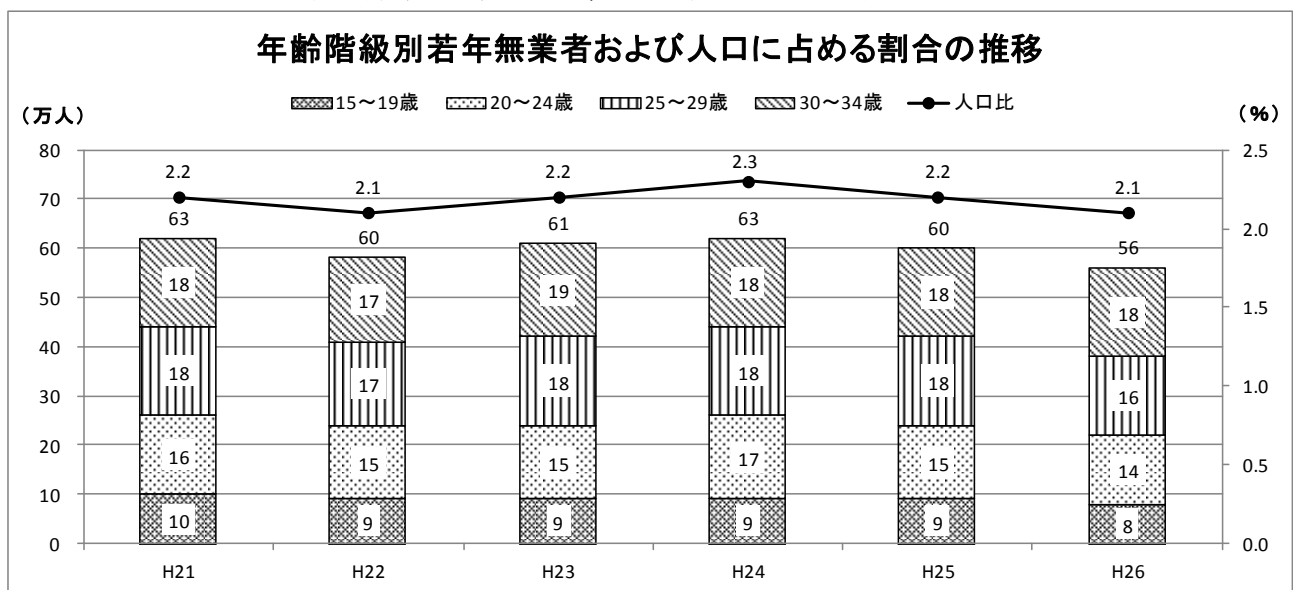
(単位：万円)

【全国：平成25年度国民経済計算確報（内閣府）、三重県：平成23年度県民経済計算（内閣府）、三重県市町：平成23年度三重県の市町民経済計算（三重県調べ）】

- ・ 三重県の一人当たりの県民所得は約274万で、全国順位は21位となっている。県内では、四日市市、川越町、亀山市、朝日町、いなべ市の5市町が300万円を超えている。一方、紀宝町、南伊勢町、熊野市等は低くなっている。

② 年齢階級別若年無業者(*)と人口に占める割合の推移

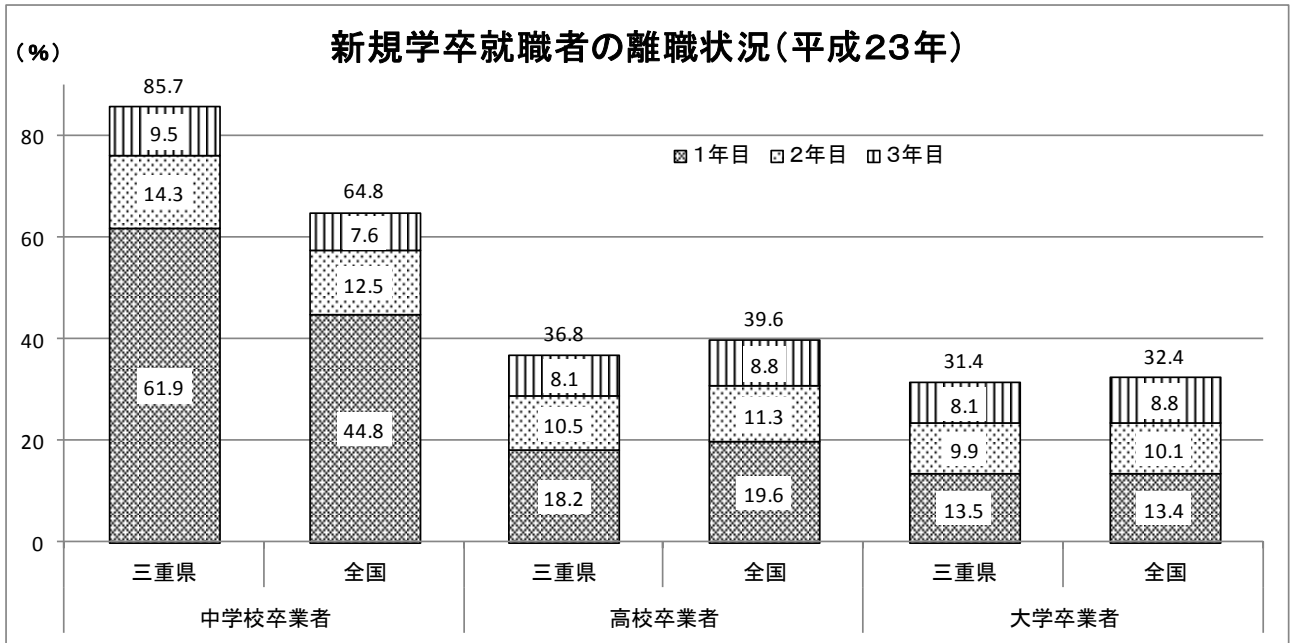
(*) 15～34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者



【労働力調査（総務省）】

- ・ 若年無業者の数は、ここ数年大きな変化はない。

③ 卒業後3年以内に離職した人の割合

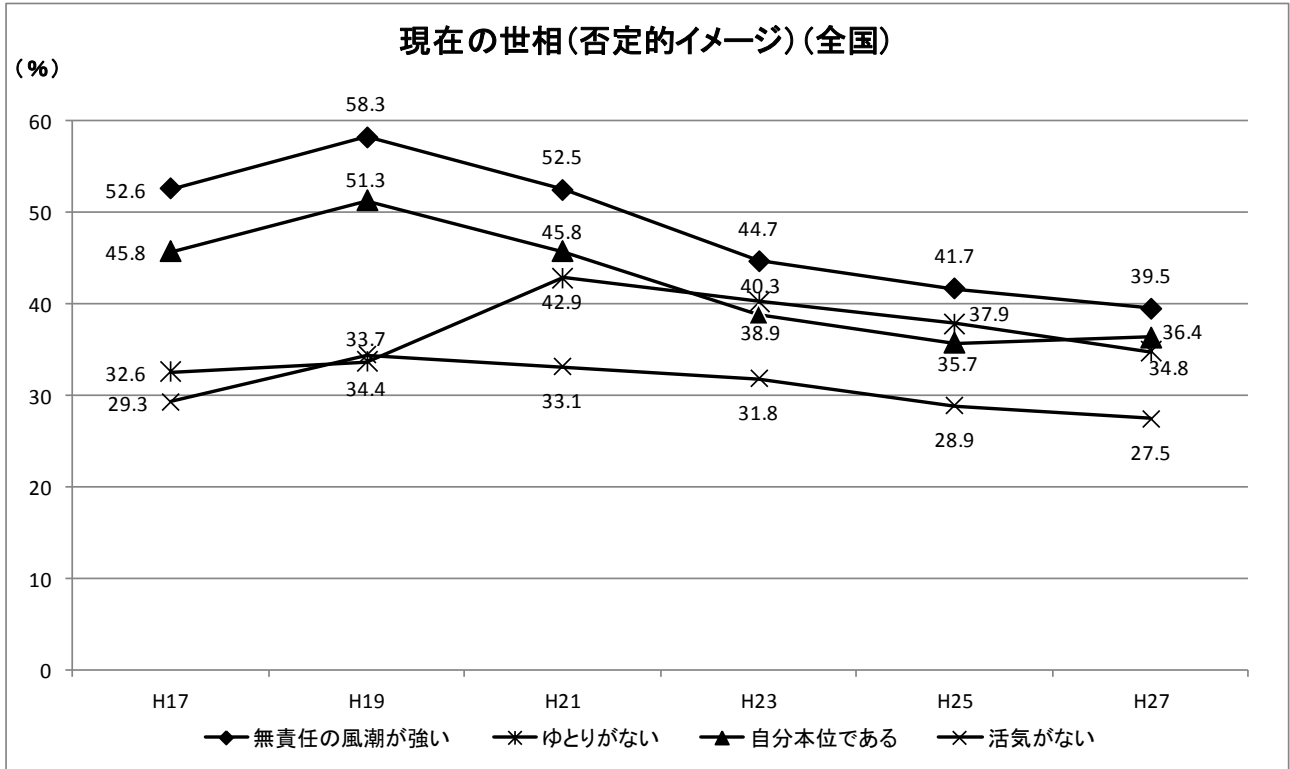
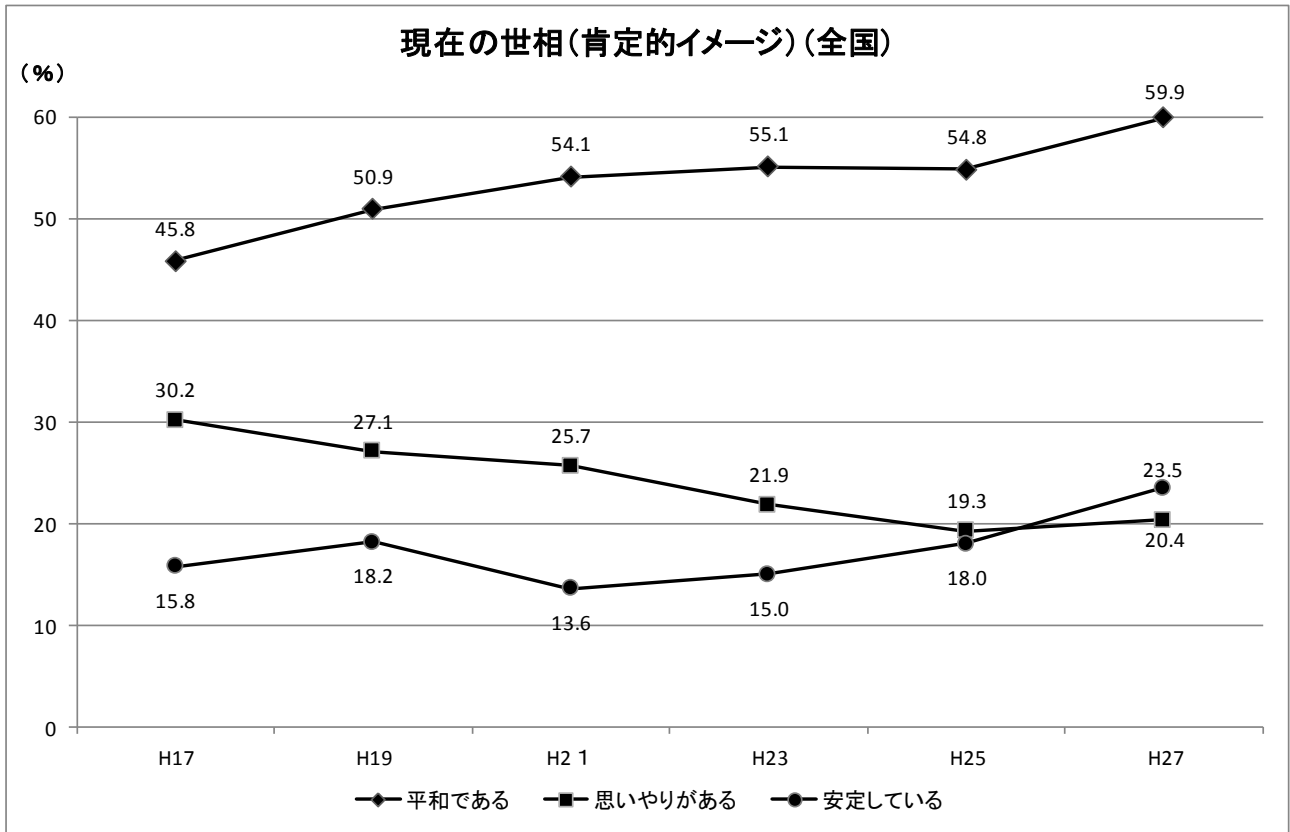


【在職期間別離職状況調査（厚生労働省）および三重労働局調べ】

- 三重県においては、中学校卒業生の約86%、高校卒業生の約37%、大学卒業生の約31%が卒業後3年以内に離職している。高校卒業生と大学卒業生については、3年以内の離職率が全国平均を下回っている。

(5) 価値観の変化

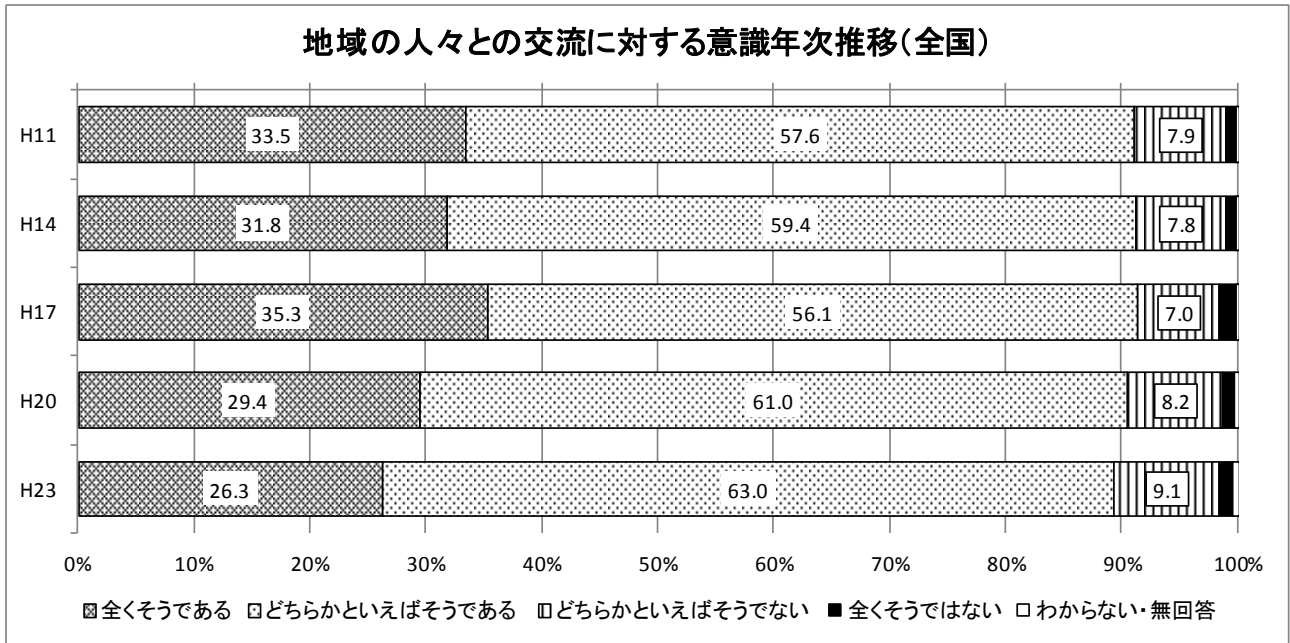
① 現在の世相イメージ



【社会意識に関する世論調査(内閣府)】

- ・ 「平和である」「安定している」の肯定的イメージが増加傾向となっている。
否定的イメージについては全体として減少傾向となっている。

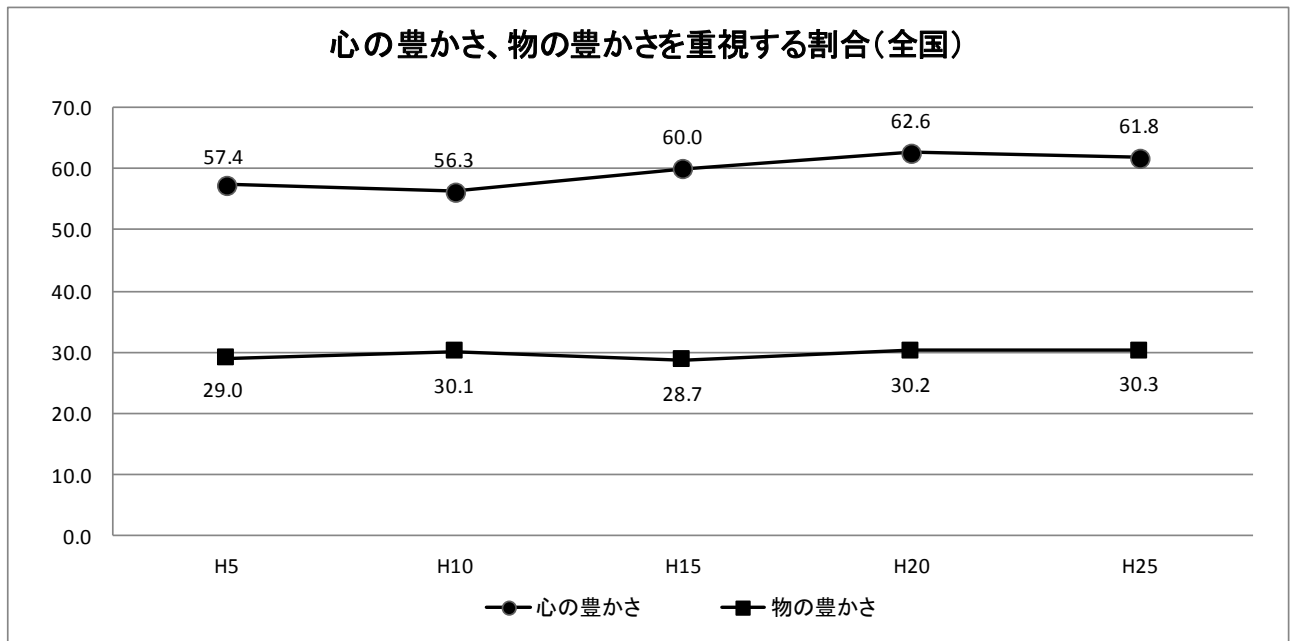
② 地域の人々との交流に対する意識



【国民生活選好度調査（内閣府）】

- ・ 地域の人々との交流が大切であるという意識が低下している傾向となっている。

③ 心の豊かさ、物の豊かさを重視する割合



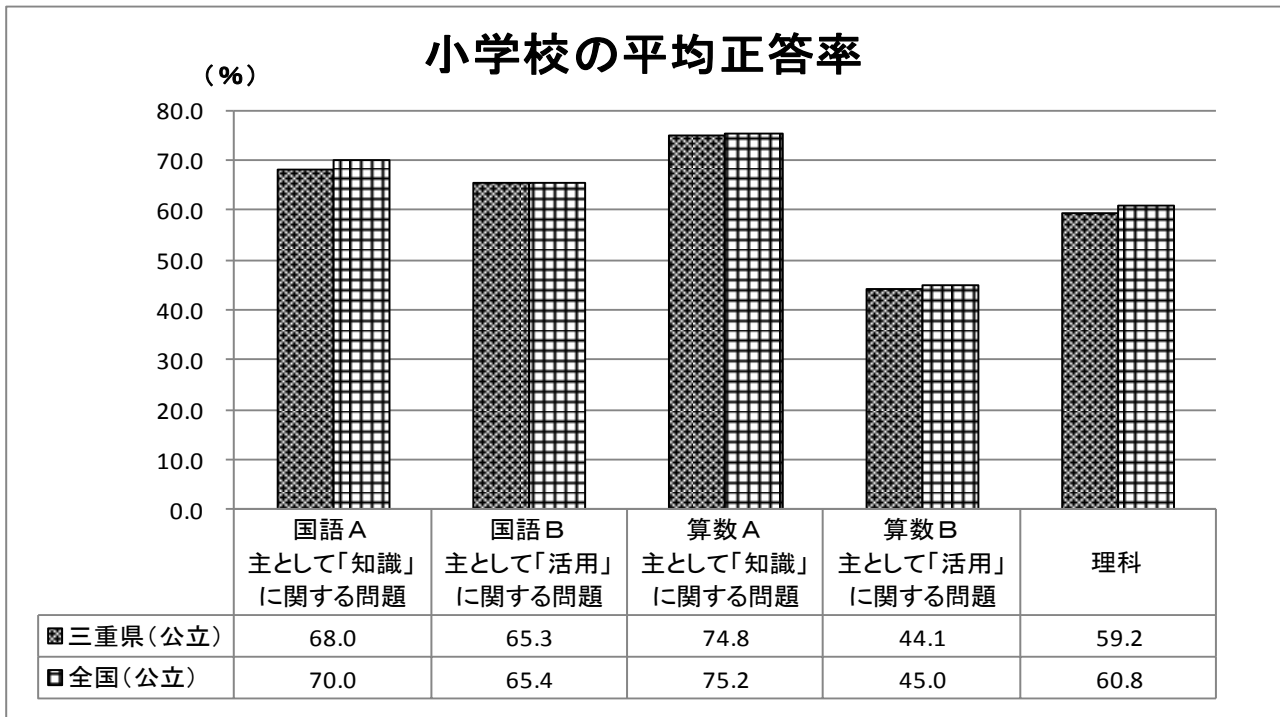
【国民生活に関する世論調査（内閣府）】

- ・ 物の豊かさよりも心の豊かさを重視する傾向となっている。

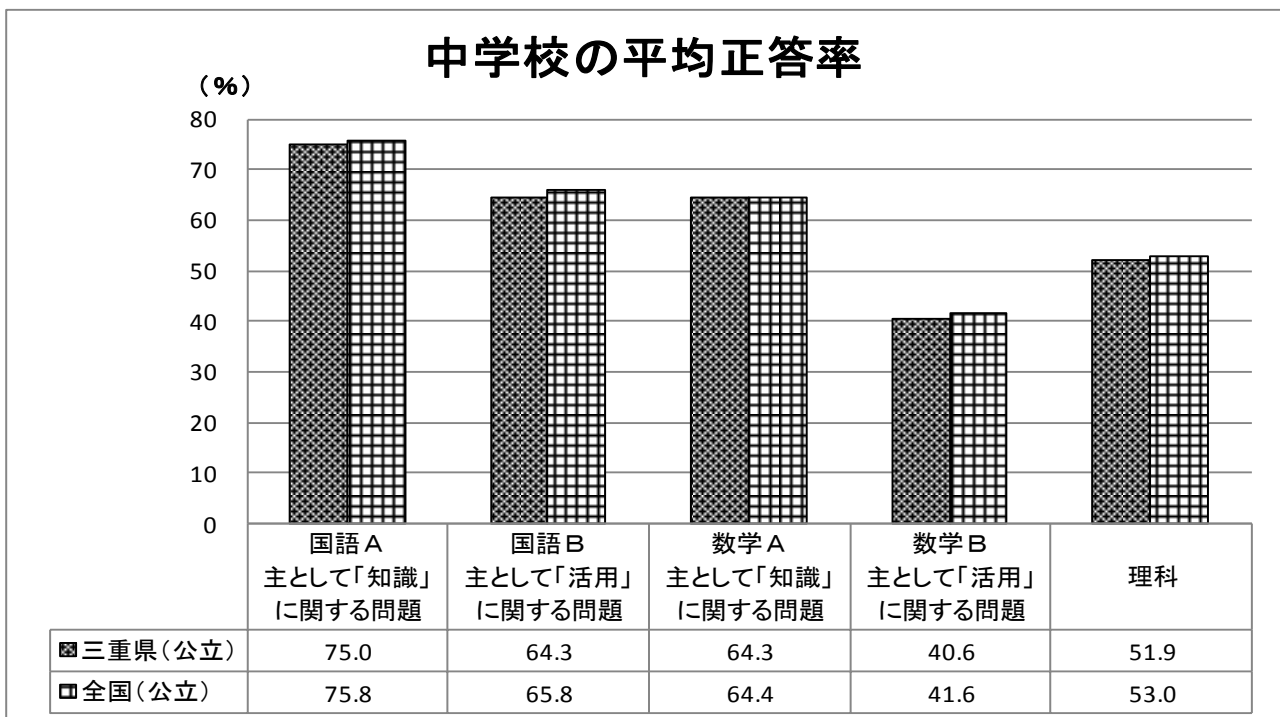
2 本県の子どもたちの姿

(1) 学力・学習意欲

① 平成27年度全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率

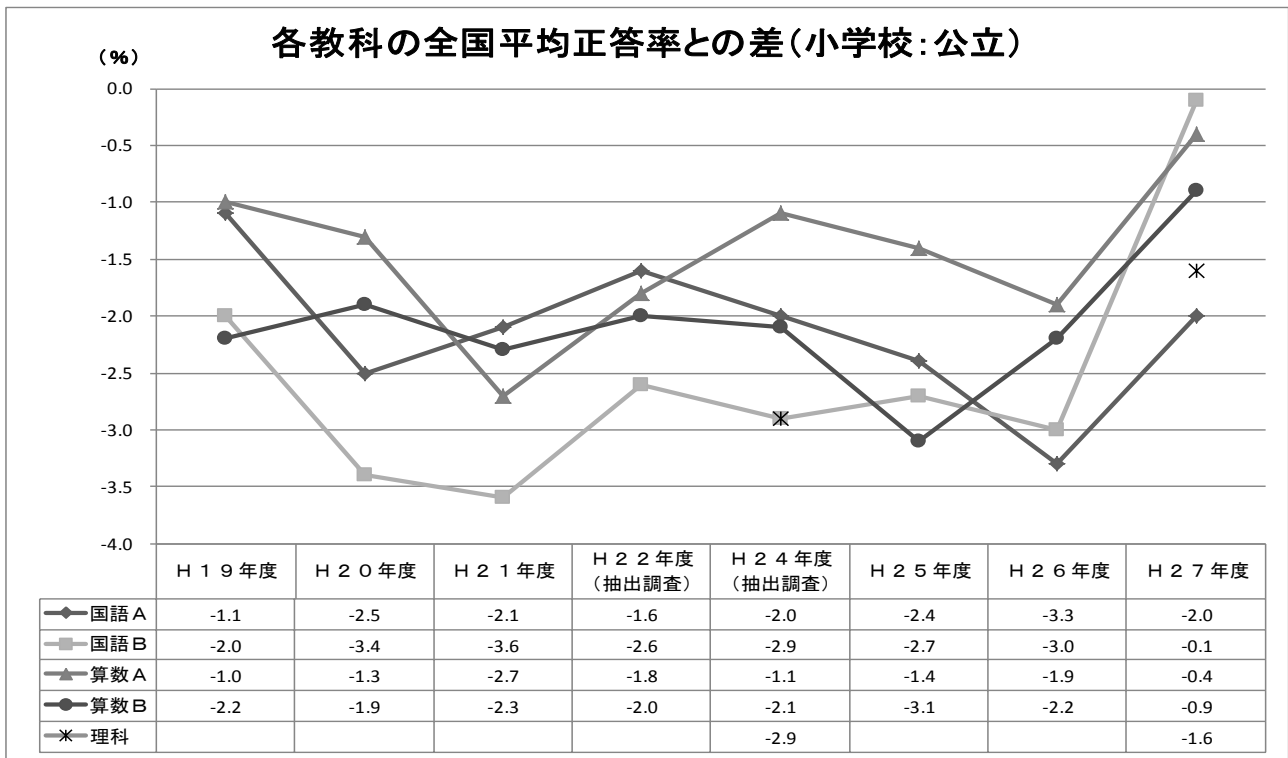


- ・ 全ての教科において、全国平均を下回っている。国語 B（活用）、算数 A（知識）は、全国平均との差は小さい。国語 A（知識）、理科は、全国平均との差が大きい。

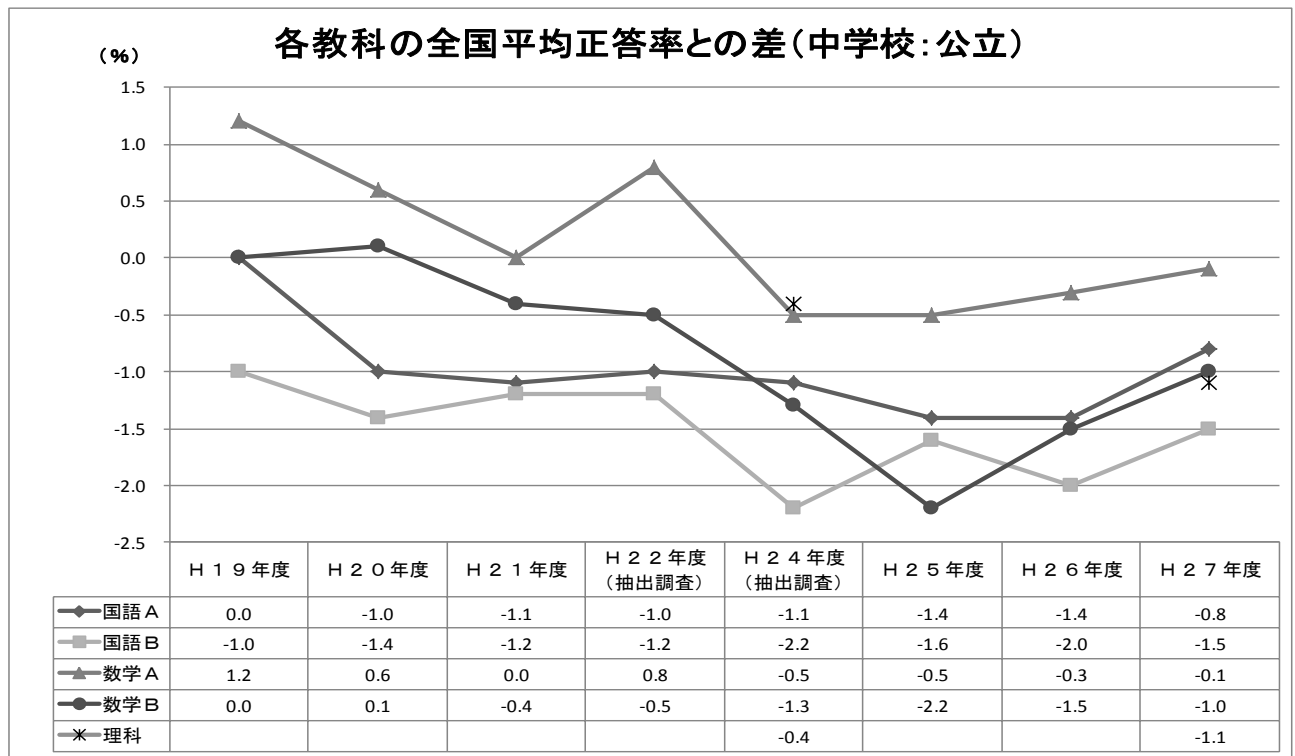


- ・ 全ての教科において、全国平均を下回っている。数学 A（知識）は、全国平均との差が小さい。国語 B（活用）は、全国平均との差が大きい。
- ・ 国語（A・B）が数学（A・B）より全国平均との差が大きい。

② 平成19年度から平成27年度の全国学力・学習状況調査における各教科の全国平均正答率との差

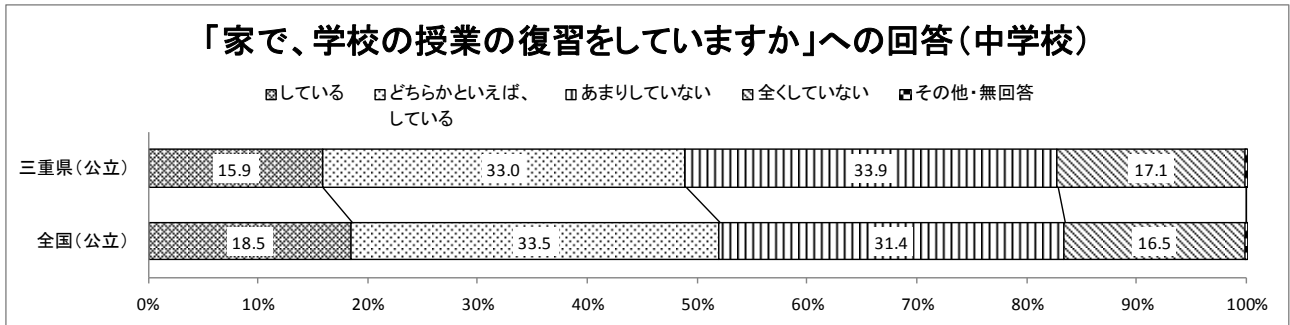
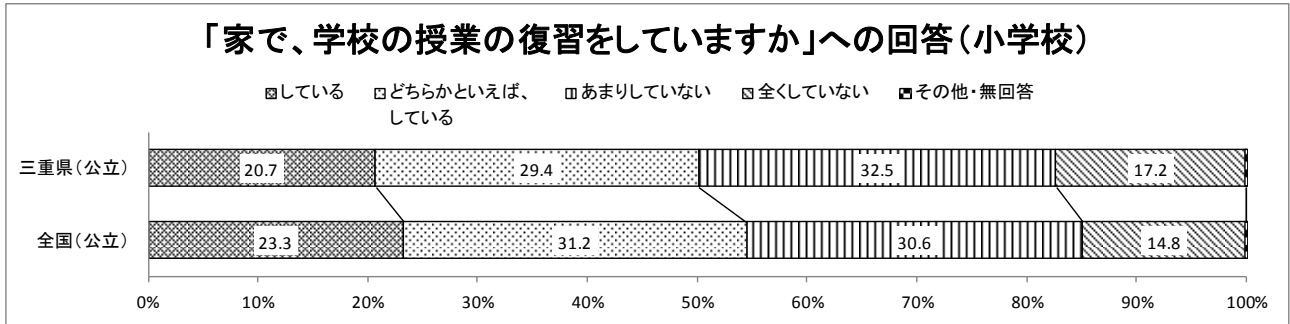


- 平成27年度は、全ての教科において、前年度（前回実施時）より全国平均との差が小さくなっている。



- 平成27年度は、理科を除く全ての教科において、前年度（前回実施時）より全国平均との差が小さくなっている。

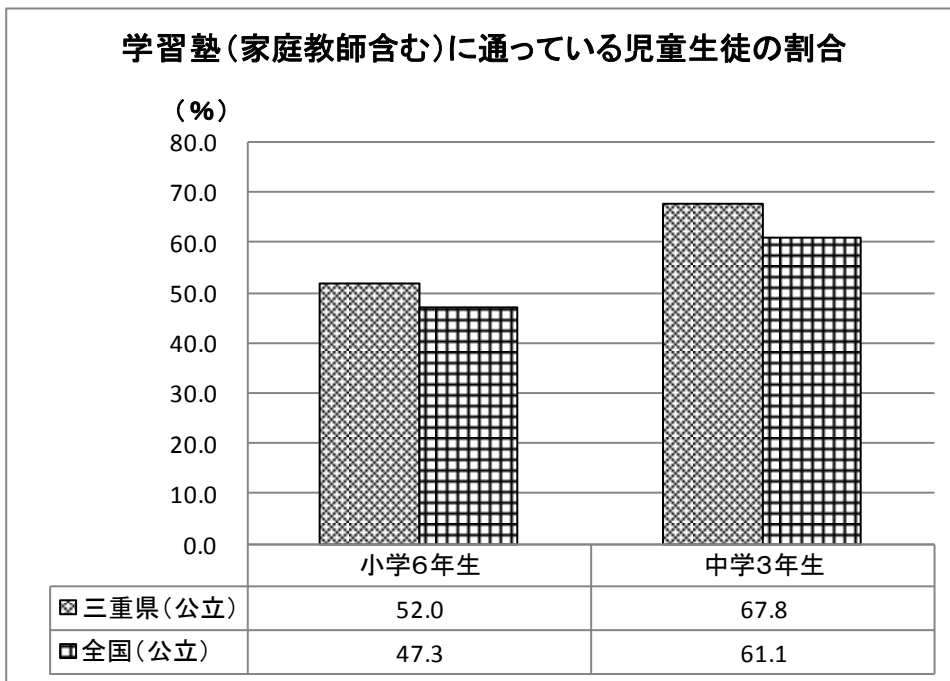
③ 家庭で学校の授業の復習に取り組む児童生徒の割合



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 家で学校の授業の復習をしている、どちらかといえばしていると肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、全国平均より小さい。小学6年生、中学3年生ともに約17%が全く復習をしていない。

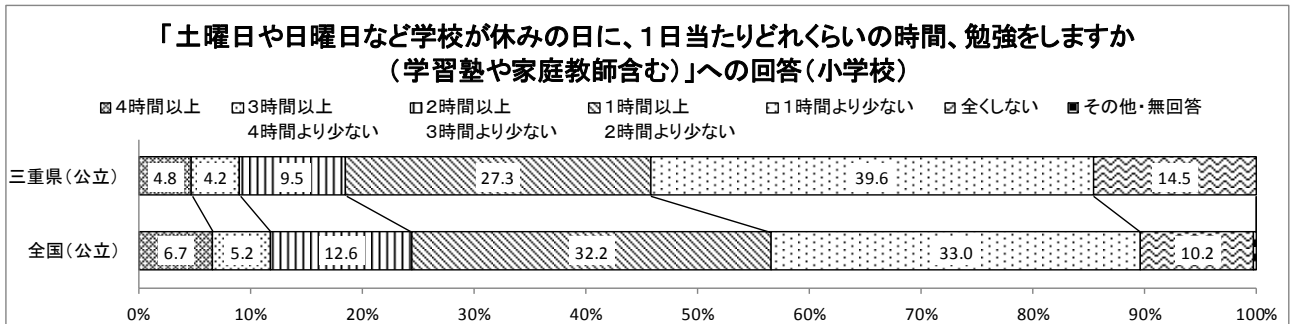
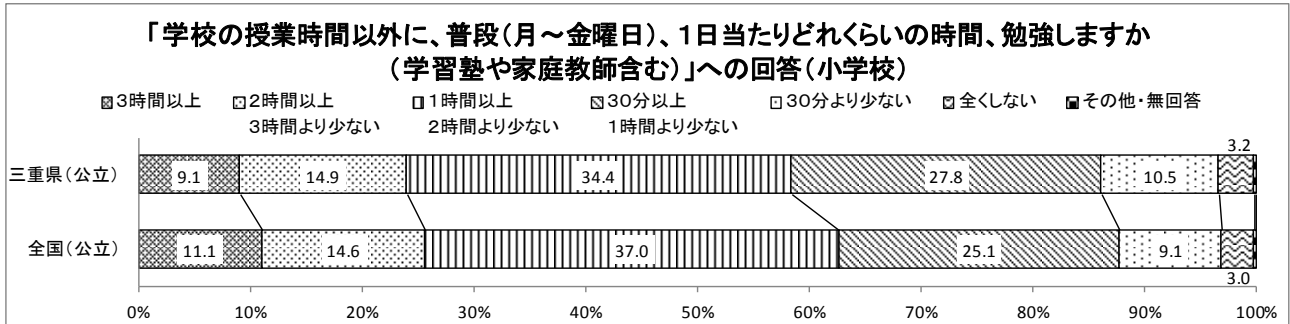
④ 学習塾（家庭教師含む）に通っている児童生徒の割合



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙をもとに作成】

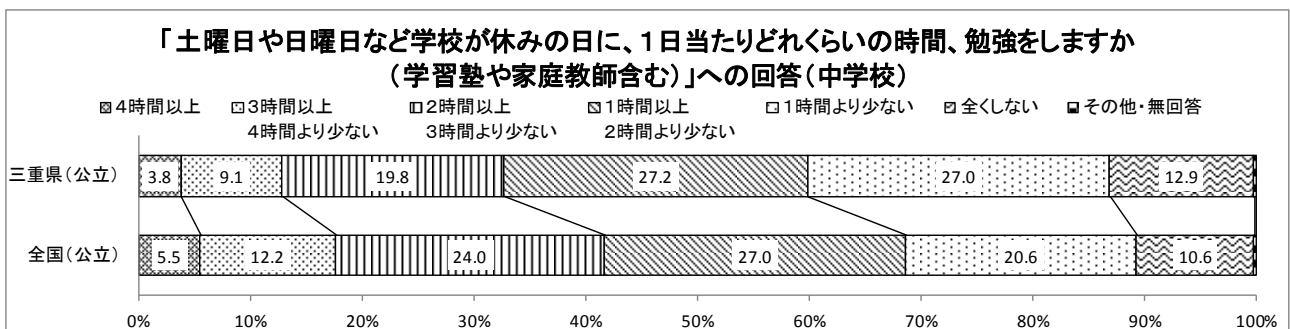
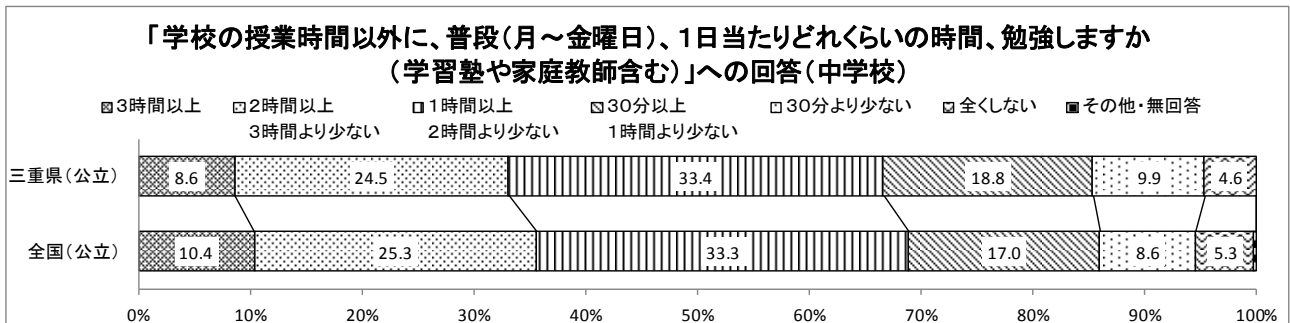
- ・ 学習塾（家庭教師含む）に通っている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに全国平均より大きい。

⑤ 1日当たりの学習時間（学校の授業時間以外（学習塾や家庭教師含む））



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童質問紙】

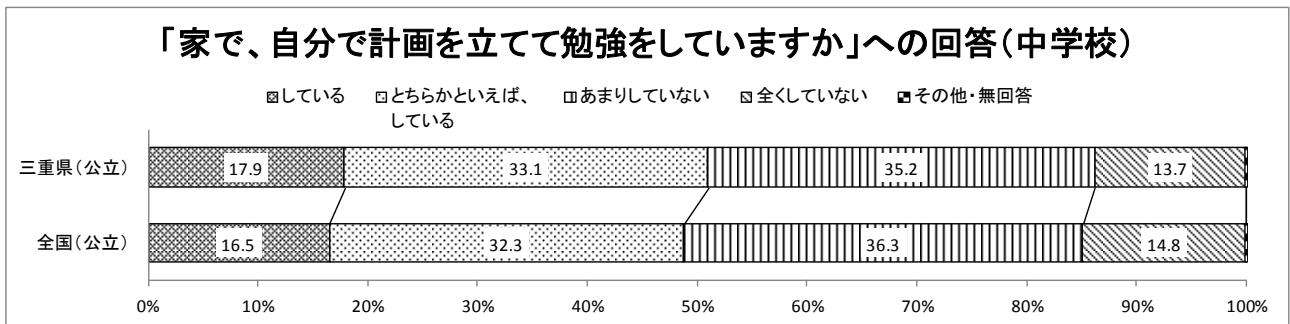
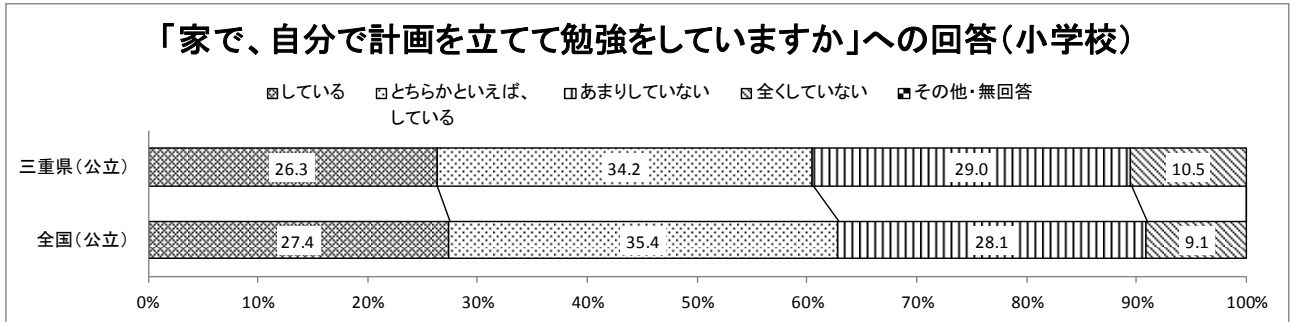
- 平日や学校が休みの日に、1時間以上勉強している小学6年生の割合は、全国平均よりも小さい。また、小学6年生の約15%は、学校が休みの日に全く勉強していない。



【平成27年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙】

- 平日や学校が休みの日に、1時間以上勉強している中学3年生の割合は、全国平均よりも小さい。また、中学3年生の約13%は、学校が休みの日に全く勉強していない。

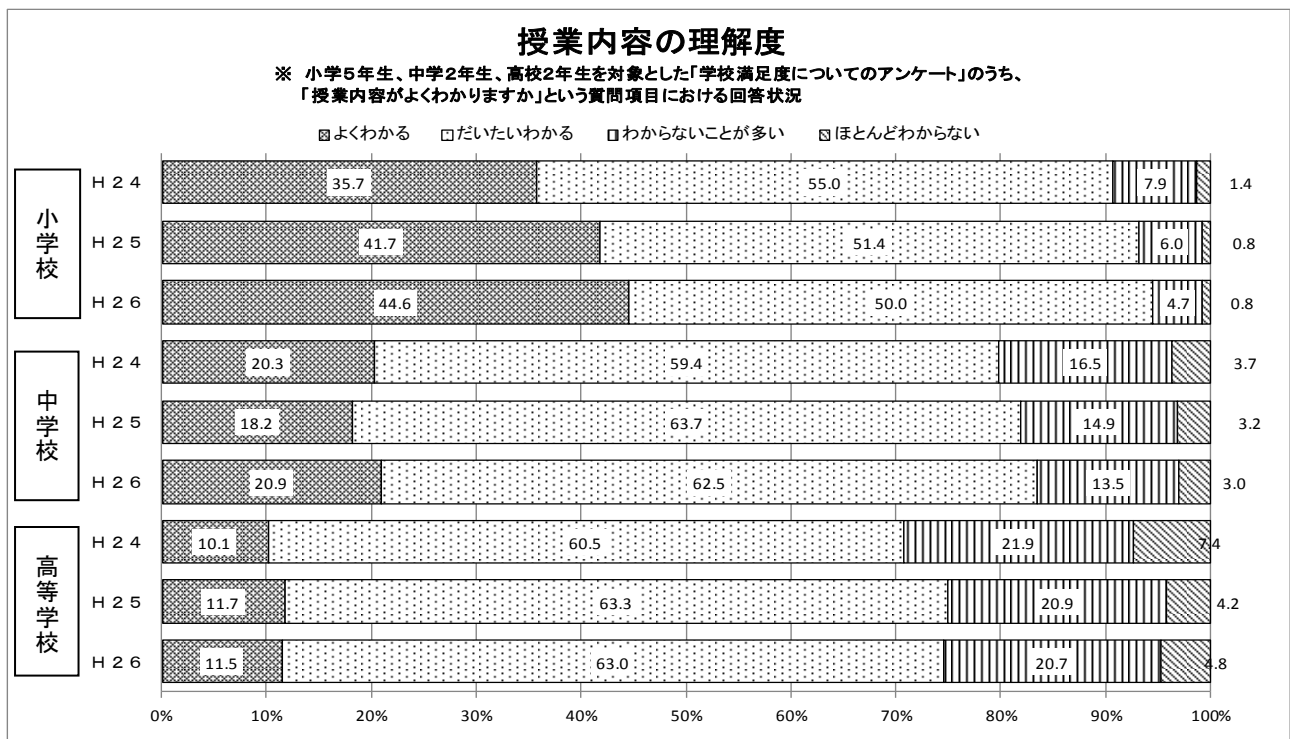
⑥ 家庭での計画的な学習への取組



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強している、どちらかといえばしていると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は、全国平均より小さい。一方、中学3年生では肯定的な回答の割合が全国平均より大きい。

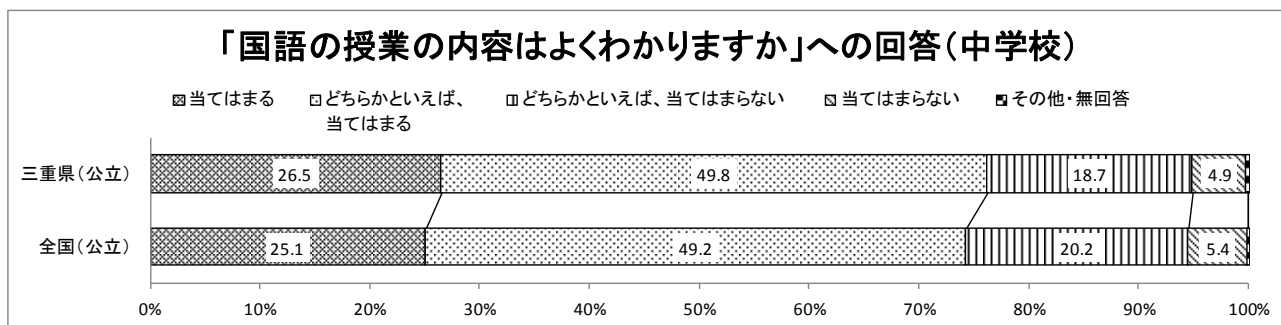
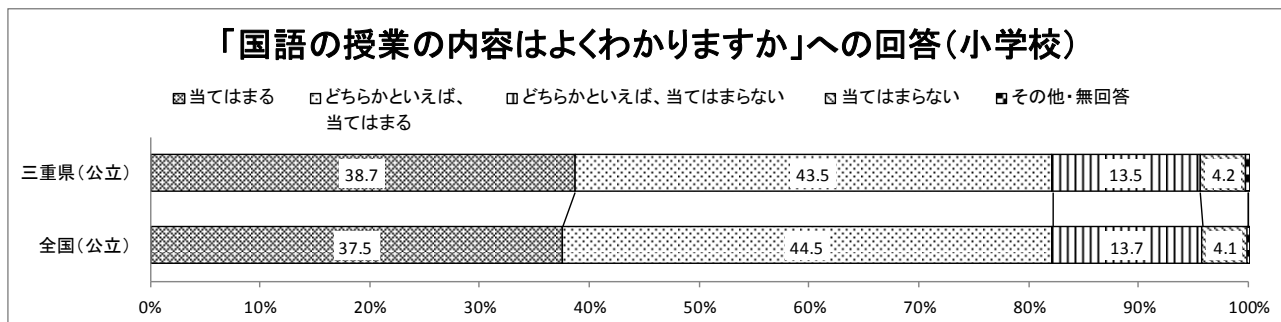
⑦ 授業内容の理解度



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 全体として、理解度についての肯定的な回答の割合は増加傾向にあるが、校種が上がるにつれ、理解できていないと回答する児童生徒の割合が増加している。

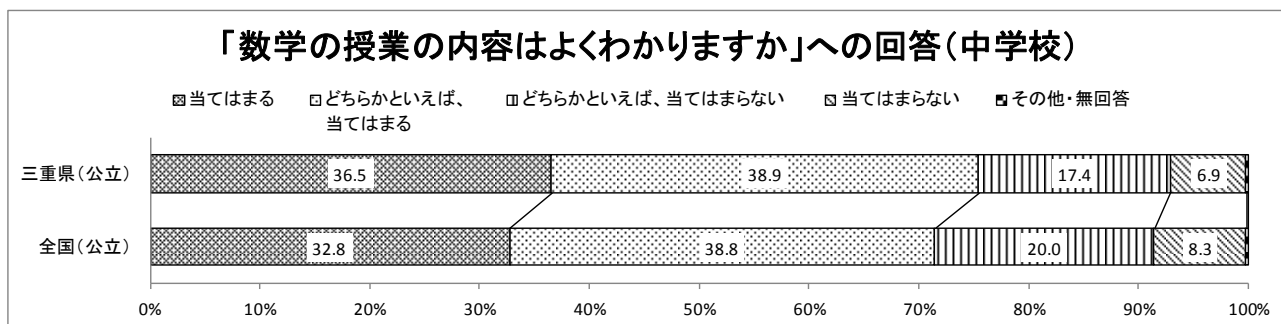
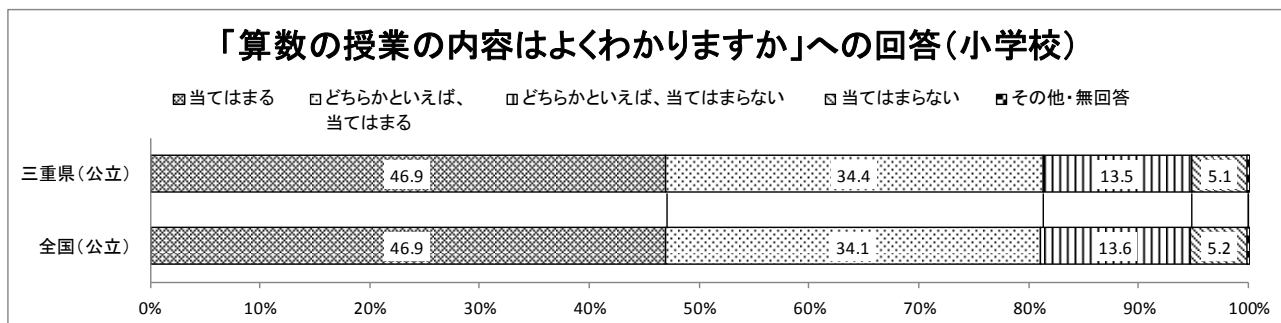
⑧ 国語の授業内容の理解度



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 授業の内容がよくわかる、どちらかといえばよくわかると肯定的な回答をしている小学校6年生は、全国平均とほぼ同じである。中学校3年生の割合は、全国平均により大きい。

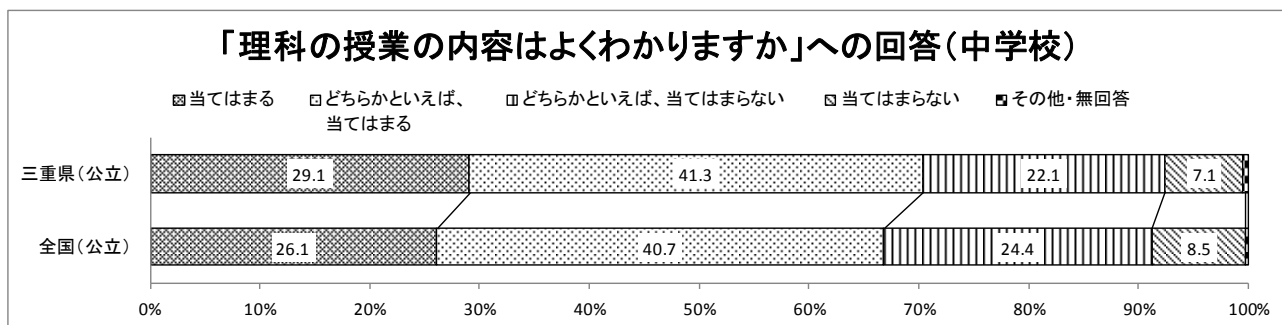
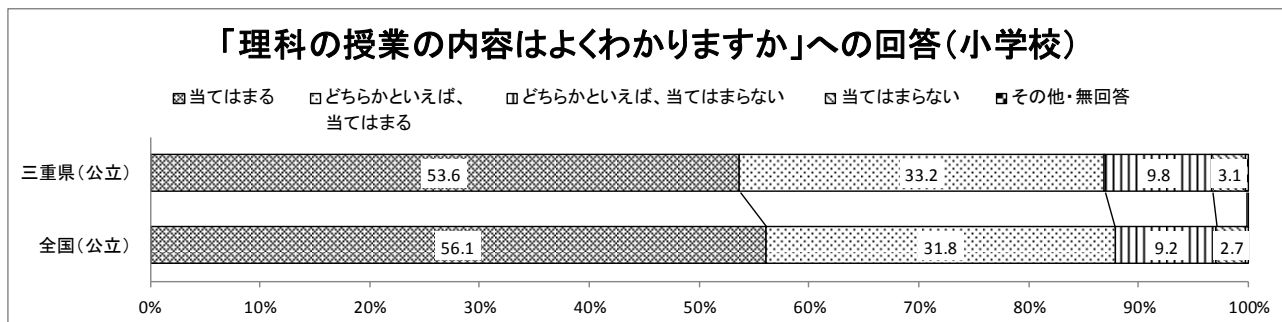
⑨ 算数・数学の授業内容の理解度



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 授業の内容がよくわかる、どちらかといえばよくわかると肯定的な回答をしている小学校6年生の割合は、全国平均とほぼ同じである。中学校3年生の割合は、全国平均により大きい。

⑩ 理科の授業内容の理解度



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 授業の内容がよくわかる、どちらかといえばよくわかると肯定的な回答をしている小学校6年生の割合は、全国平均より小さい。中学校3年生は、肯定的な回答をしいている割合が、全国平均により大きい。

(2) 体力・運動能力

①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査の結果

【小学校5年生の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H26年度	H26年度	H25年度	H26年度	H26年度	H25年度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県
握力 (kg)	↑ 16.51	16.55	16.49	↓ 16.01	16.09	16.04
上体起こし (回)	↓ 18.22	19.56	18.35	↑ 16.96	18.26	16.88
長座体前屈 (cm)	↑ 33.21	32.87	32.59	↑ 37.65	37.21	36.58
反復横とび (点)	↑ 41.75	41.61	41.28	↑ 39.39	39.36	38.76
20mシャトルラン(回)	↑ 50.02	51.67	49.56	↑ 37.63	40.29	36.96
50m走 (秒)	↑ 9.43	9.38	9.44	↓ 9.73	9.64	9.72
立ち幅とび (cm)	↓ 149.68	151.70	150.44	↓ 142.50	144.76	142.88
ソフトボール投げ(m)	↓ 22.69	22.90	23.24	↓ 14.18	13.90	14.36
体力合計点※ (点)	↑ 53.09	53.91	52.98	↑ 53.96	55.01	53.65

■ : 全国平均を上回る ↑ : 平成25年度三重県平均を上回る ↓ : 平成25年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

・全国の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに全国平均を下回っている。種目別に見ると、男女の長座体前屈、反復横とび、女子のソフトボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果であった。

・平成25年度の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに25年度の結果を上回り、過去最高値を示した。種目別に見ると、男女の長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、及び男子の握力、50m走、女子の上体起こしが25年度の結果を上回った。

【中学校 2 年生の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H26 度	H26 度	H25 度	H26 度	H26 度	H25 度
	三重県	全 国	三重県	三重県	全 国	三重県
握力 (kg)	↓ 28.60	29.00	28.95	↓ 23.56	23.70	23.58
上体起こし (回)	↑ 26.66	27.45	26.62	↑ 22.17	23.07	22.00
長座体前屈 (cm)	↓ 42.70	42.92	43.03	↓ 44.71	45.23	44.85
反復横とび (点)	↑ 51.53	51.31	50.87	↑ 45.72	45.63	45.28
持久走 (秒)	↑ 398.06	392.89	399.69	↑ 292.44	290.64	296.61
20mシャトルラン(回)	↑ 84.33	85.29	82.82	↑ 56.40	57.77	56.27
50m走 (秒)	↑ 8.06	8.03	8.08	↓ 8.93	8.87	8.92
立ち幅とび (cm)	↑ 190.18	193.43	190.09	↑ 164.23	166.53	163.49
ハンドボール投げ(m)	↓ 20.73	20.86	20.85	↓ 13.19	12.88	13.26
体力合計点※ (点)	↑ 40.95	41.74	40.70	↑ 48.00	48.66	47.77

■ : 全国平均を上回る ↑ : 平成 25 年度三重県平均を上回る ↓ : 平成 25 年度三重県平均を下回る

※体力合計点 : 各調査種目の成績を 1 点から 10 点に得点化して総和した合計得点

【平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

・全国の状況と比較すると、体力合計点は、男女ともわずかに全国平均を下回った。種目別に見ると、男女の反復横とび、女子のハンドボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果となった。

・平成 25 年度の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに 25 年度の結果を上回った。種目別に見ると、男女の握力、長座体前屈、ハンドボール投げ及び女子の 50m 走を除き、多くの種目で 25 年度の結果を上回った。

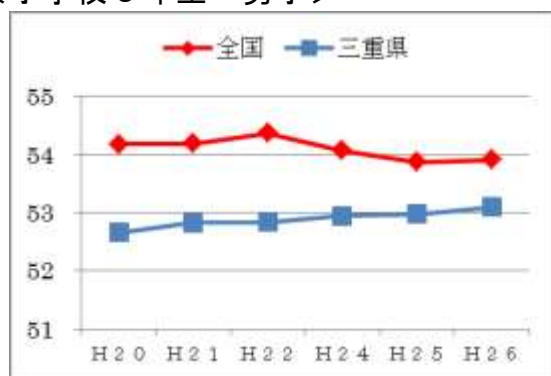
【平成20年度以降の推移】

	小学校5年生				中学校2年生			
	男子		女子		男子		女子	
	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国
平成20年度	52.66	54.18	52.95	54.84	40.33	41.50	47.63	48.38
平成21年度	52.83	54.19	52.80	54.59	40.45	41.36	47.12	47.94
平成22年度	52.84	54.36	53.42	54.89	41.08	41.71	47.69	48.14
平成23年度	東日本大震災の影響等により、調査の実施が見送られた							
平成24年度	52.95	54.07	53.29	54.85	42.09	42.32	48.84	48.72
平成25年度	52.98	53.87	53.65	54.70	40.70	41.78	47.77	48.42
平成26年度	53.09	53.91	53.96	55.01	40.95	41.74	48.00	48.66

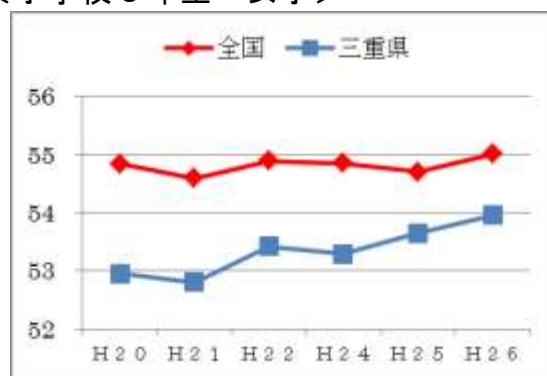
【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

- ・小学校5年生の体力合計点は、男女ともわずかな上昇傾向が見られ、平成26年度の体力合計点は過去最高値を示した。
- ・中学校2年生の体力合計点は、最高値を示した24年度には及ばなかったものの、25年度の結果を上回った。調査が始まった20年度と比較すると、男女とも体力合計点が向上している。
- ・全国と比較すると、小学校5年生の体力合計点は、男女ともに、依然として全国平均を下回っているものの、その差は少しずつ小さくなっている。中学校2年生の体力合計点も、男女ともに全国平均を下回っているものの、その差は1ポイントを下回っている。

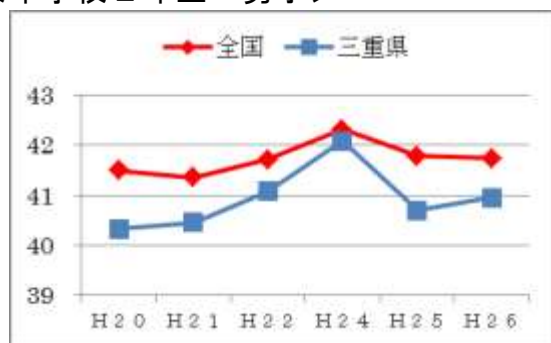
<小学校5年生 男子>



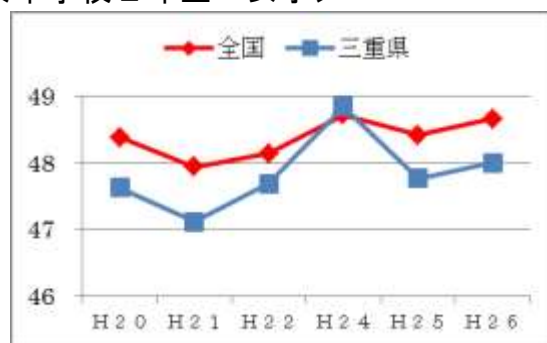
<小学校5年生 女子>



<中学校2年生 男子>



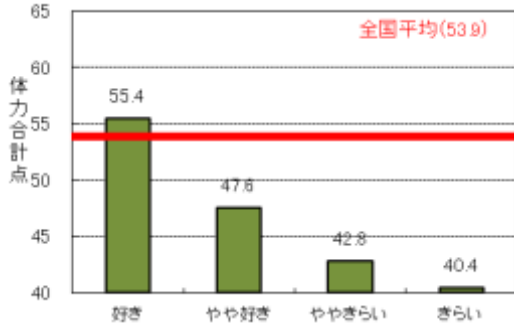
<中学校2年生 女子>



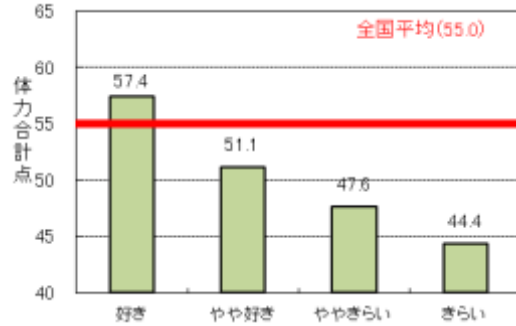
②運動やスポーツに対する意識と体力との関係

＜運動やスポーツをすることは好きですか＞

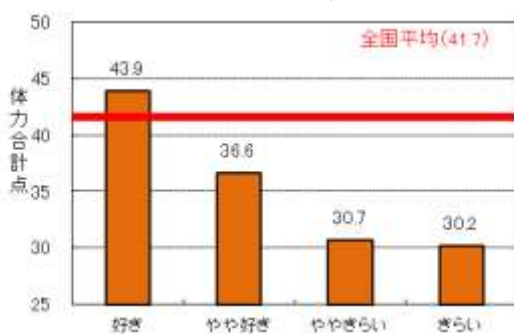
【小学校5年生 男子】



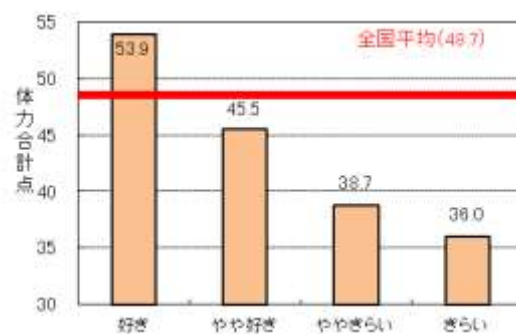
【小学校5年生 女子】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】

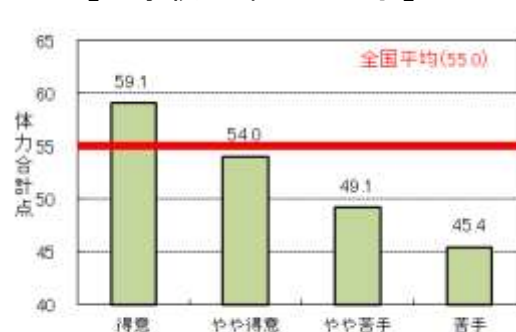


＜運動やスポーツをすることは得意ですか＞

【小学校5年生 男子】



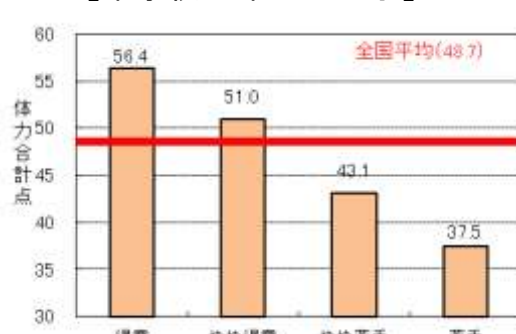
【小学校5年生 女子】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】



【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

・校種や男女の別にかかわらず、運動やスポーツをすることが「好き」「得意」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられる。

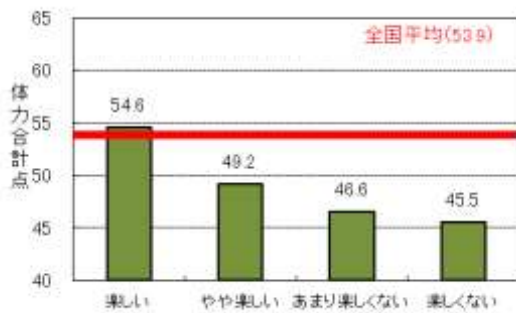
③体育・保健体育の授業に対する意識と体力との関係

<体育の授業は楽しいですか>

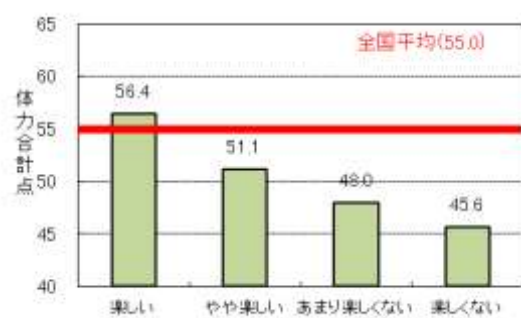
【小学校5年生】



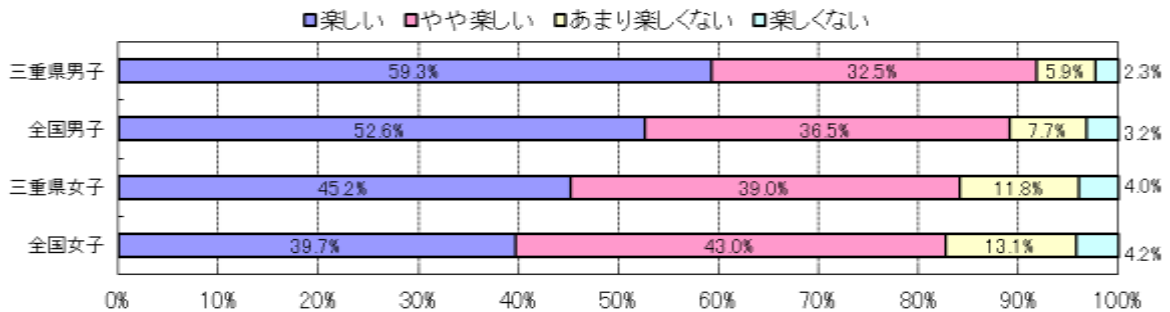
【小学校5年生 男子】



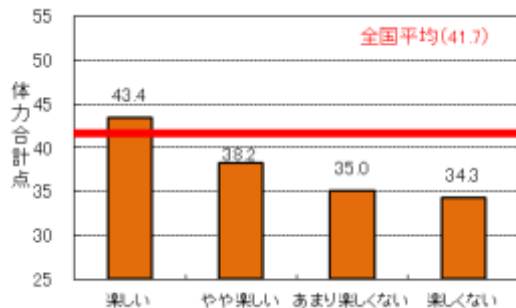
【小学校5年生 女子】



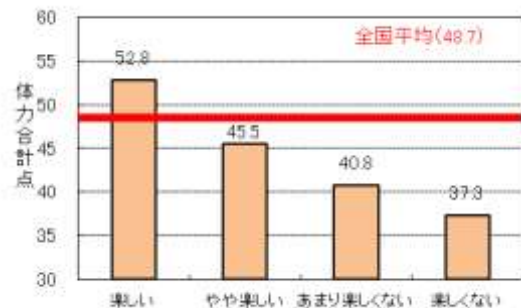
【中学校2年生】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】

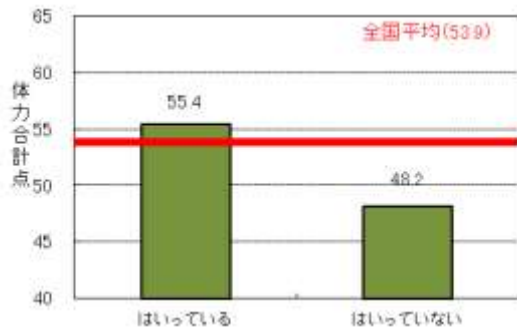


【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

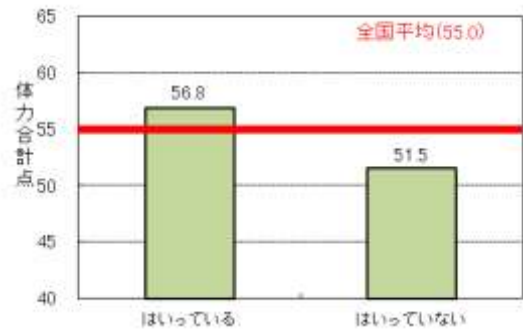
・校種や男女の別にかかわらず、体育・保健体育の授業が「楽しい」と答えた集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられる。

④部活動等への所属状況と体力との関係

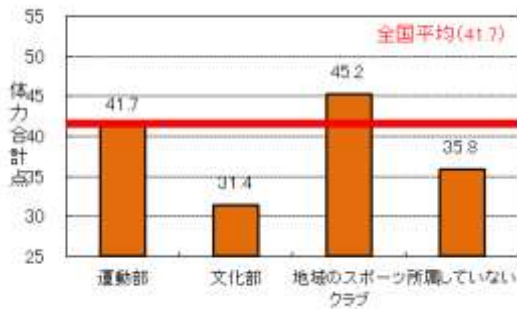
【小学校5年生 男子】



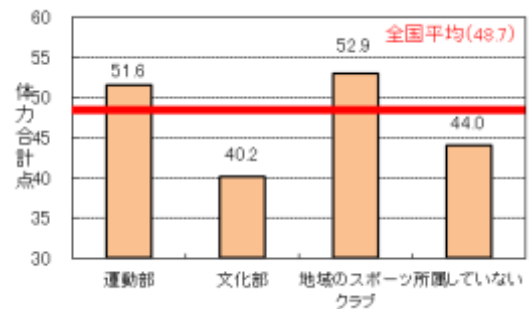
【小学校5年生 女子】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】

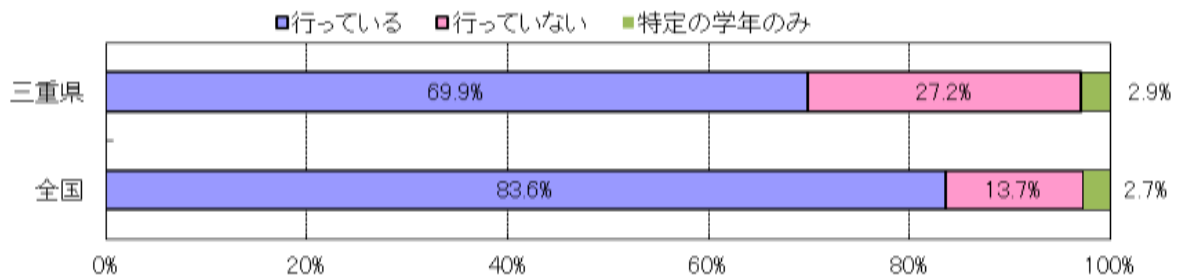


【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

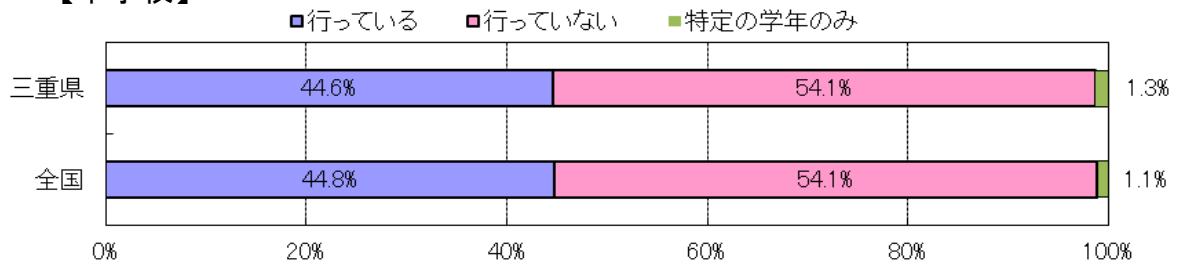
・校種や男女の別にかかわらず、学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に所属している児童生徒は、体力の合計点が高い傾向がみられる。

⑤体育・保健体育の授業以外での運動時間確保の取組

【小学校】



【中学校】

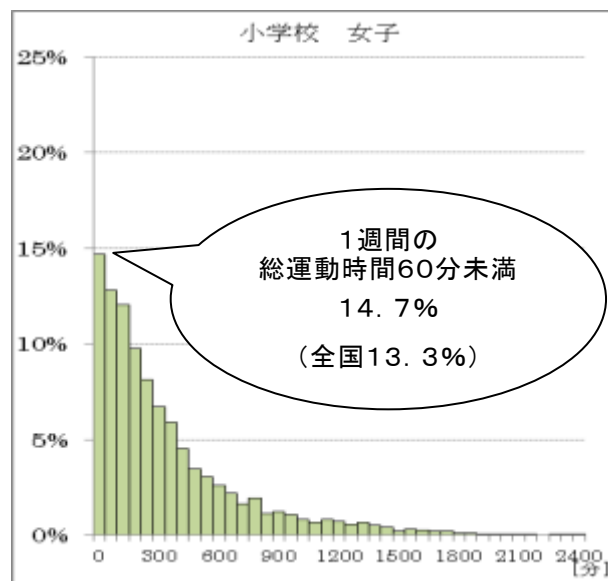
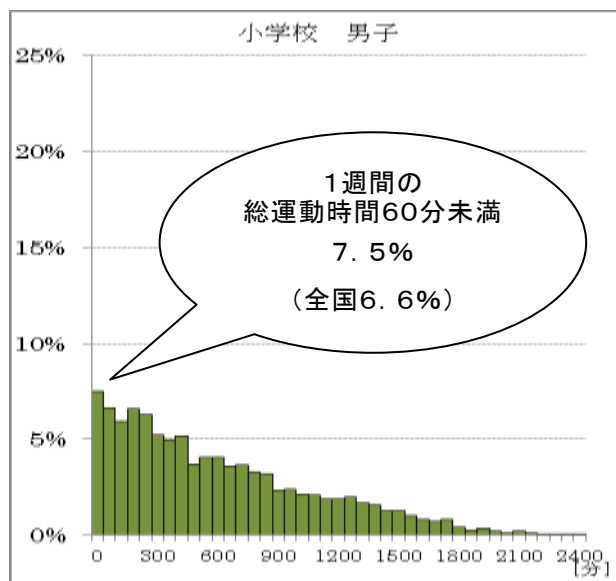


【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

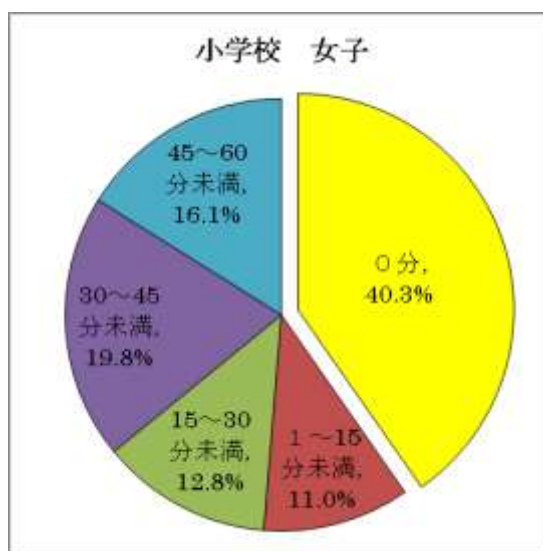
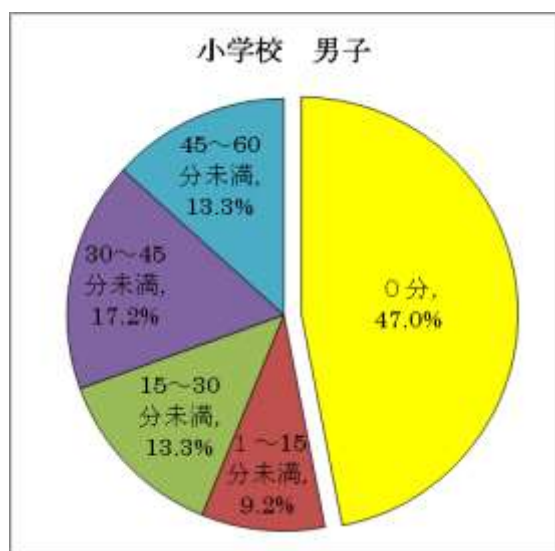
・三重県では、全国に比較して体育・保健体育の授業以外に運動時間を確保する取組を行っている割合が低い。

⑥児童生徒の運動習慣

【小学校5年生】

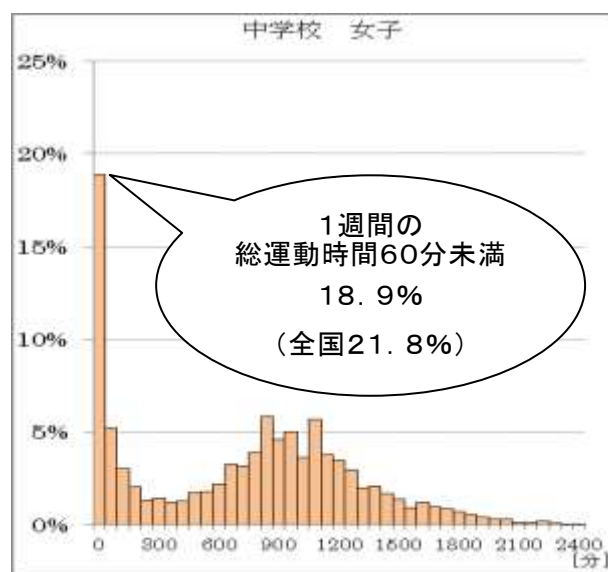
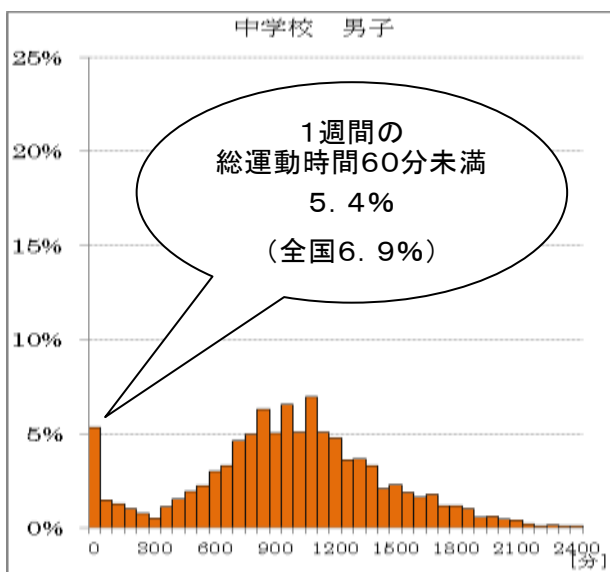


- ・ 1週間の総運動時間の分布では、男子で7.5%、女子で14.7%の児童が1週間の総運動時間が60分未満であった。女子では、およそ7人に1人がほとんど運動をしない状況である。



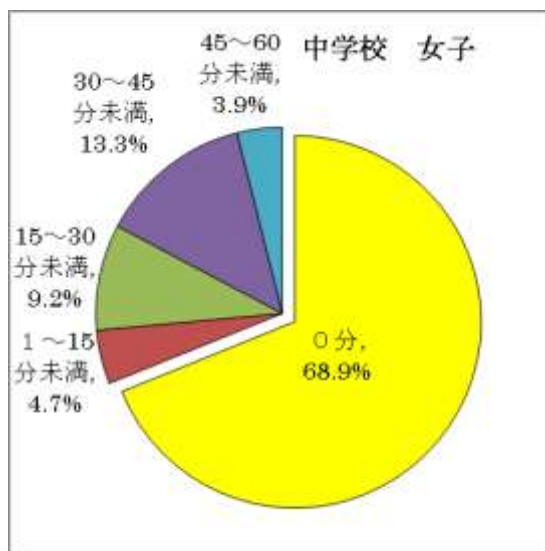
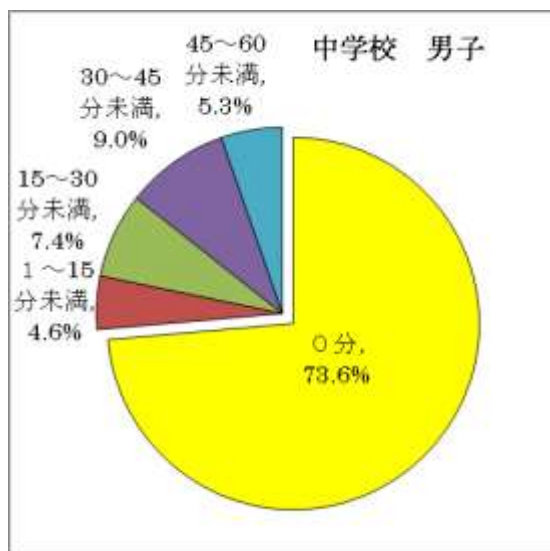
- ・ 1週間の総運動時間が60分未満の児童の内訳をみると、総運動時間が0分なのが、男子では47.0%、女子では40.3%であった。

【中学校 2 年生】



・中学校では、運動する生徒としない生徒の二極化がみられた。

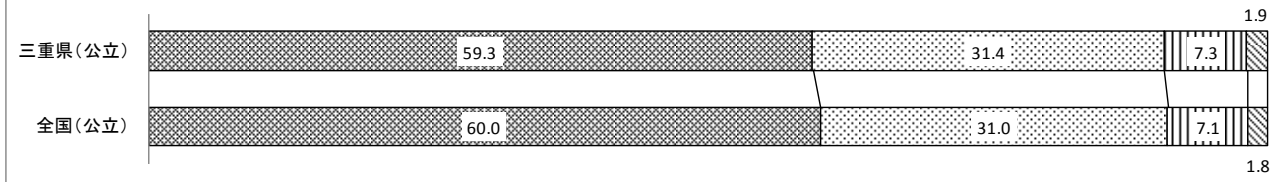
男子で 5.4%、女子で 18.9%の生徒が 1 週間の総運動時間が 60 分未満であった。女子では、およそ 5 人に 1 人がほとんど運動をしない状況である。



・ 1 週間の総運動時間が 60 分未満の生徒の内訳をみてみると、総運動時間が 0 分なのが、男子では 73.6%、女子では 68.9%であった。

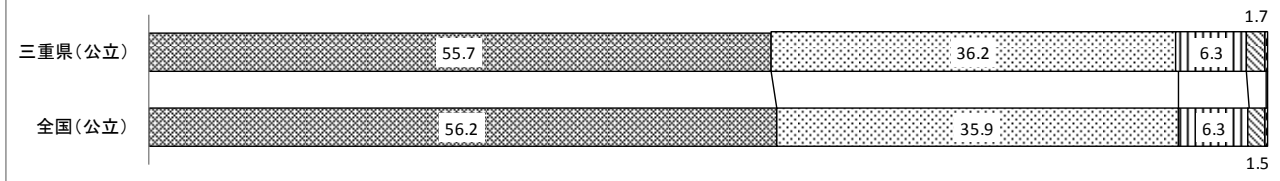
「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」への回答(小学校)

■している □どちらかといえば、 □あまりしていない □全くしていない
 している



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」への回答(中学校)

■している □どちらかといえば、 □あまりしていない □全くしていない □その他・無回答
 している



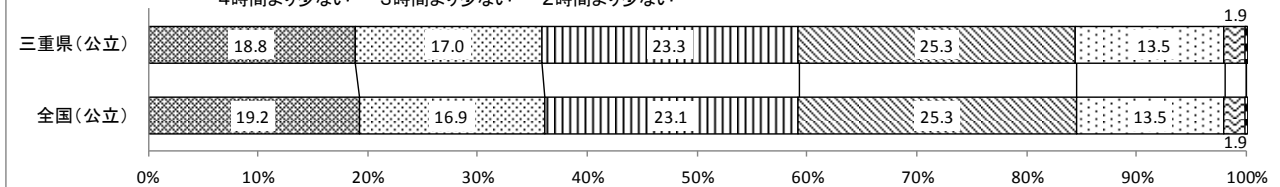
【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起きている、どちらかといえば起きていると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約91%、中学3年生の割合は約92%で、全国平均とほぼ同じである。

③ 普段(月～金曜日)のテレビやビデオ・DVDの視聴時間

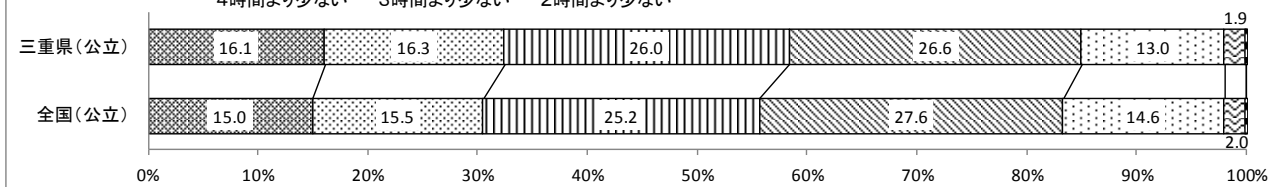
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)」への回答(小学校)

■4時間以上 □3時間以上、 □2時間以上、 □1時間以上、 □1時間より少ない □全く見たり、聞いたりしない □その他・無回答
 4時間より少ない 3時間より少ない 2時間より少ない



「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)」への回答(中学校)

■4時間以上 □3時間以上、 □2時間以上、 □1時間以上、 □1時間より少ない □全く見たり、聞いたりしない □その他・無回答
 4時間より少ない 3時間より少ない 2時間より少ない

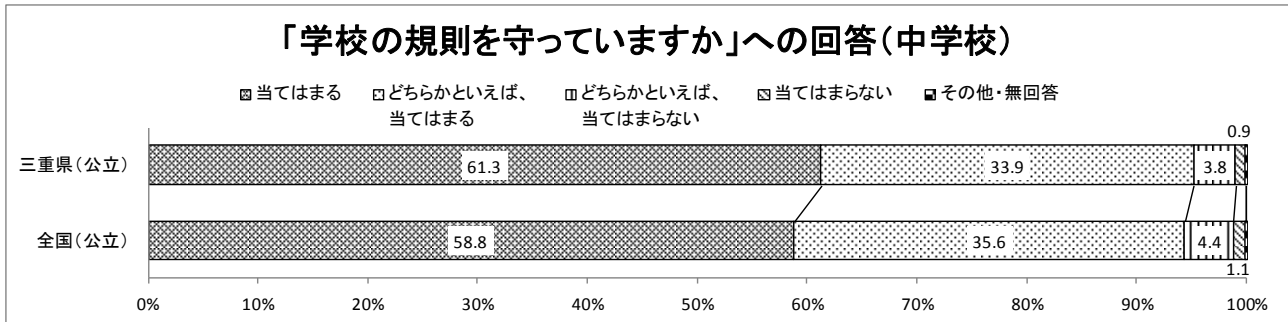
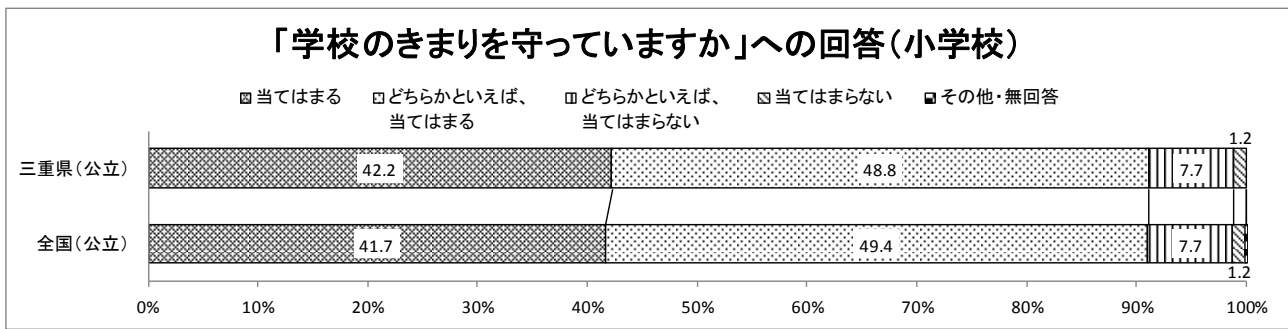


【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 普段(月～金曜日)に、2時間以上テレビ等を視聴する小学6年生の割合は約59%で、全国平均とほぼ同じである。一方、中学3年生の割合は58%で、全国平均より約3%大きい。

(4) 規範意識・道徳心・自尊感情

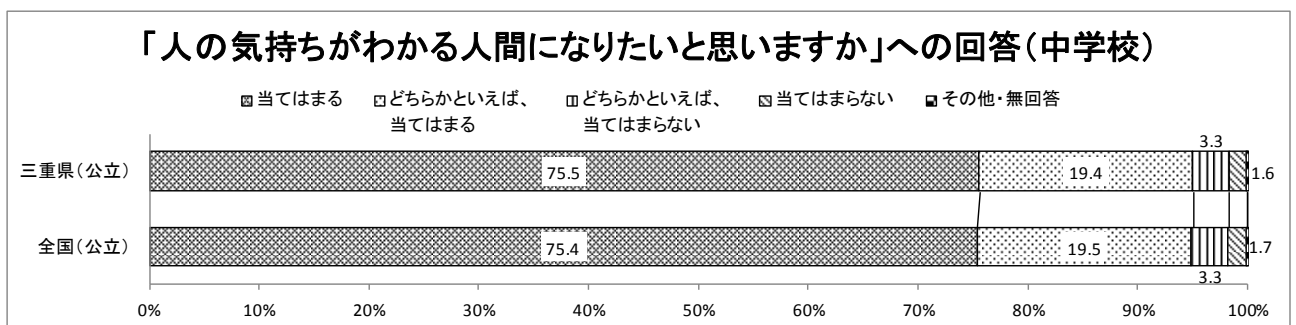
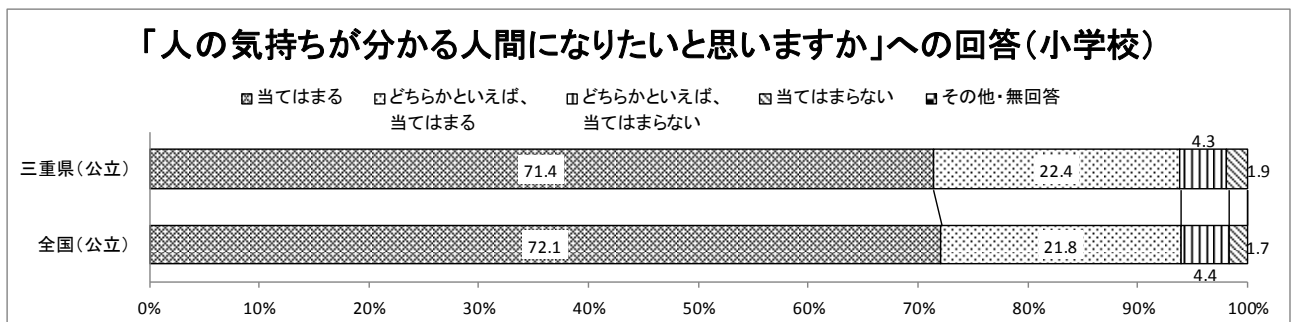
① 学校のきまりを守ること



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 学校のきまり（規則）を守っている、どちらかといえば守っていると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は91%で全国平均とほぼ同じである。中学3年生の割合は、約95%で、全国平均より大きい。

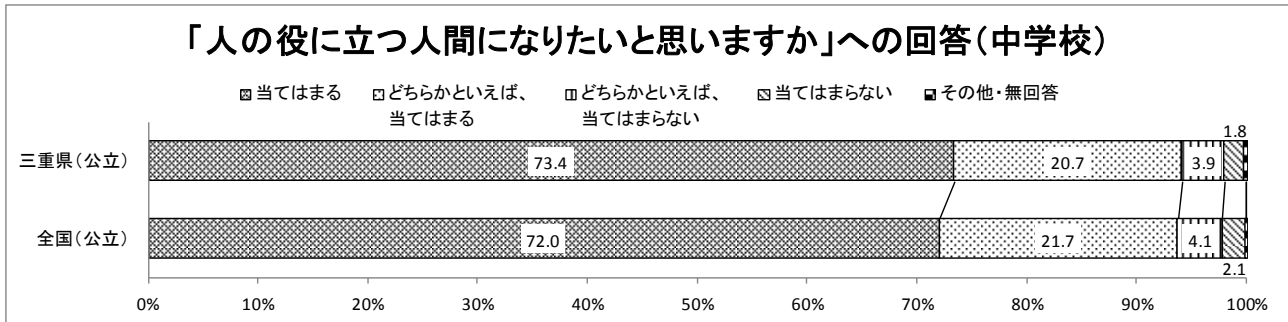
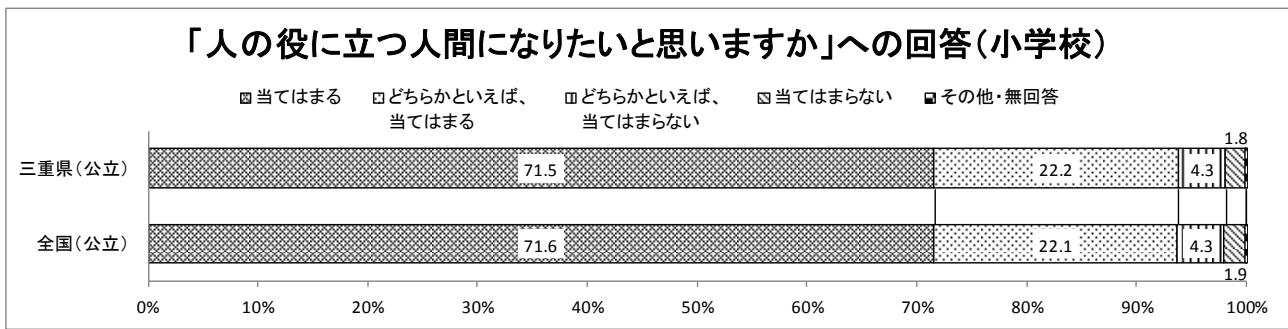
② 人の気持ちが分かる人間になりたいという意識



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 人の気持ちがわかる人間になりたい、どちらかといえばなりたいたいと肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに約95%程度であり、全国平均とほぼ同じとなっている。

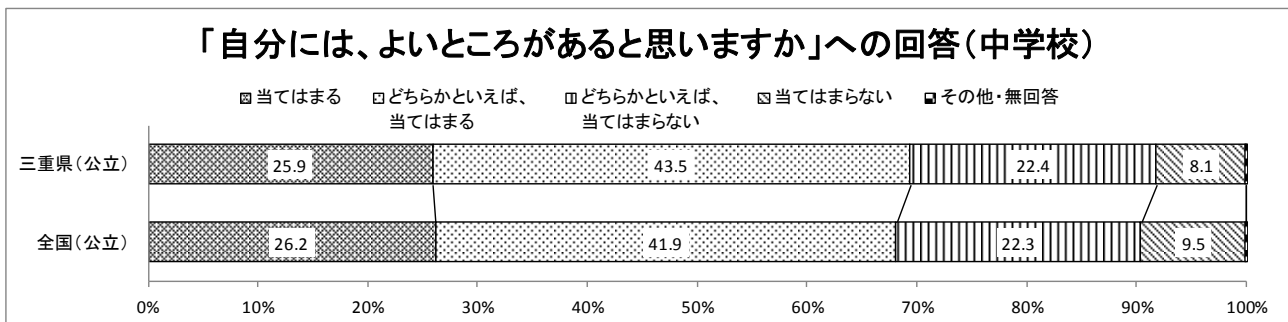
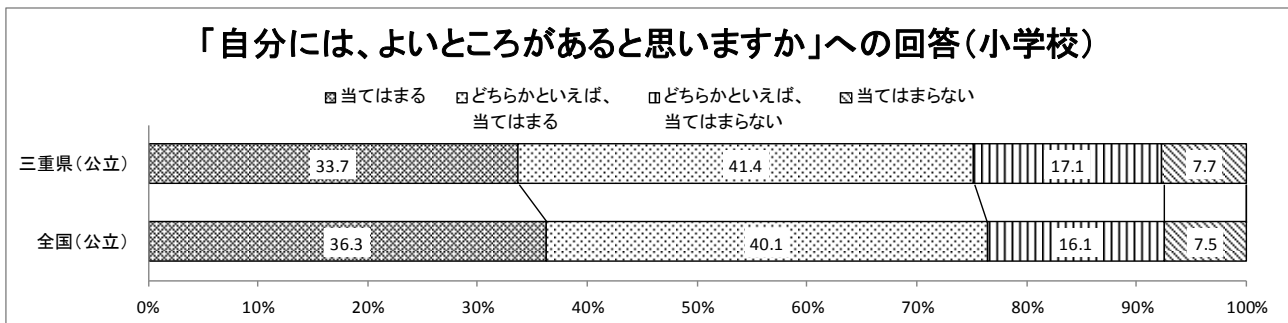
③ 人の役に立つ人間になりたいという意識



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 人の役に立つ人間になりたい、どちらかといえばなりたいたと肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに約94%であり、全国平均とほぼ同じとなっている。

④ 自分には、よいところがあるという意識

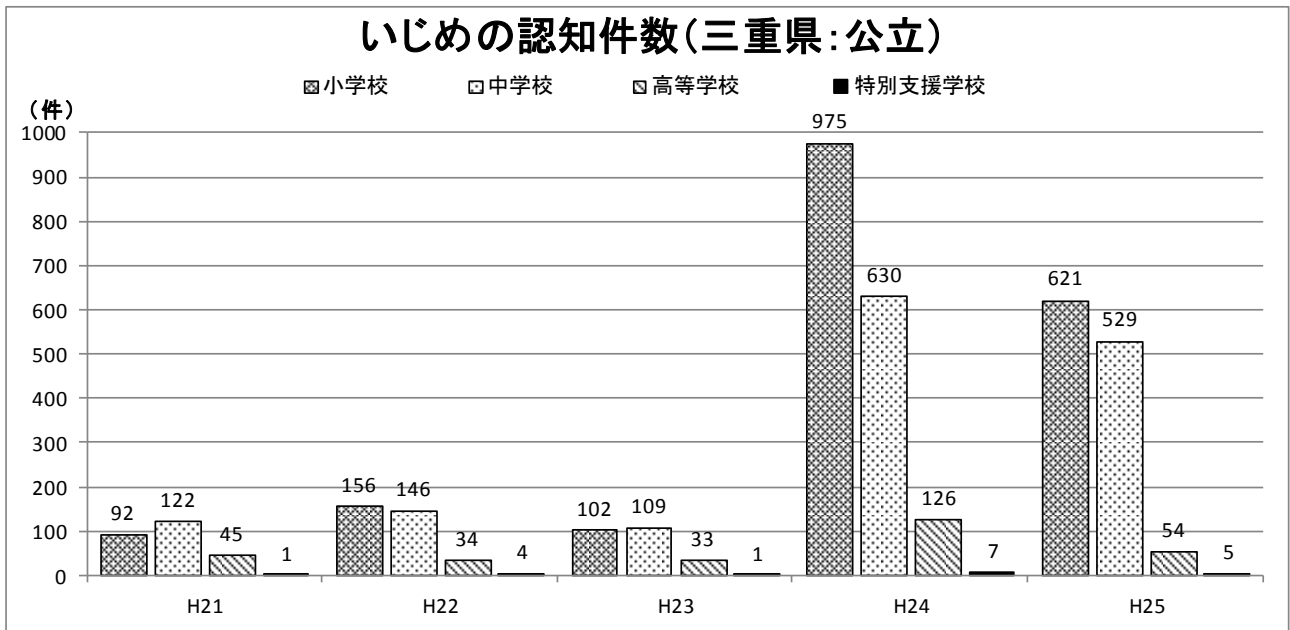


【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 自分にはよいところがある、どちらかといえばあると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約75%で、全国平均とほぼ同じである。一方、中学3年生の割合は約69%で、全国平均より大きい。

(5) いじめ・不登校等の状況

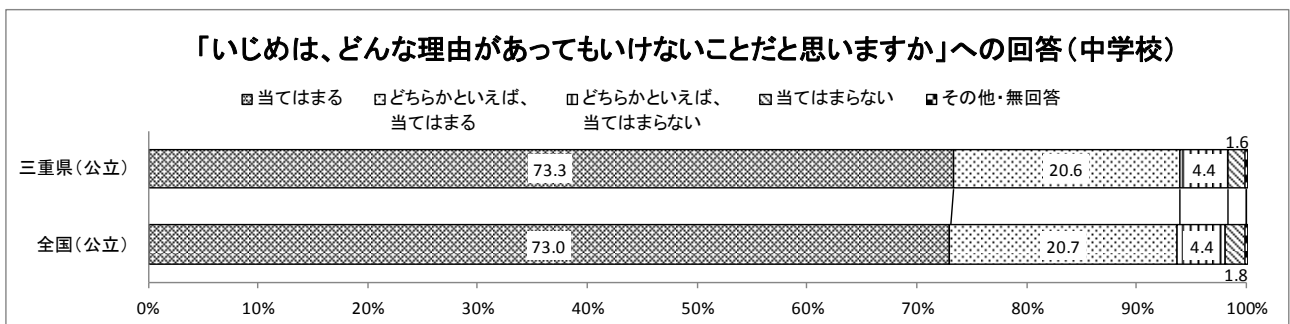
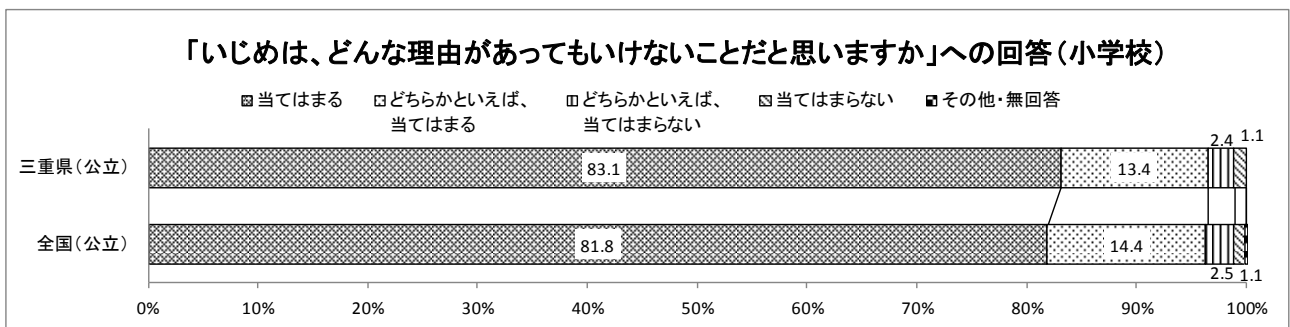
① いじめの認知件数の推移



【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 平成25年度のいじめ認知件数は減少している。平成25年度に「いじめ防止対策推進法」が施行となり、各学校において、法やいじめ防止基本方針に基づいたいじめ防止のための取組の充実が図られている。

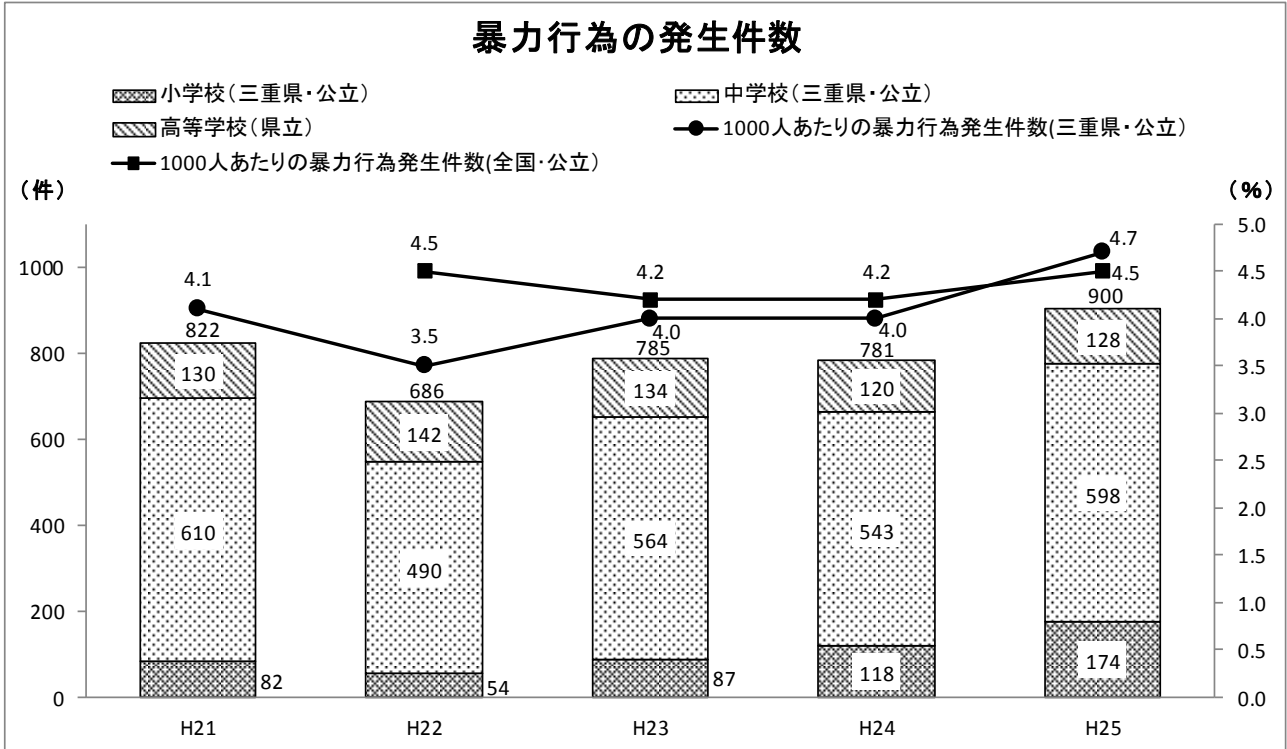
② いじめに対する考え方



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う、どちらかといえば思うと肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約97%、中学3年生の割合は94%となっている。

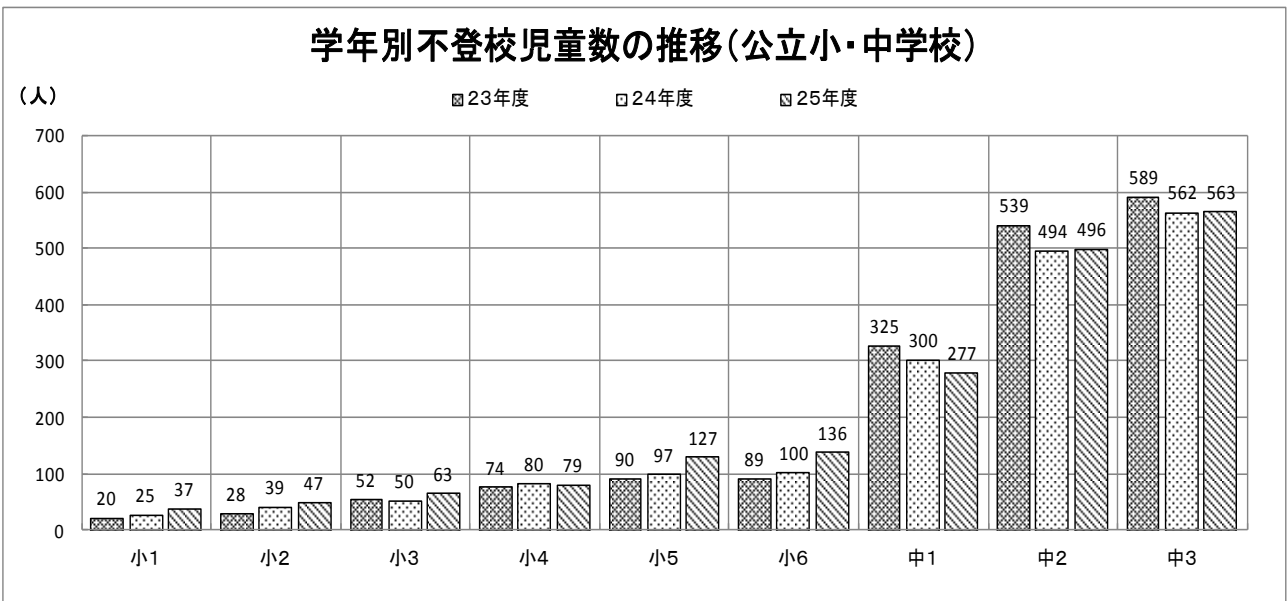
③ 暴力行為の発生件数の推移



【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 暴力行為の発生件数は増加傾向であり、特に小学校での件数が増加傾向にある。1000人あたりの発生件数については、三重県および全国においても増加傾向にある。

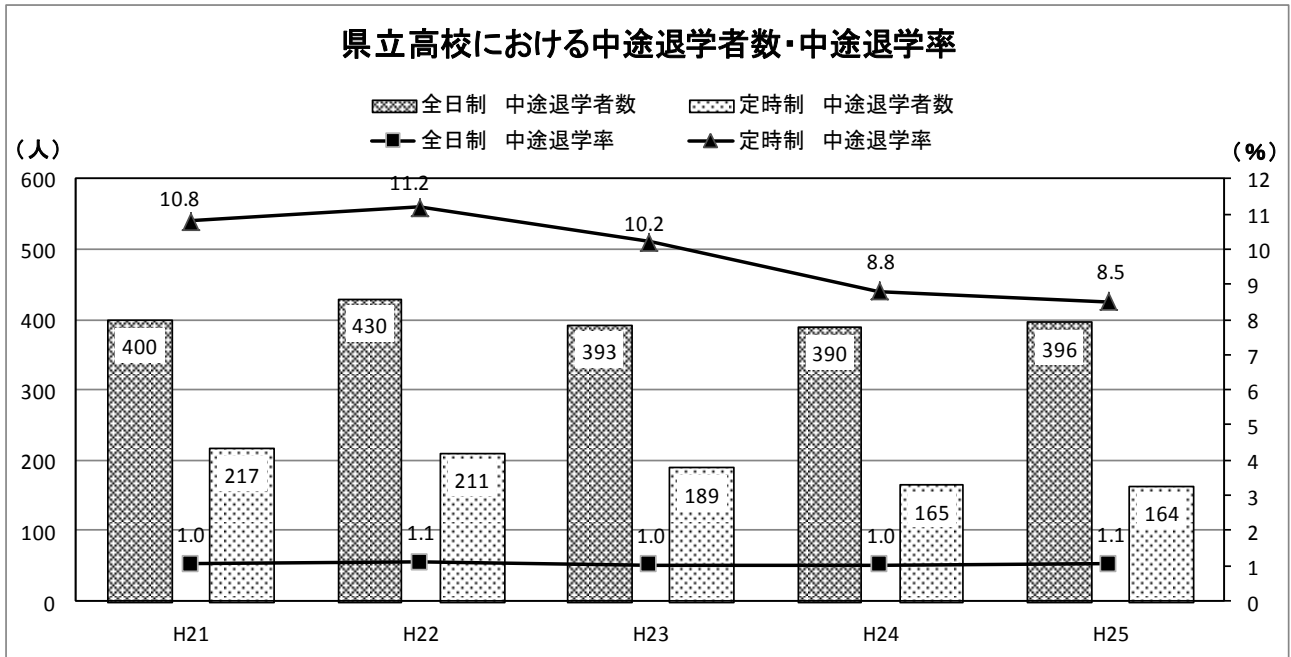
④ 学年別不登校児童生徒数の推移（三重県）



【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 中学1年生で不登校生徒が急増する傾向にあり、中学3年生で最も多くなっている。

⑤ 県立高校における中途退学者数および中途退学率の推移（三重県）

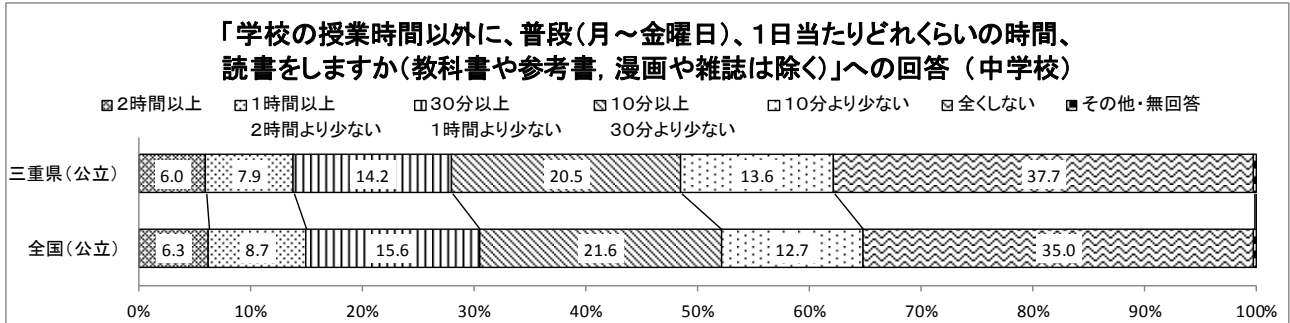
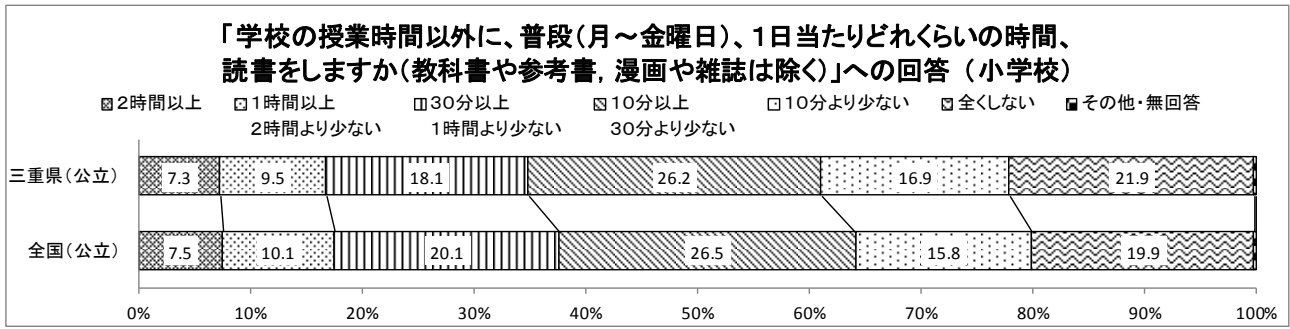


【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 中途退学者数・中途退学率は、全日制においては横ばい傾向、定時制においては減少傾向にある。

(6) 読書活動

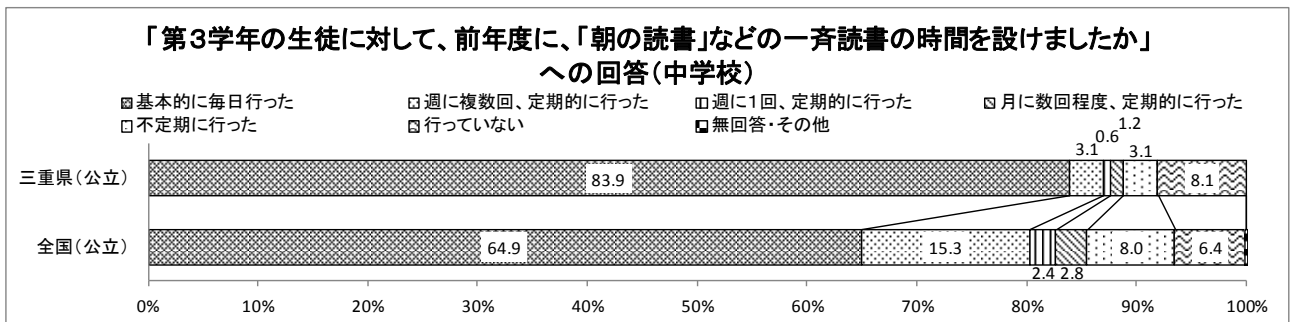
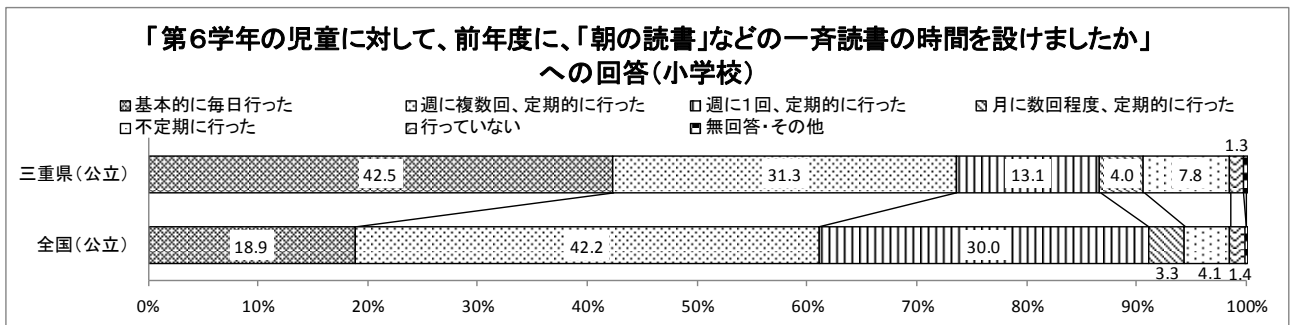
① 平日の1日当たりの読書時間



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 普段30分以上読書している小学6年生、中学3年生の割合は、全国平均より小さい。小学6年生では約22%、中学3年生では約38%が全く読書をしていない。

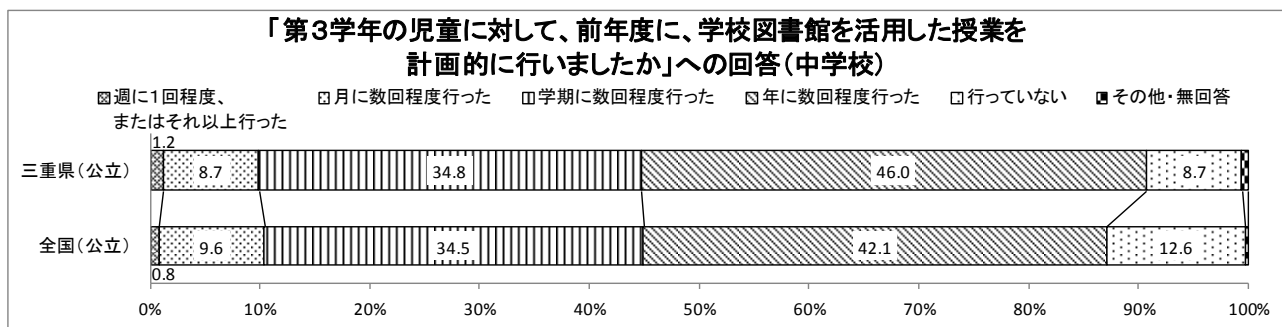
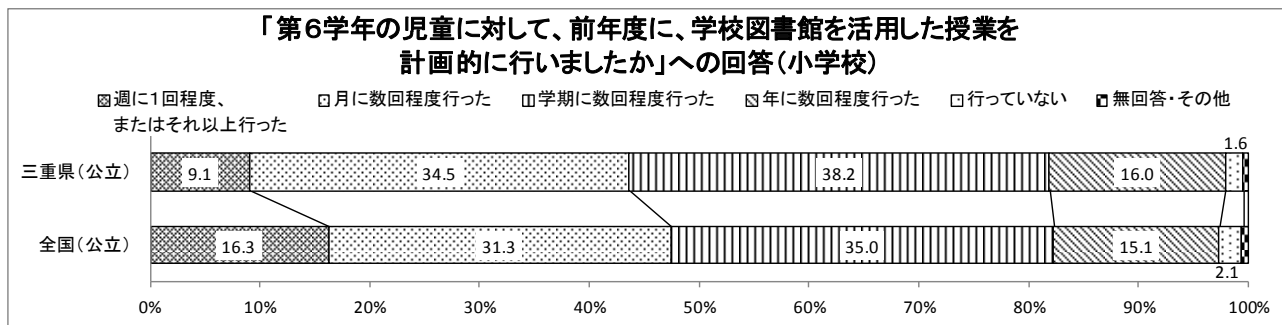
② 一斉読書の実施状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 一斉読書の時間を「基本的に毎日行った」「週に複数回、定期的に行った」と回答している小学校の割合は約74%、中学校の割合は約87%で、ともに全国平均より大きい。

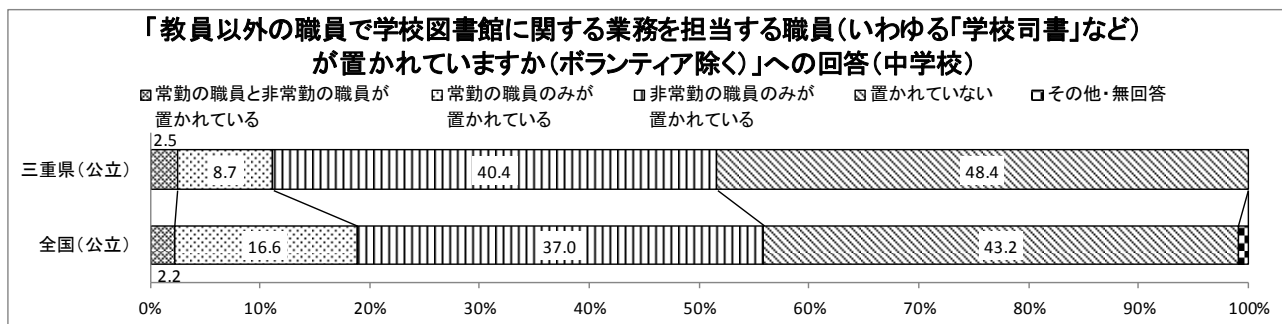
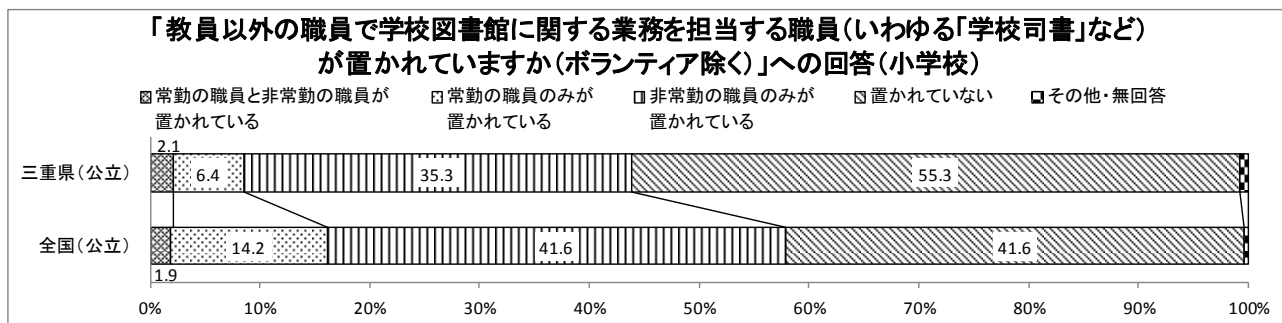
③ 学校図書館を活用した授業の実施状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- 学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」以上行ったと回答している小学校の割合は約82%で全国平均より小さい。中学校の割合は約45%で、全国平均とほぼ同じとなっている。

④ 学校図書館担当職員の配置状況

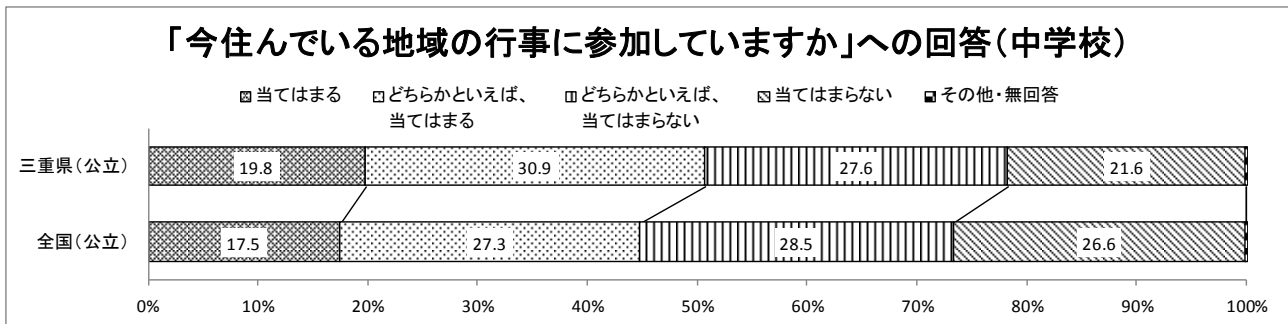
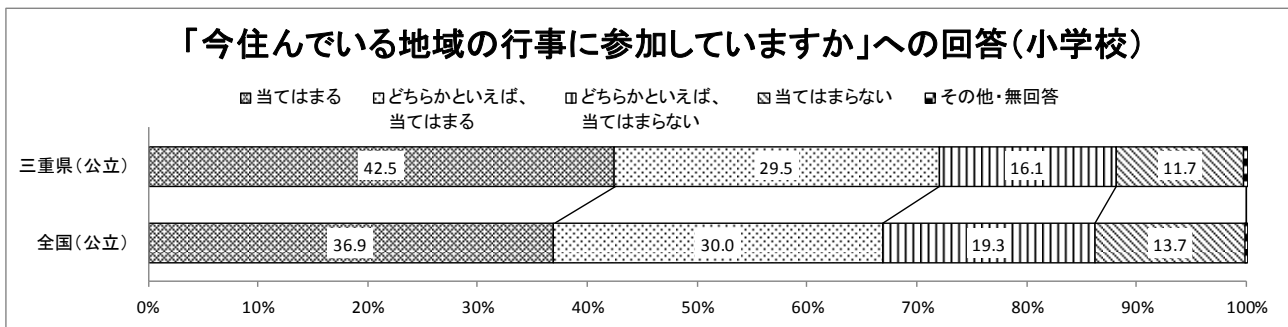


【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- 学校図書館担当職員(常勤もしくは非常勤)が配置されている小学校の割合は約44%、中学校は約52%で、全国平均より小さい。

(7) 文化芸術活動

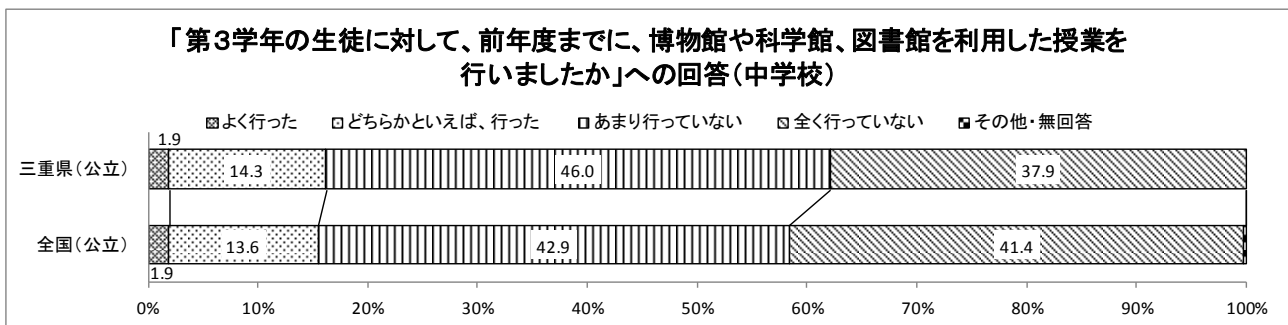
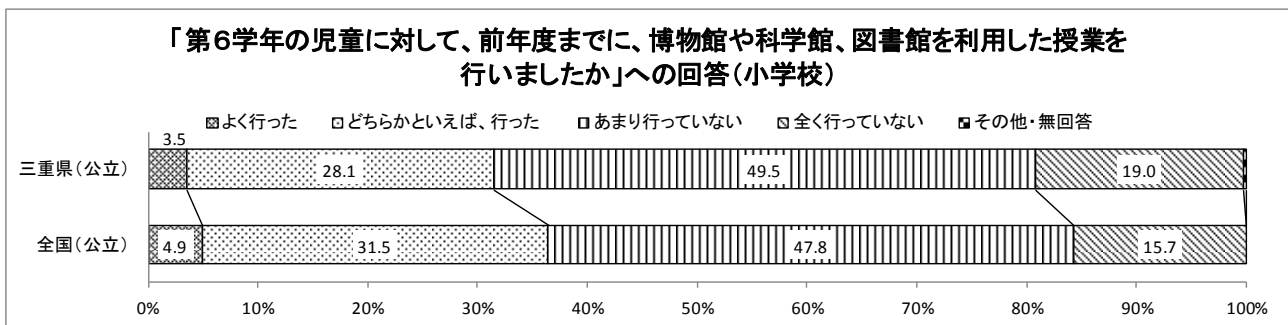
① 住んでいる地域の行事への参加



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 地域の行事に参加している、どちらかといえば参加していると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約72%、中学3年生の割合は約51%で、ともに全国平均より大きい。

② 博物館や科学館、図書館を利用した授業の実施状況

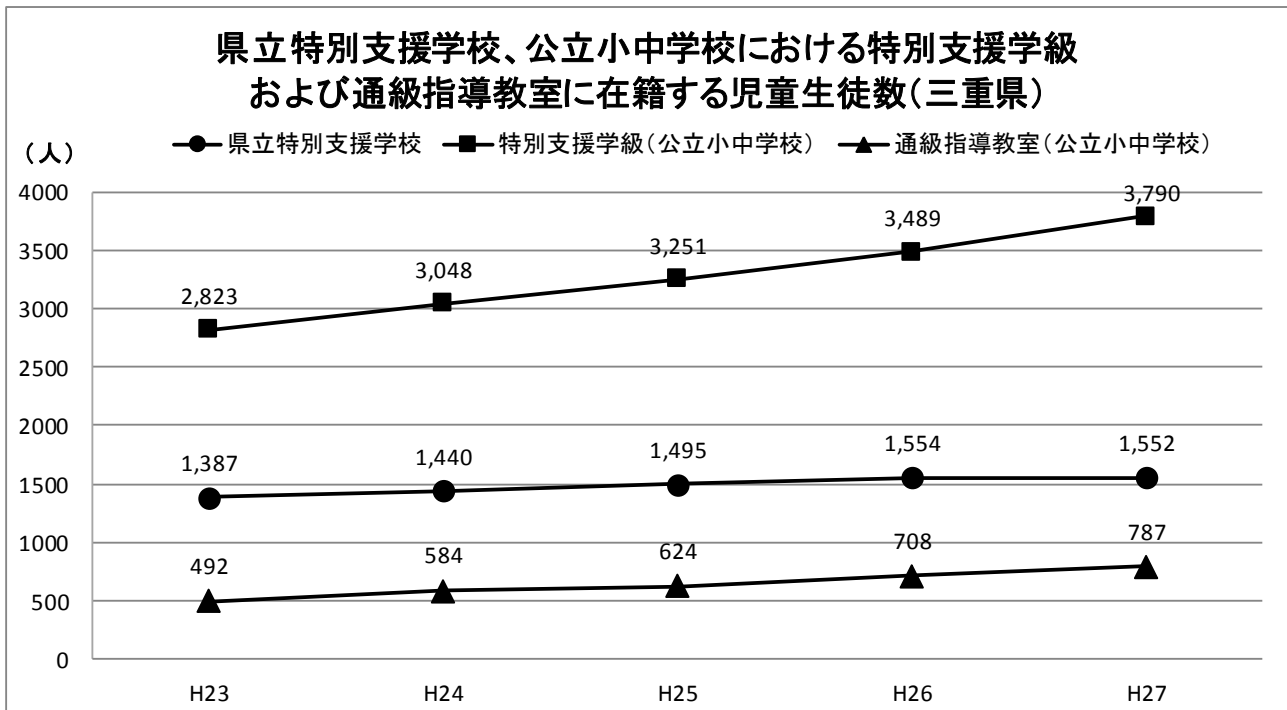


【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 博物館や科学館、図書館を利用した授業をよく行った、どちらかといえば行った小学校の割合は約32%で、全国平均より小さい。中学校の割合は約16%で、全国平均より大きい。

(8) 特別支援教育

① 特別支援学級等に在籍する児童生徒数の推移



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 全体として増加傾向にあるが、特別支援学級の在籍者数の増加が最も多い。

② 発達障がいの可能性のある児童生徒数の割合

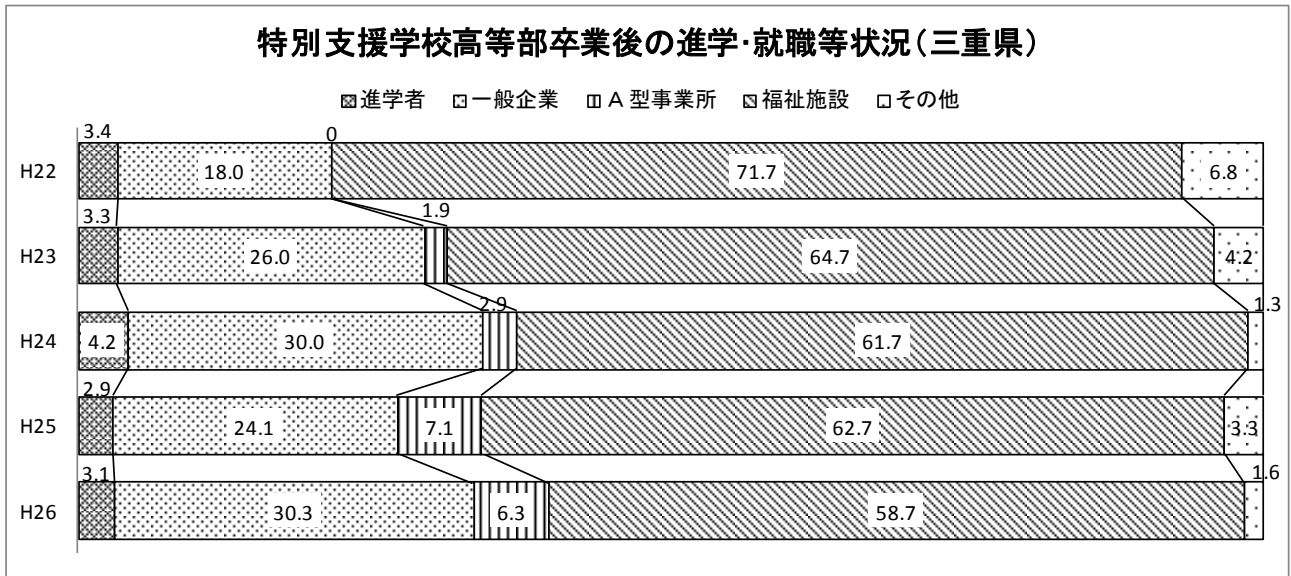
	小学校 (H23) * 公立小学校抽出(全国)	中学校 (H23) * 公立中学校抽出(全国)	高等学校 (H25) * 全県立高校(三重県)
児童生徒数の割合 (%)	7.7	4.0	1.4

※小中学校の結果【通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査 (文部科学省)】

※高等学校の結果【県立高等学校に在籍する発達障がいの可能性のある生徒に関する調査 (三重県教育委員会)】

- ・ 学校種が上がるほど、発達障がいの可能性のある児童生徒の割合は小さくなっている。

③ 特別支援学校卒業生の進路状況



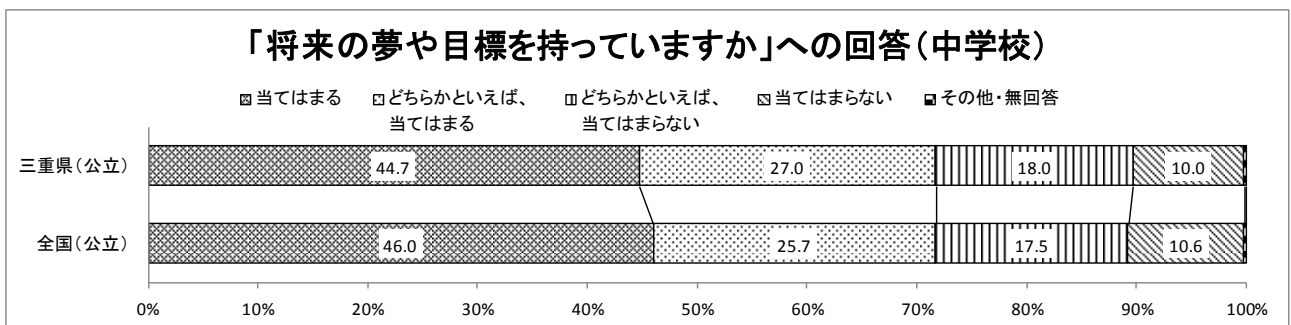
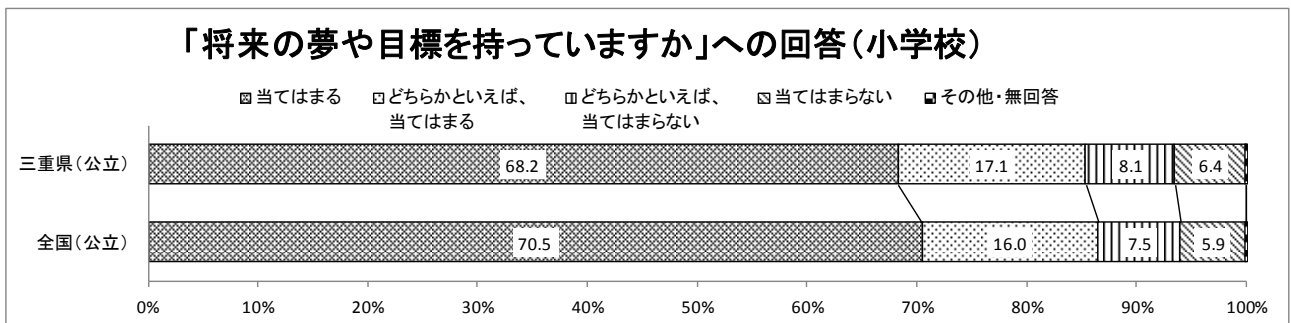
【三重県教育委員会調べ】

※ A型事業所=就労継続支援A型事業所

- ・ 一般企業への就職者が増加傾向となっている。

(9) キャリア教育・進路

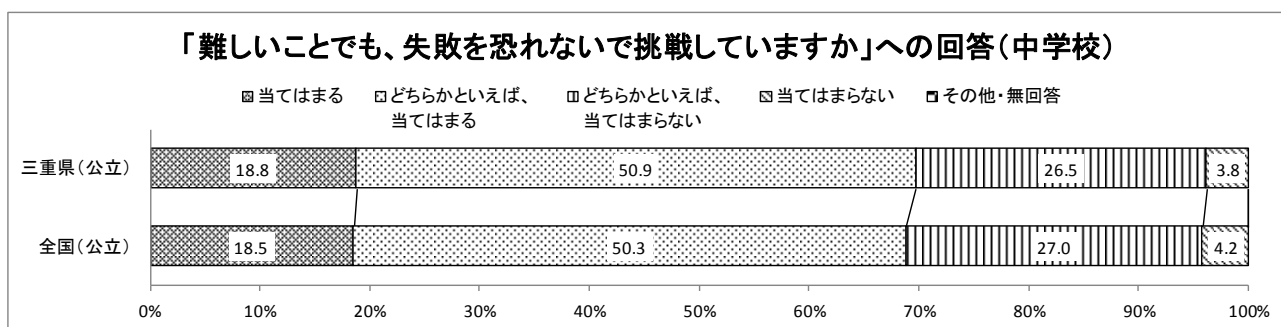
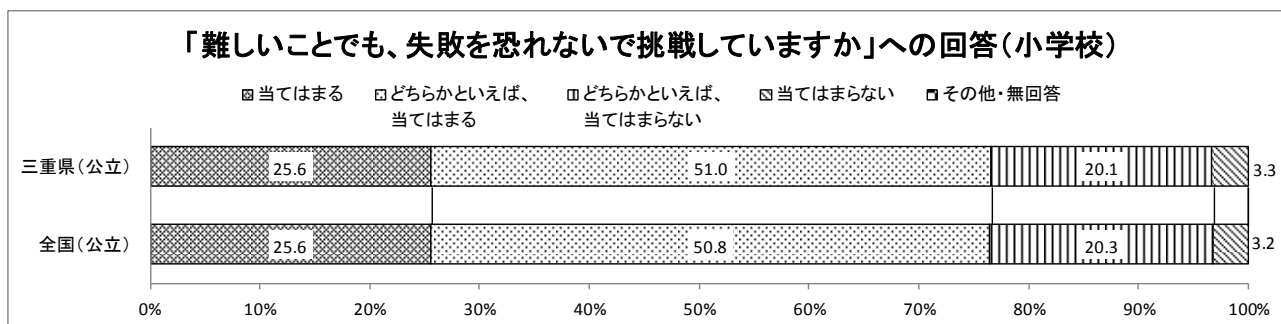
① 将来の夢や目標の有無



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約85%で、全国平均より小さい。中学3年生の割合は約72%で、全国平均と同じとなっている。

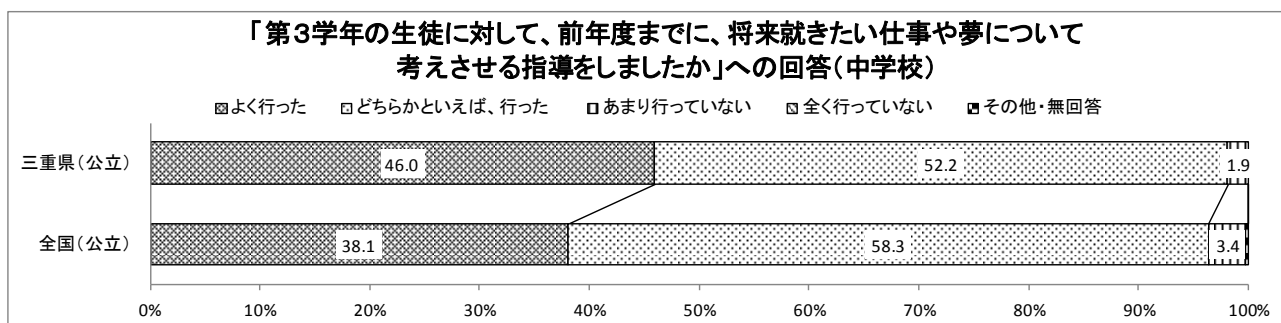
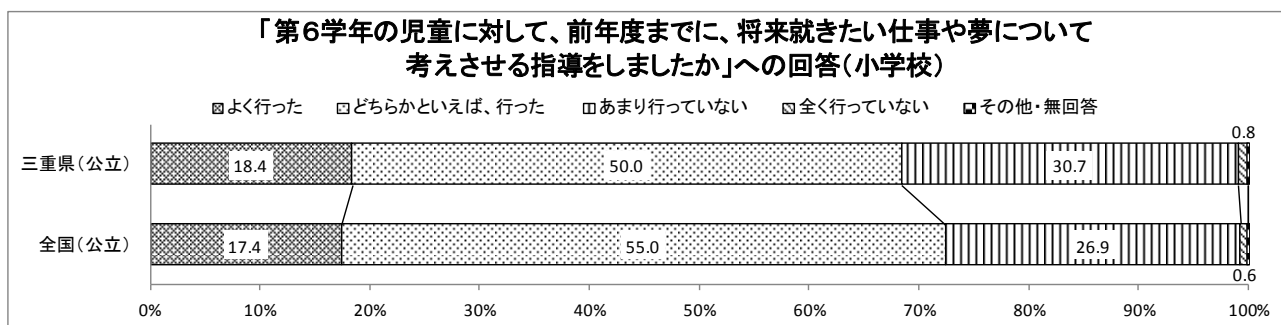
② チャレンジ精神



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえば挑戦していると肯定的な回答している小学6年生の割合は約77%で全国平均とほぼ同じとなっている。中学3年生の割合は約70%で、全国平均より大きい。

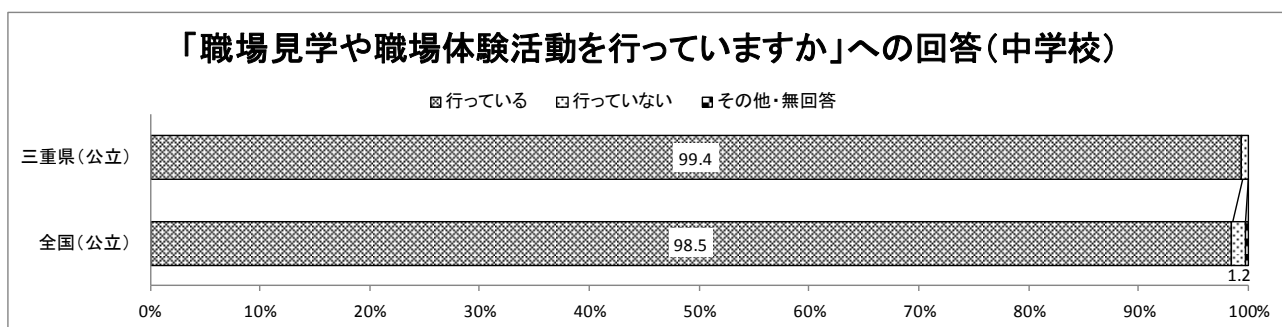
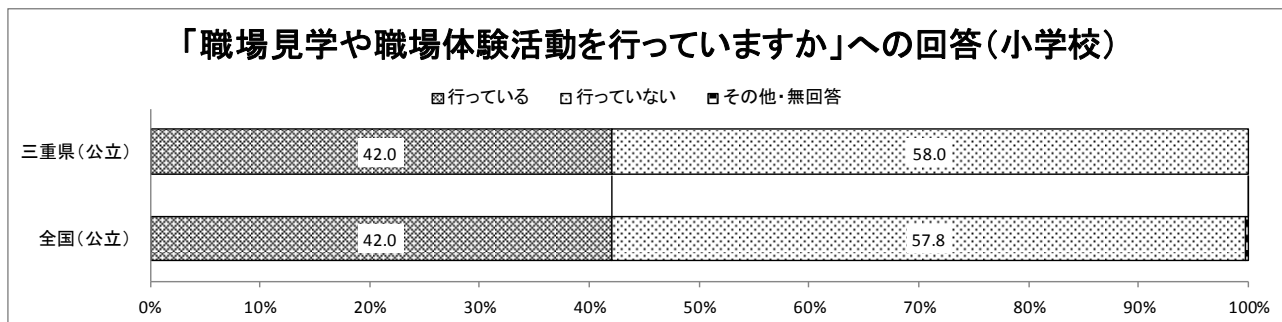
③ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 質問項目に対して肯定的な回答をしている学校の割合は、小学校では約68%で、全国平均より小さい。中学校では98%で、全国平均より大きい。

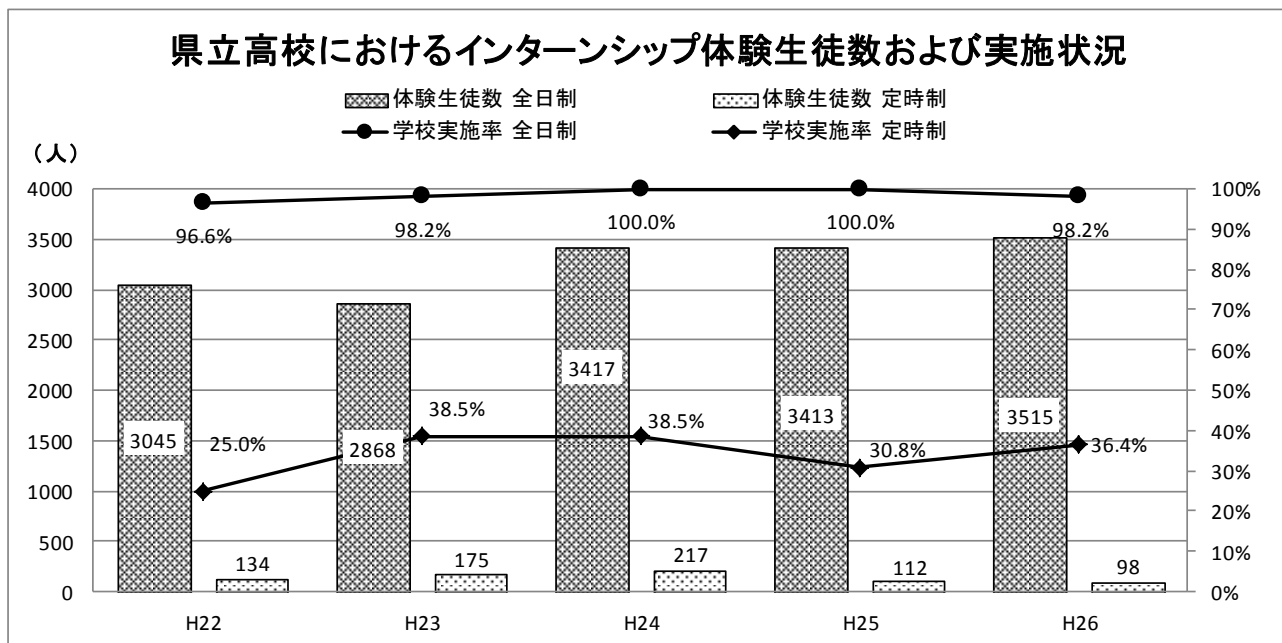
④ 職場見学・職場体験活動の実施状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 職場見学・職場体験活動を行っている小学校の割合は、42%で全国平均と同じである。また、中学校では、ほぼすべての中学校で職場見学や職場体験活動が行われている。

⑤ 県立高校におけるインターンシップの実施状況（三重県）

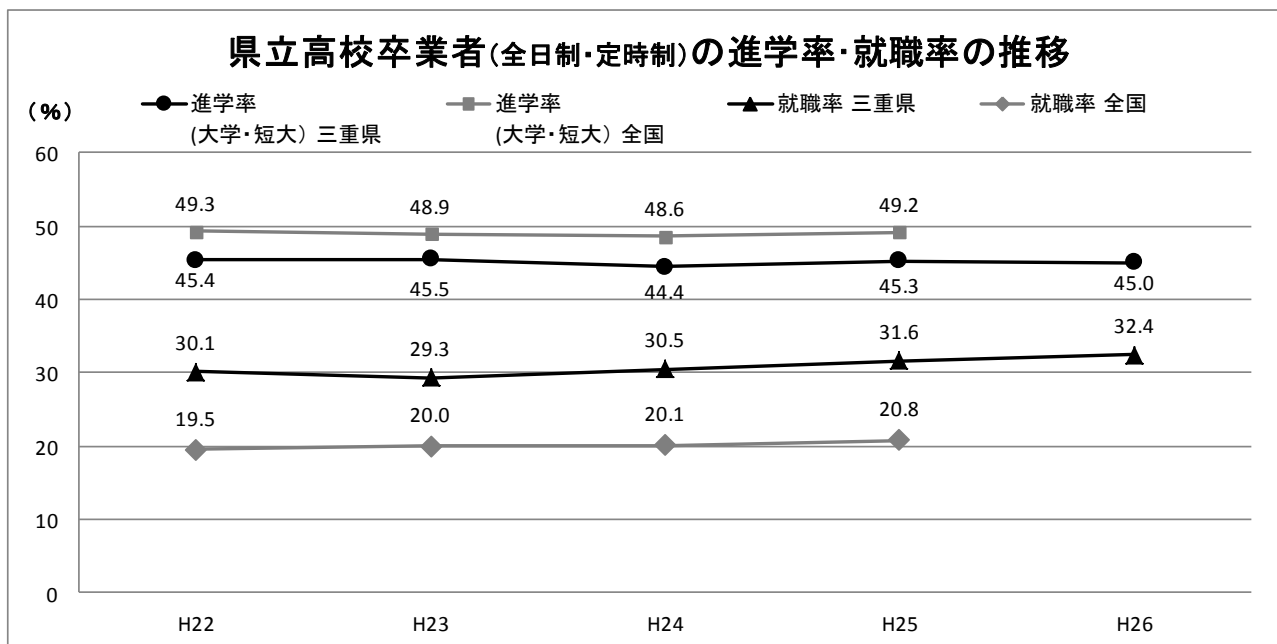


※ 体験生徒数は、在学中に1回以上体験した生徒（全日制においては3年生、定時制においては3・4年生）の数

【三重県教育委員会調べ】

- ・ 全日制高校におけるインターンシップ実施率はほぼ100%となっており、体験生徒数も増加傾向にある。

⑥ 県立高校卒業者の進学率・就職率の推移（三重県）

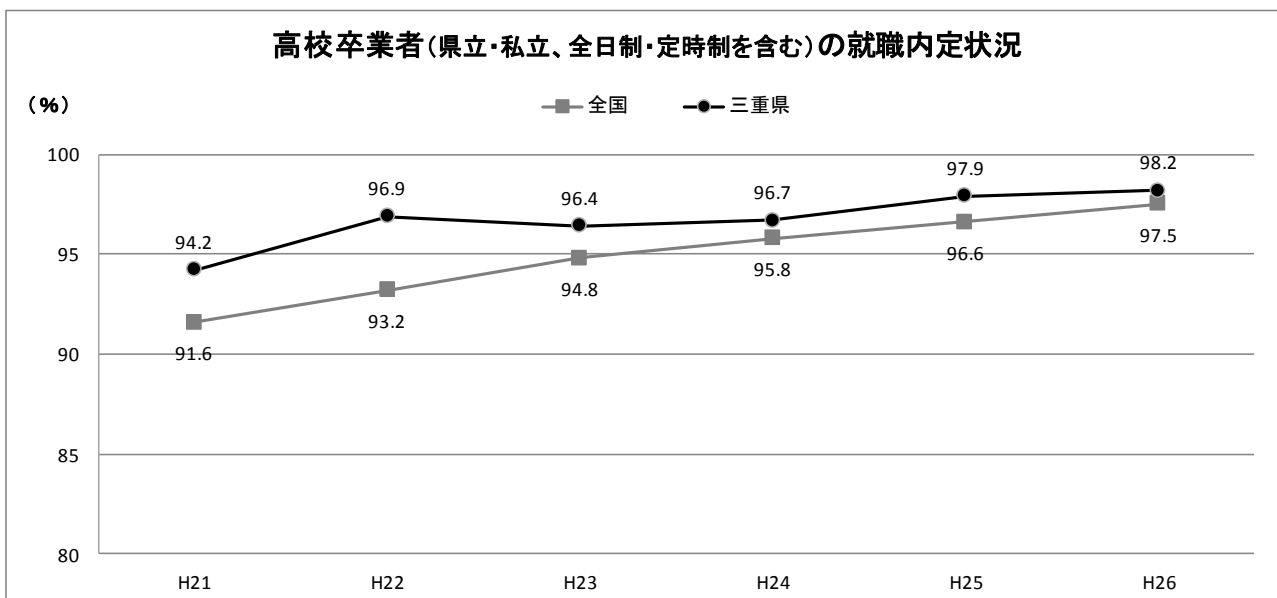


【学校基本調査（文部科学省）】

- ・ 大学・短大への進学率、就職率ともに過去5年間ほぼ同様の傾向となっている。本県は全国に比べて進学率が低く、就職率が高い。

* H26の全国値は平成27年12月頃に確定。

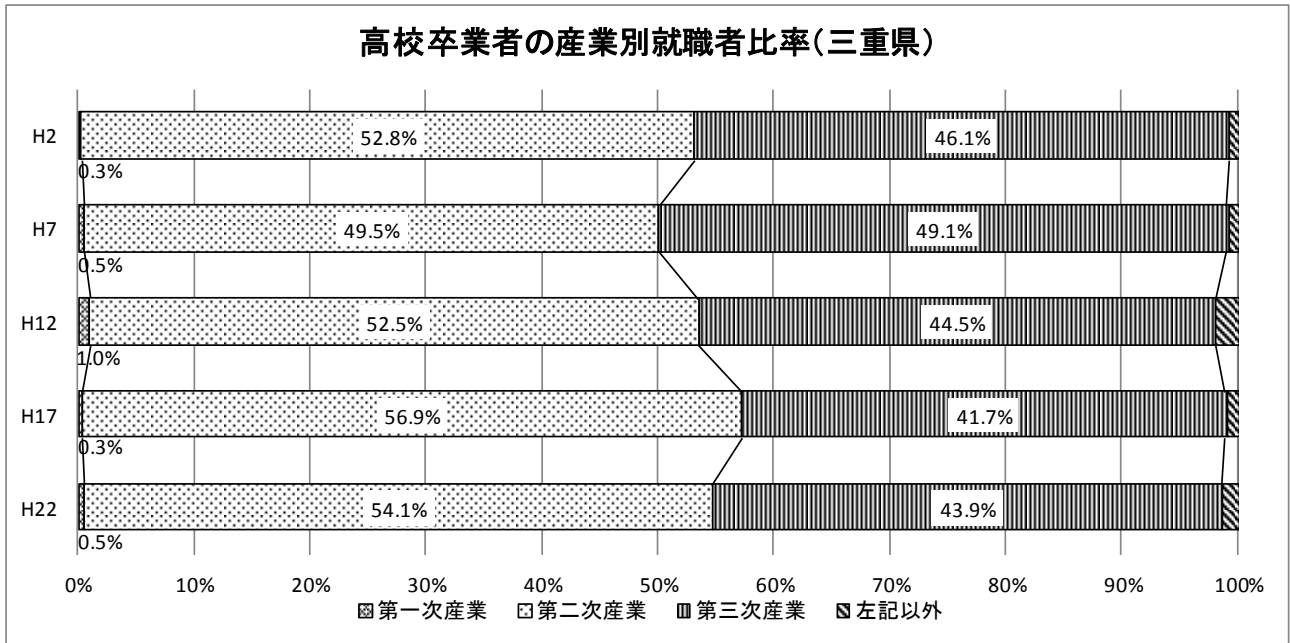
⑦ 高校卒業者（県立・私立、全日制・定時制を含む）の就職内定率の推移



【高等学校卒業者の就職状況に関する調査（文部科学省）】

- ・ 高校卒業者の就職内定率は、全国平均を上回っている。

⑧ 高校卒業者の産業別構成比の推移

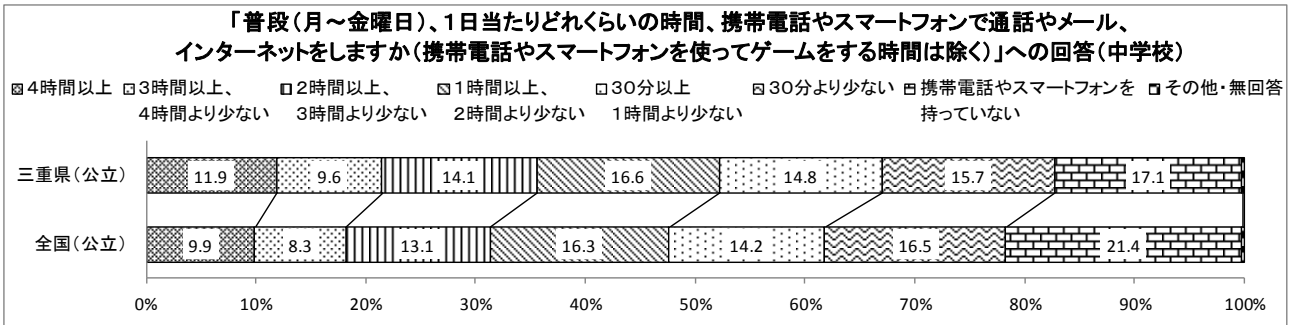
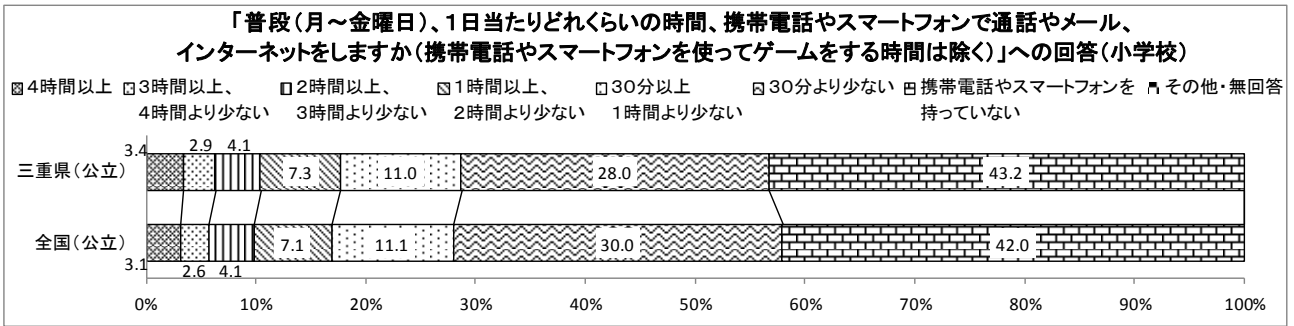


【国勢調査（総務省）】

- ・ 高校卒業者の就職産業の比率に大きな変化はない。

(10) 情報モラル教育

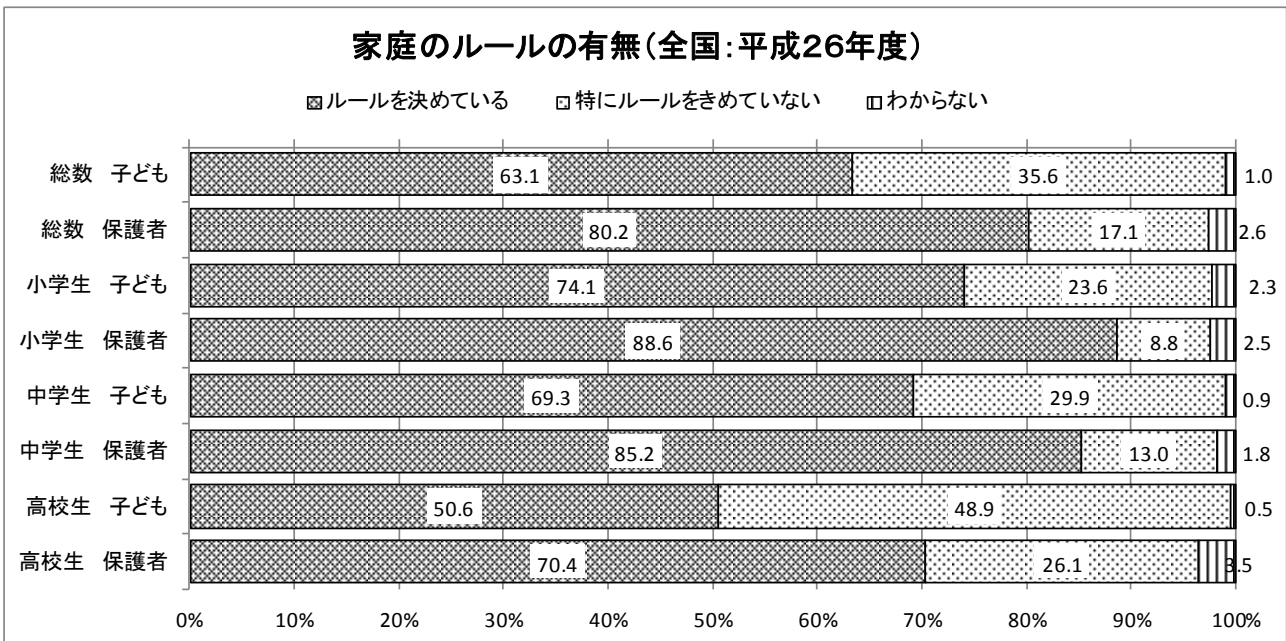
① 携帯電話やスマートフォンの使用状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 1日当たり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール等をしている小学6年生の割合は約18%、中学3年生の割合は52%で、全国平均より大きい。

② インターネット利用に関する家庭のきまりの有無



【平成26年度青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)】

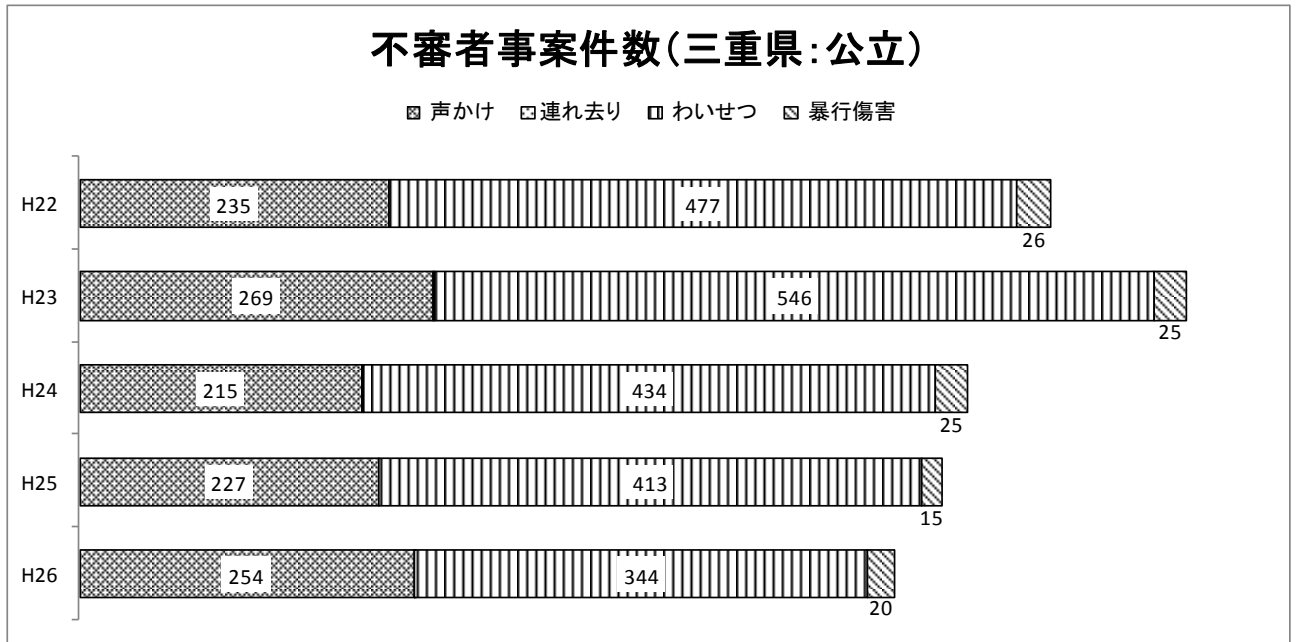
- ・ インターネット接続機器の使い方について、「ルールを決めている」との回答は、いずれの学校種でも保護者の回答が子どもの回答を上回っている。

※「インターネット接続機器」: 携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、タブレット型携帯端末、携帯音楽プレーヤー

3 子どもたちを取り巻く環境

(1) 安全・安心

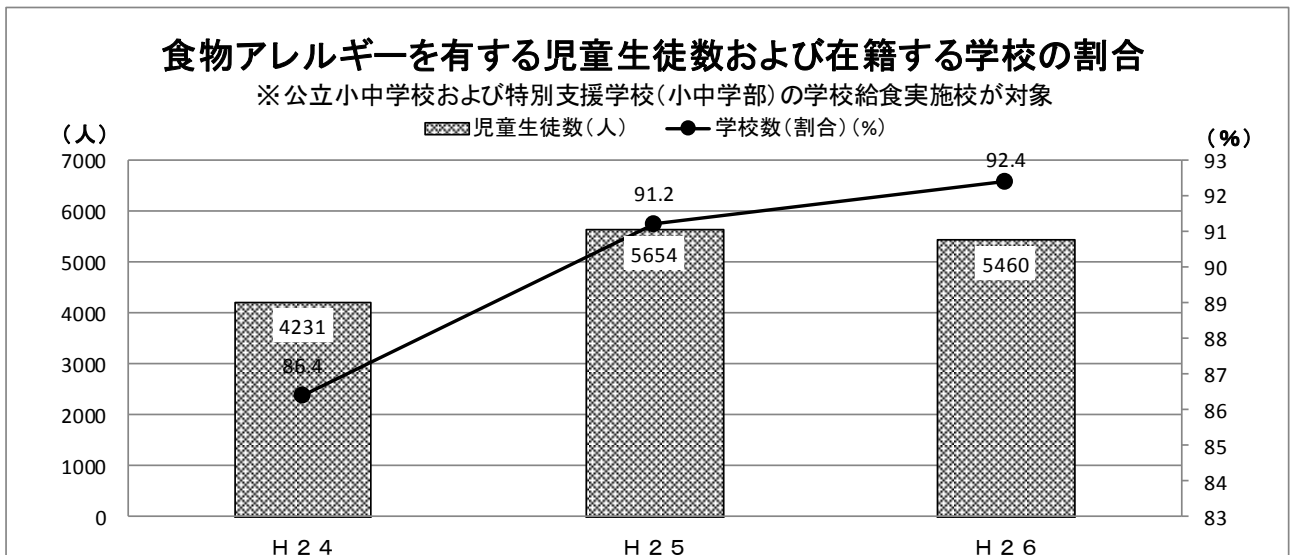
① 不審者事案の件数



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 年度によって差異はあるが、不審者事案は毎年600件以上発生している。

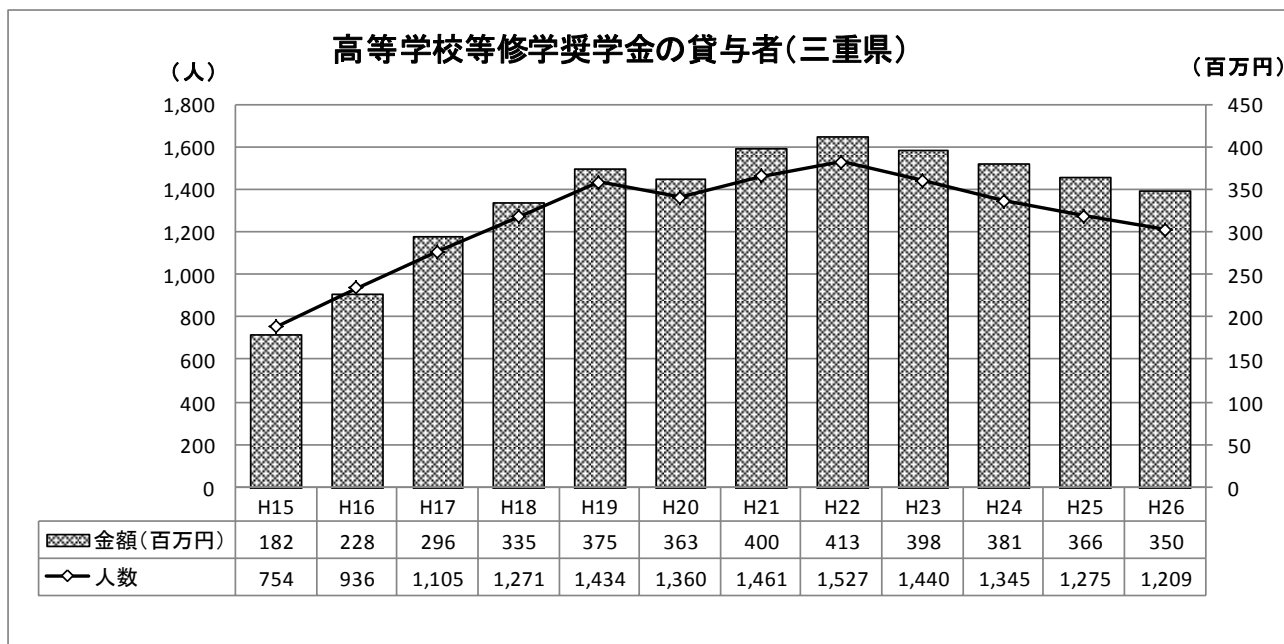
② 児童生徒の食物アレルギーの現状 (三重県)



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 食物アレルギーを有する児童生徒数および在籍する学校数は増加傾向となっている。

③ 奨学金貸与者数



【三重県教育委員会調べ】

- 貸与者数は平成22年度をピークに減少傾向となっている。

④ 学校防災リーダーを中心とした防災教育・防災対策の推進状況(三重県)

防災教育・防災対策を推進している学校の割合

	小・中・県立学校	
		うち県立学校
平成24年度	99.7%	100.0%
平成25年度	100.0%	100.0%
平成26年度	100.0%	100.0%

【三重県教育委員会調べ】

- 防災教育・防災対策は、すべての学校で推進されている。

⑤ 校舎・屋内体育館の耐震化率(三重県)(平成27年4月現在)

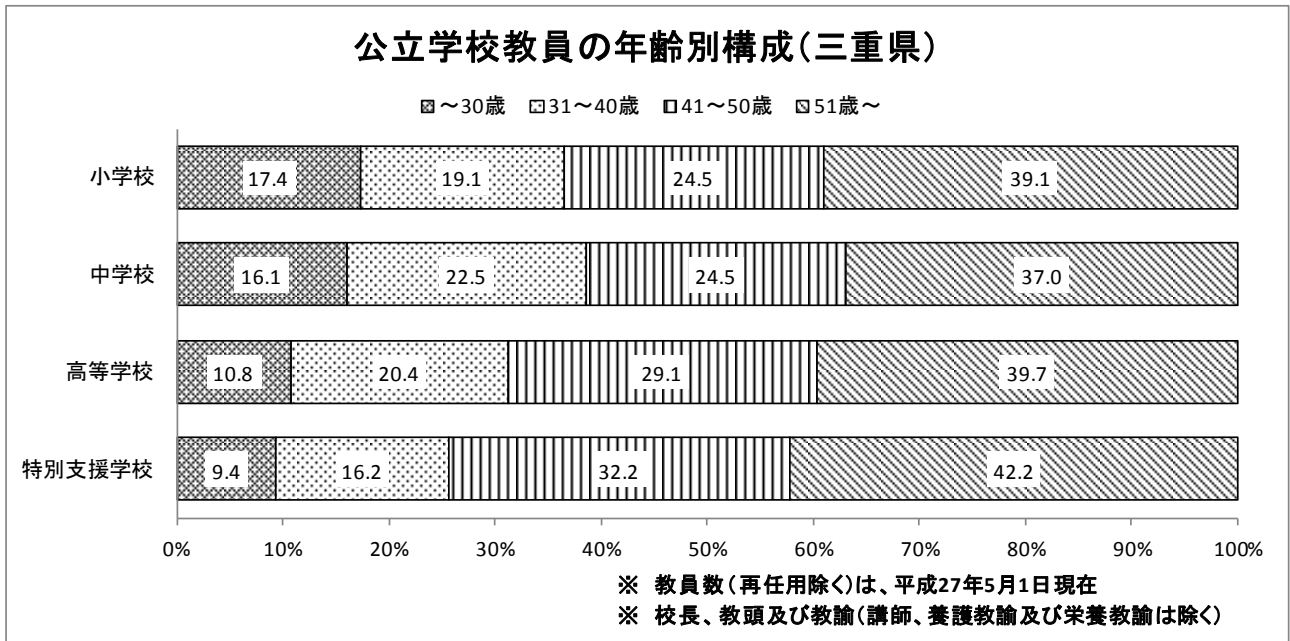
	公立	私立
高等学校	100.0%	90.2%
特別支援学校	100.0%	100.0%
小中学校	98.5%	100.0%
幼稚園	100.0%	99.0%

【三重県教育委員会及び三重県私学課調べ】

- 校舎・屋内体育館の耐震化は、公立学校、私立学校とも進みつつある。

(2) 教員

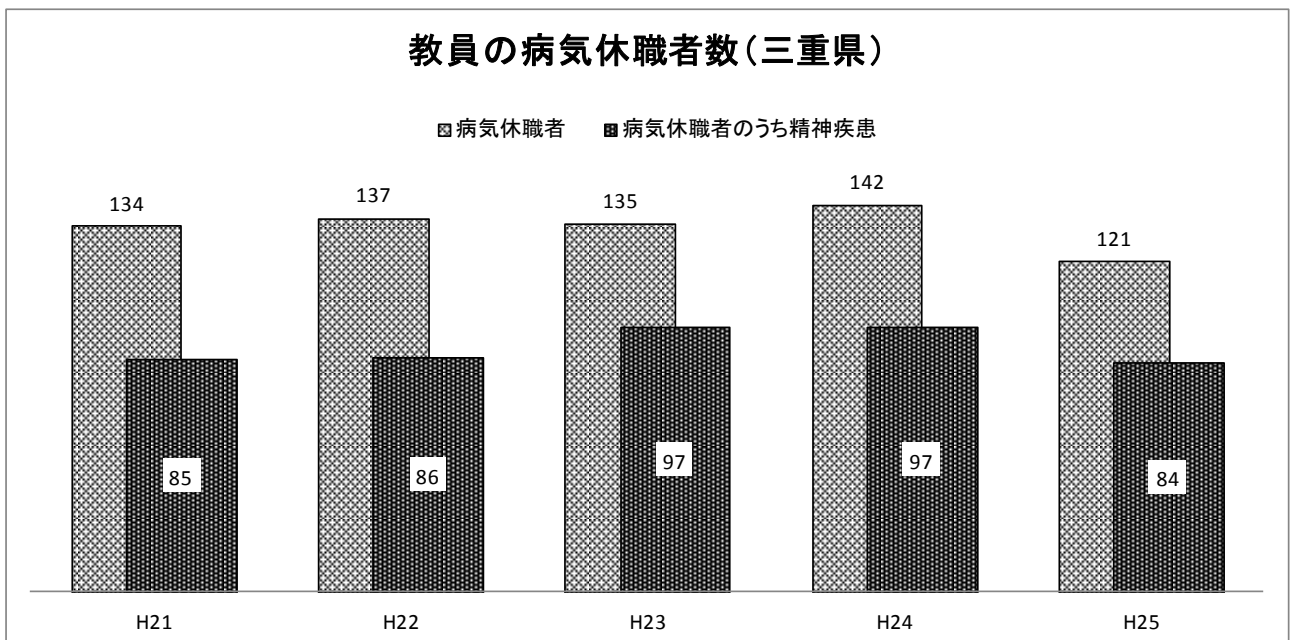
① 教員の年齢構成



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 各校種とも51歳以上の占める割合が4割程度になっている。

② 教員の病気休職者数



【公立学校教職員の人事行政の状況調査(文部科学省)】

- ・ 病気休職者のうち精神疾患による休職者数が増加傾向にあったが、平成25年度は減少した。

③ 教職員の満足度

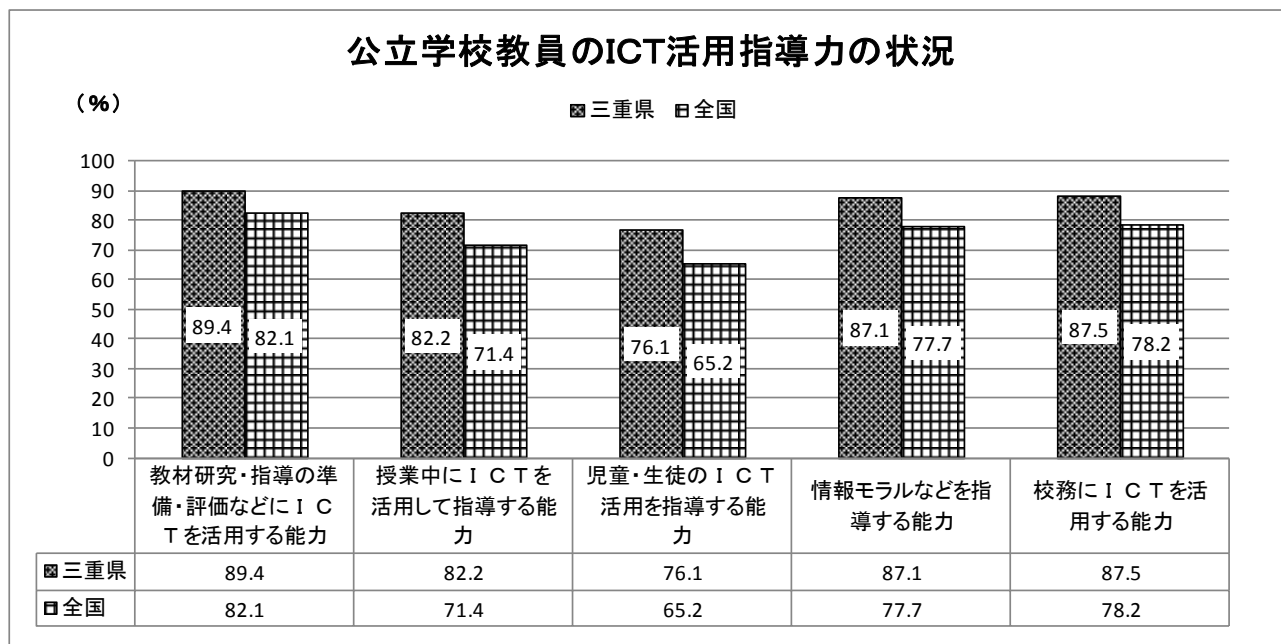
平成26年度 教職員満足度調査（設問別 満足度・重要度の平均点）

		満足度(各5点満点)			重要度(各5点満点)		
		平均	順位	項目別	平均	順位	項目別
仕事に関する設問	①今の仕事にやりがいがありますか。	3.85	1	3.40	4.43	1	4.07
	②今の仕事を楽しめますか。	3.38	7		4.21	3	
	③仕事の配分は公平ですか。	2.65	17		3.74	16	
	④管理職は学校の運営や業務に関する職員の提案や意見をよく聞いていますか。	3.72	3		4.14	6	
	⑤職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会がありますか。	3.58	4		3.72	17	
	⑥過度の精神的不安を感じることなく仕事をすすめることができますか。	2.89	12		4.17	5	
	⑦能力や仕事への姿勢、成果は正当に評価されていますか。	3.34	9		3.92	13	
	⑧仕事を進めていくうえで、相談できる人がいますか。	3.77	2		4.25	2	
勤務条件の設問	⑨仕事の内容や責任に見合った給与を受けていますか。	2.65	16	2.49	4.14	8	3.74
	⑩職場では休暇が取りやすいですか。	2.57	18		3.96	12	
	⑪福利厚生の事業は役に立っていますか。	2.73	15		3.15	20	
	⑫現在の総勤務時間は適切ですか。	2.14	20		3.96	11	
	⑬人事異動は適切ですか。	2.77	14		3.85	15	
	⑭昇任のしくみは適切ですか。	2.81	13		3.40	19	
職場環境の設問	⑮職場の環境は快適ですか。	3.01	11	3.03	4.14	7	4.00
	⑯休憩・休息など「ホッ」とできる場所がありますか。	2.34	19		3.89	14	
	⑰セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントを許さない雰囲気がありますか。	3.49	5		4.00	10	
	⑱自由に意見や提案ができるなどみんなが協力しあう雰囲気がありますか。	3.37	8		4.20	4	
	⑲研修への積極的な参加について支援がなされていますか。	3.42	6		3.63	18	
	⑳職場では、必要な情報が確実に共有されていますか。	3.03	10		4.14	9	
計		61.53		3.08	79.02		3.95

【三重県教育委員会調べ】

- 全体の満足度は、100点満点中61.53点で、昨年度59.82点より高くなった。満足度が高いものは、「①仕事のやりがい」「⑧相談できる人がいる」「④管理職への対案意見」となっている。「①仕事のやりがい」「⑧相談できる人がいる」は、重要度も高い。一方、満足度が低いものは、「⑫総勤務時間」「⑯休憩・休息場所」「⑩休暇の取りやすさ」となっている。

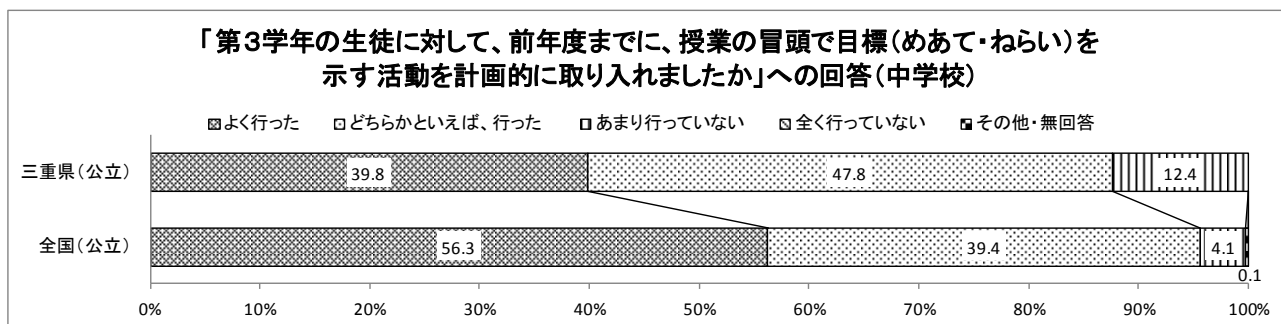
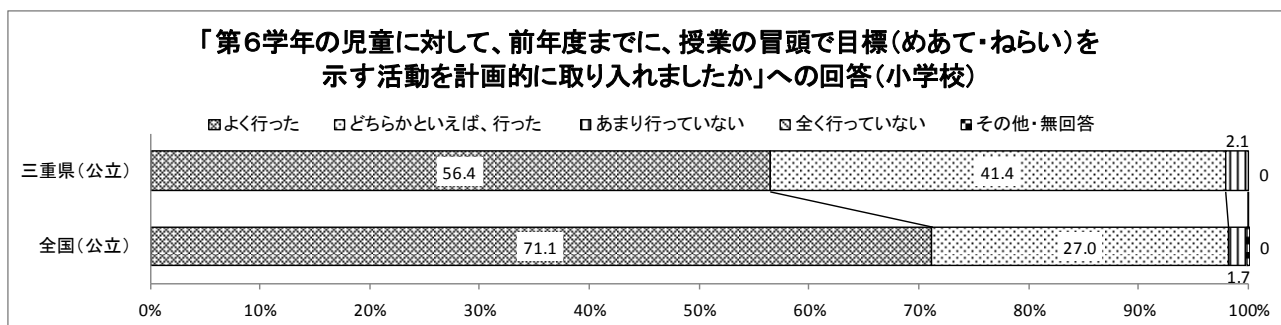
④ 教員のICTを活用する能力



【平成26年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）】

- ・ 三重県の教員のICTを活用する能力は、調査項目すべてにおいて全国平均を上回っている。

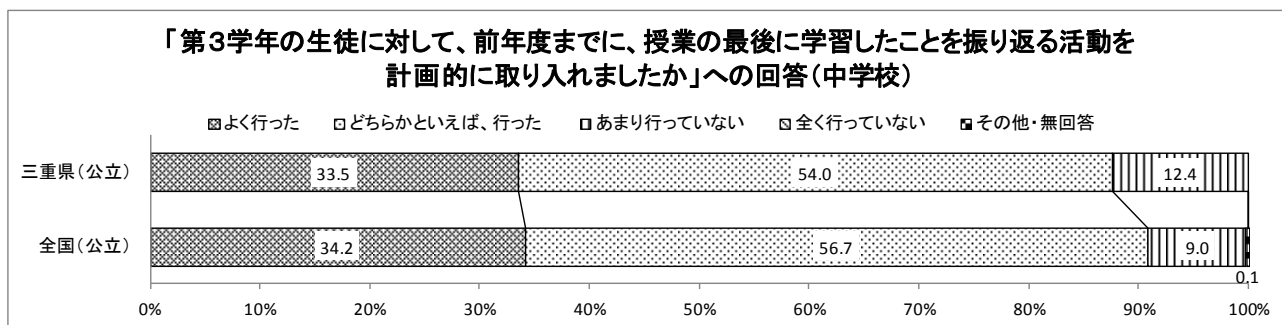
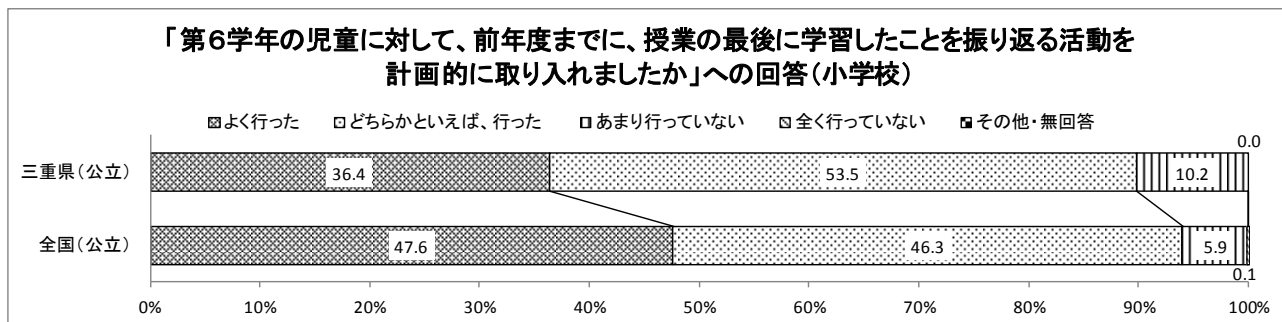
⑤ 授業の目標（めあて・ねらい）の提示状況（学校への質問）



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動をよく行った、どちらかといえば行ったと肯定的な回答をしている小学校の割合は約98%で全国平均とほぼ同じとなっている。中学校の割合は約88%で、全国平均より小さい。

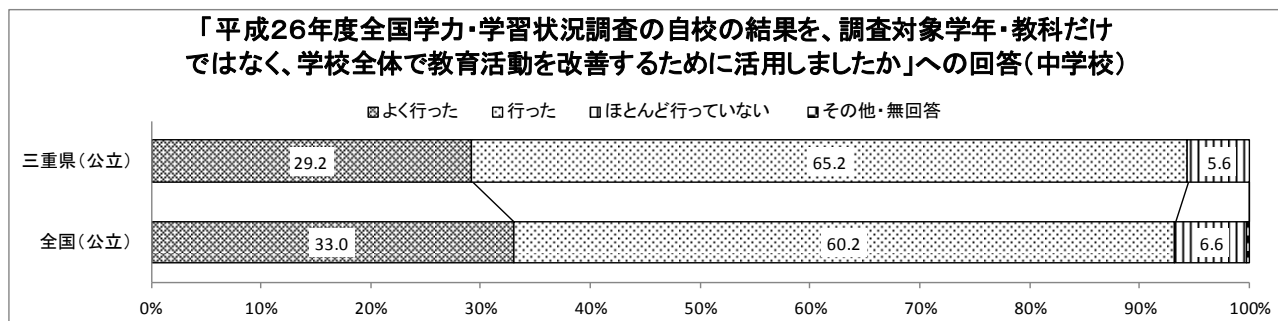
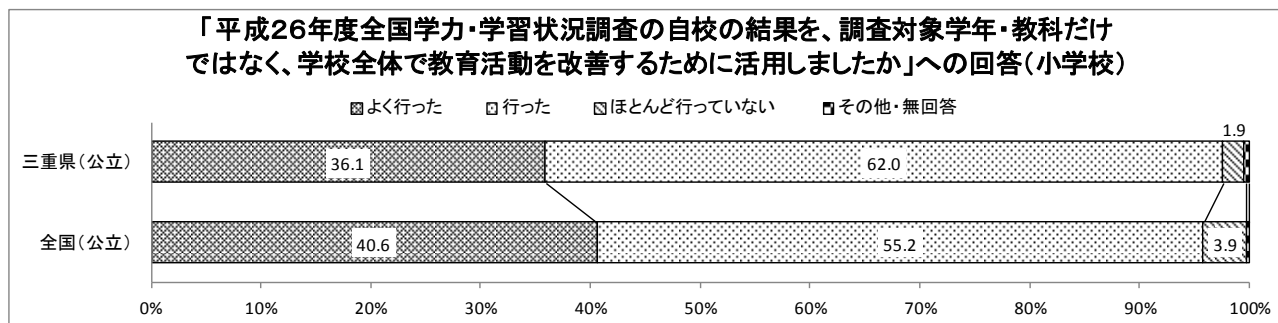
⑥ 授業の振り返り活動の取組状況（学校への質問）



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことについて振り返る活動をよく行った、どちらかといえば行ったと肯定的な回答をしている小学校の割合は約90%、中学校の割合は約88%で、ともに全国平均より小さい。

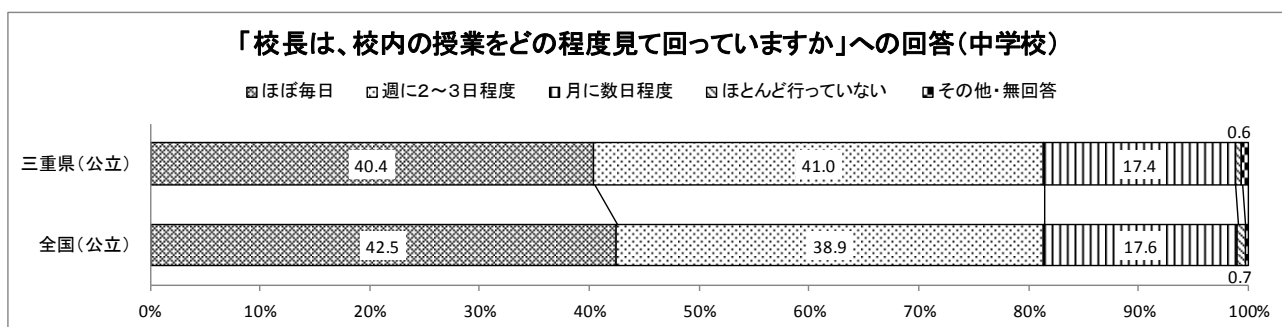
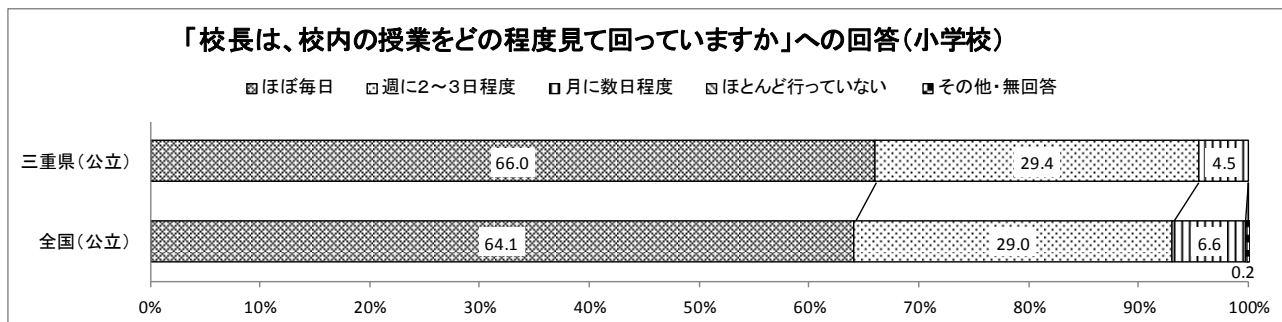
⑦ 平成26年度全国学力・学習状況調査結果の学校全体での活用状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体での教育活動の改善への活用をよく行った、行ったと肯定的な回答している小学校の割合は約98%、中学校の割合は約94%で、ともに全国平均より大きい。

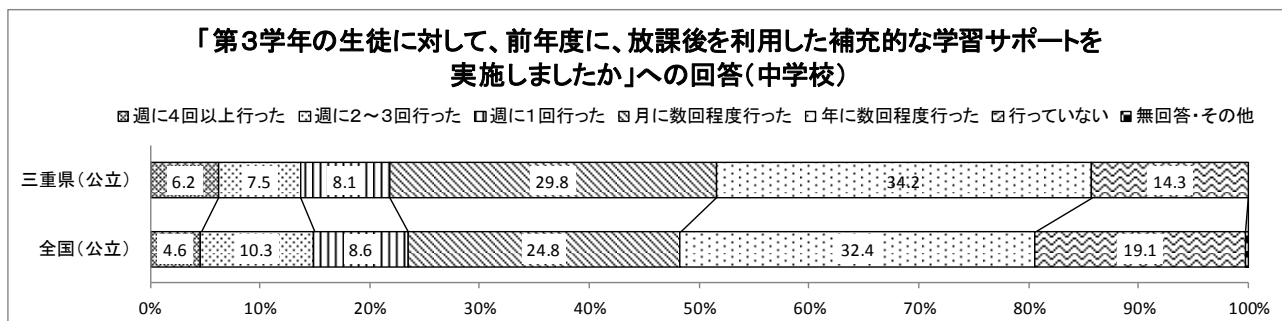
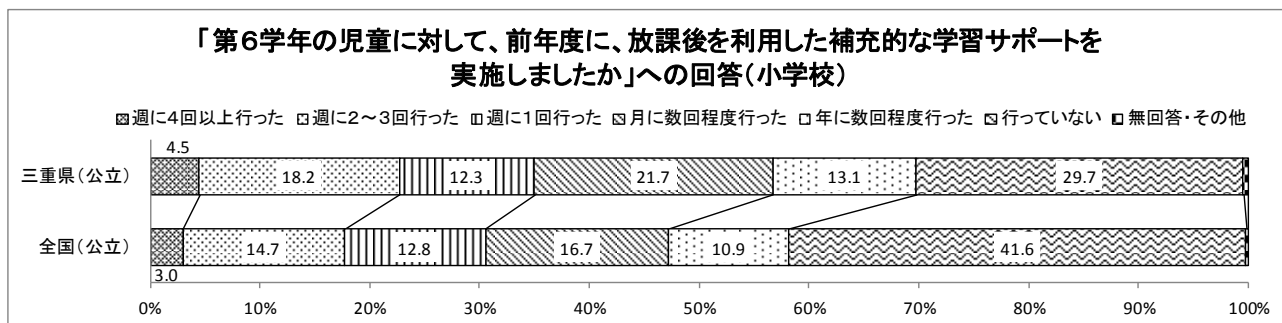
⑧ 校長の授業見回り状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 校内の授業を「ほぼ毎日」、「週に2～3日程度」見て回っていると回答している校長の割合は、小学校では約95%で、全国平均より小さい。中学校では約81%で、全国平均と同じとなっている。

⑨ 放課後の補足的な学習サポートの実施状況

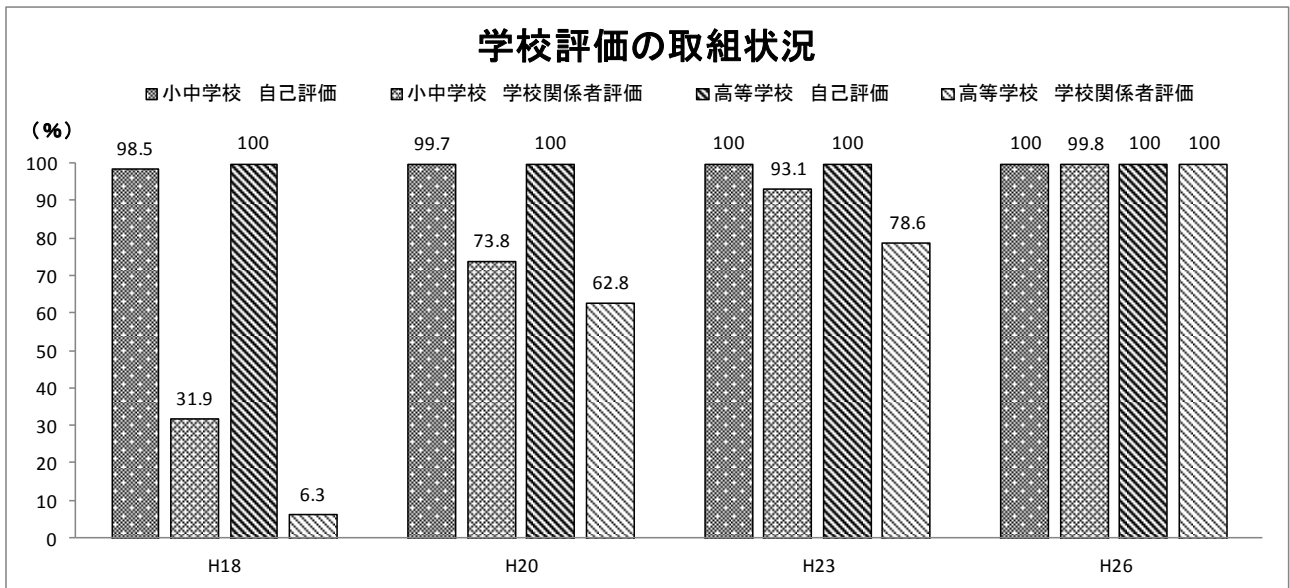


【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、放課後を利用した補足的な学習サポートを、週に1回以上実施した小学校の割合は約35%で、全国平均より大きい。中学校の割合は約22%で、全国平均より小さい。

(3) 学校

① 学校評価の取組状況（三重県）



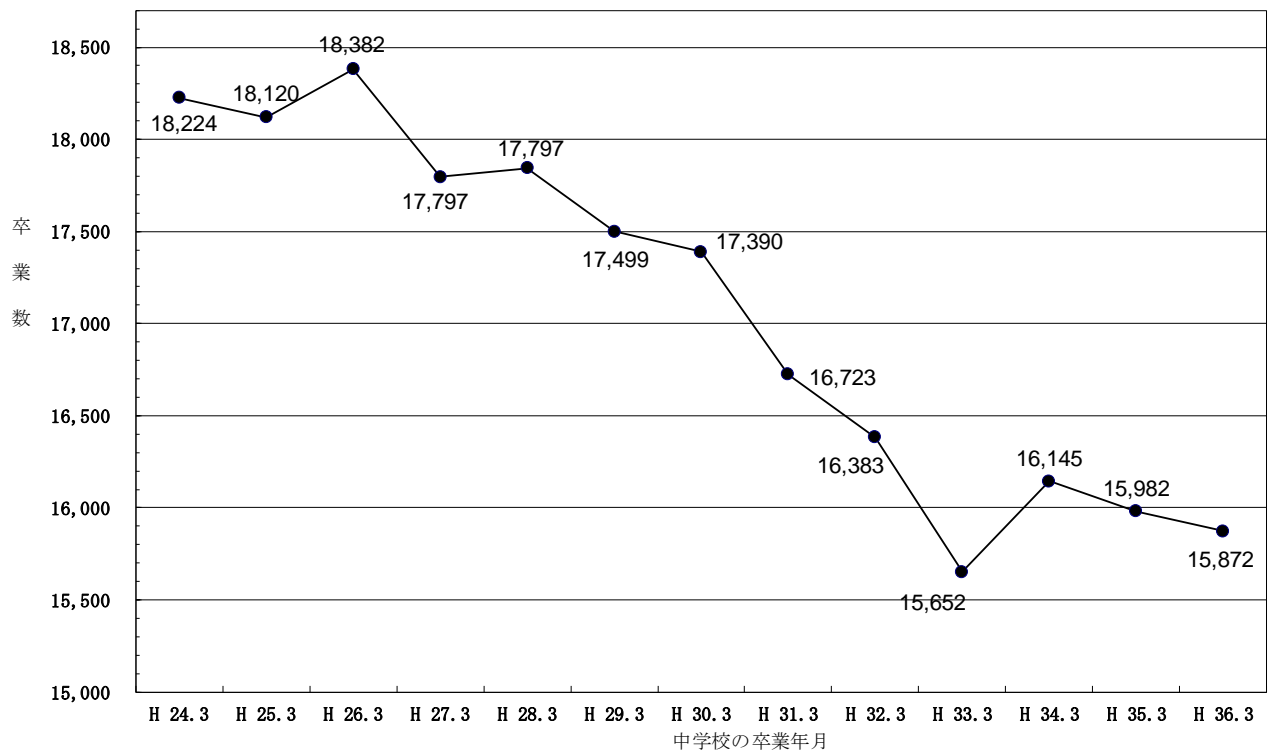
【学校評価と情報提供の実施調査（文部科学省）】

- ・ 学校評価の取組は浸透してきている。特に近年、学校関係者評価の浸透が著しい。

② 三重県内の中学校卒業生数の推移と予測

三重県中学校卒業生数の推移と予測(含社会増)

平成27年5月1日調査



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 中学校卒業生数は年々減少傾向にある。

③ コミュニティ・スクール（*1）の状況

コミュニティ・スクール一覧（指定年月日） ※計 60 校（予定 1 校含む）

小学校（41校）	津市立南が丘小学校	(H17年12月26日)
	いなべ市立立田小学校	(H19年6月1日)
	いなべ市立石樽小学校	(H19年6月1日)
	御浜町立尾呂志学園小学校	(H20年5月1日)
	鈴鹿市立小学校 全30校	(H23年4月1日)
	志摩市立鶴方小学校	(H23年5月1日)
	亀山市立加太小学校	(H24年4月1日)
	松阪市立第四小学校	(H25年4月1日)
	松阪市立港小学校	(H25年4月1日)
	亀山市立川崎小学校	(H26年4月1日)
	亀山市立昼生小学校	(H27年4月1日)
尾鷲市立尾鷲小学校	(H27年度中に設置予定)	
中学校（17校）	津市立朝陽中学校	(H19年5月1日)
	御浜町立尾呂志学園中学校	(H20年5月1日)
	伊勢市立厚生中学校	(H21年10月22日)
	伊賀市立城東中学校	(H22年10月1日)
	鈴鹿市立中学校 全10校	(H23年4月1日)
	松阪市立鎌田中学校	(H25年4月1日)
	津市立南が丘中学校	(H27年4月1日)
	多気町立勢和中学校	(H27年4月1日)
高等学校（2校）	三重県立紀南高等学校	(H19年6月1日)
	三重県立白山高等学校	(H25年4月1日)

【三重県教育員会調べ】

* コミュニティ・スクール：保護者や地域住民が、学校の方針決定や教職員の人事について、一定の権限を持って学校運営に関与するタイプの公立学校。教育委員会が指定した学校に学校運営協議会を設置することによって実現する。

④ 学校支援地域本部（*1）の設置状況

		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度
設置市町数		6	8	12	11	13
設置学校数	幼稚園	4	32	31	18	25
	小学校	78	120	139	159	165
	中学校	17	31	40	55	59
	合計（幼小中）	99	183	210	232	249

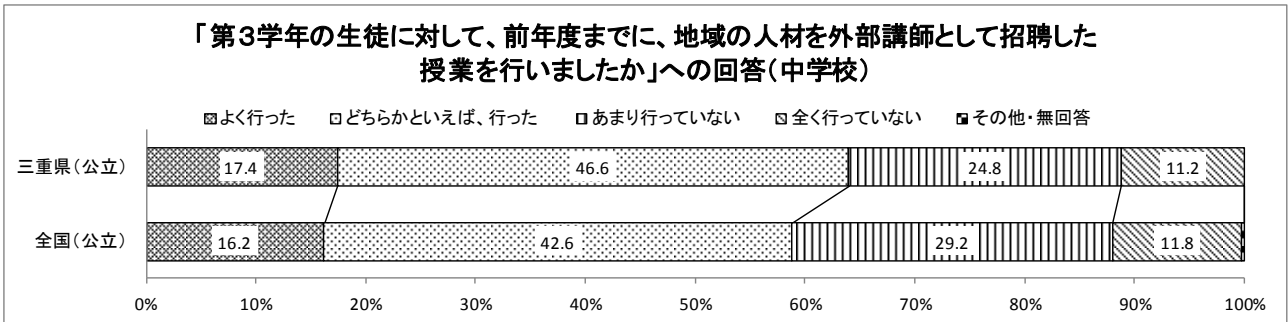
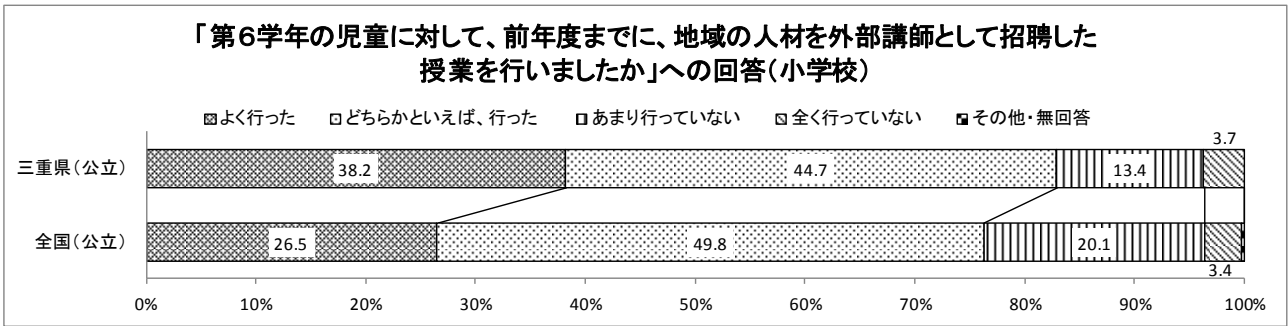
【三重県教育員会調べ】

平成27年度の小中学校の設置学校数は、224校（設置割合約42.0%）である。

- * 学校支援地域本部：学習支援等、学校の教育活動を支援するため、地域住民の学校支援ボランティアなどへの参加をコーディネートする組織で、いわば「地域につくられた学校の応援団」。地域住民が学校を支援する取組を組織的なものとし、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行い、教育の充実を図ろうとするもの。

(4) 家庭・地域の教育力の向上

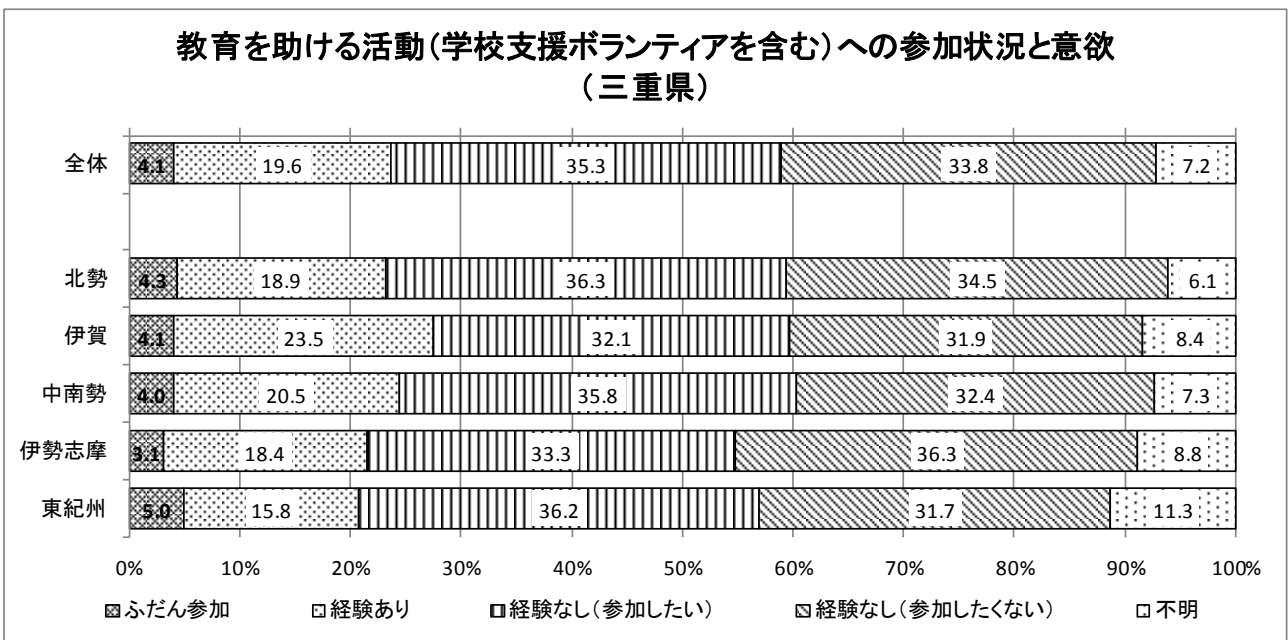
① 地域の人材を活用した授業の実施状況



【平成27年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 地域の人材を外部講師として招聘した授業をよく行った、どちらかといえば、行ったと回答している小学校の割合は約83%、中学校の割合は約64%で、ともに全国平均より大きい。

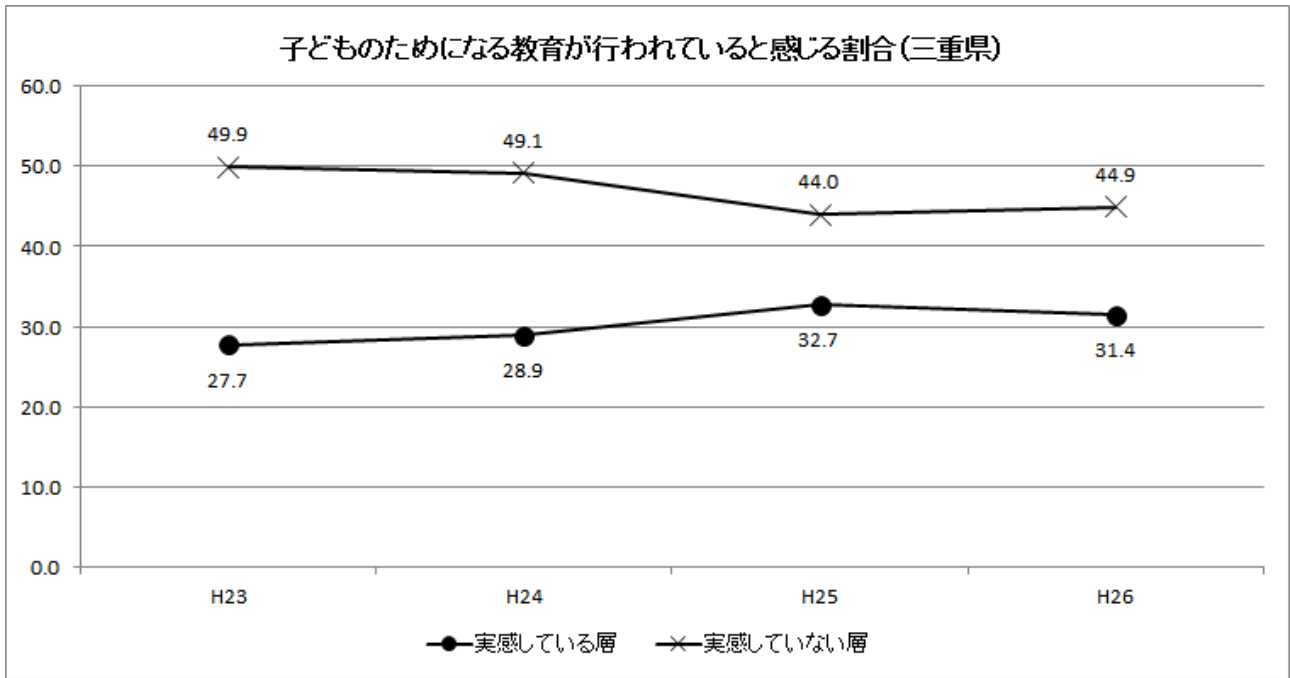
② 教育を助ける活動(学校支援ボランティアを含む)への参加状況と意欲



【平成25年度 みえ県民意識調査】

- ・ 教育を助ける活動へ普段参加している、参加している経験のある人の割合は、全体で約24%、参加経験はないものの参加したいと思っている人の割合は、全体で約35%となっている。一方、参加したくないと思っている人の割合も、全体で約34%となっている。

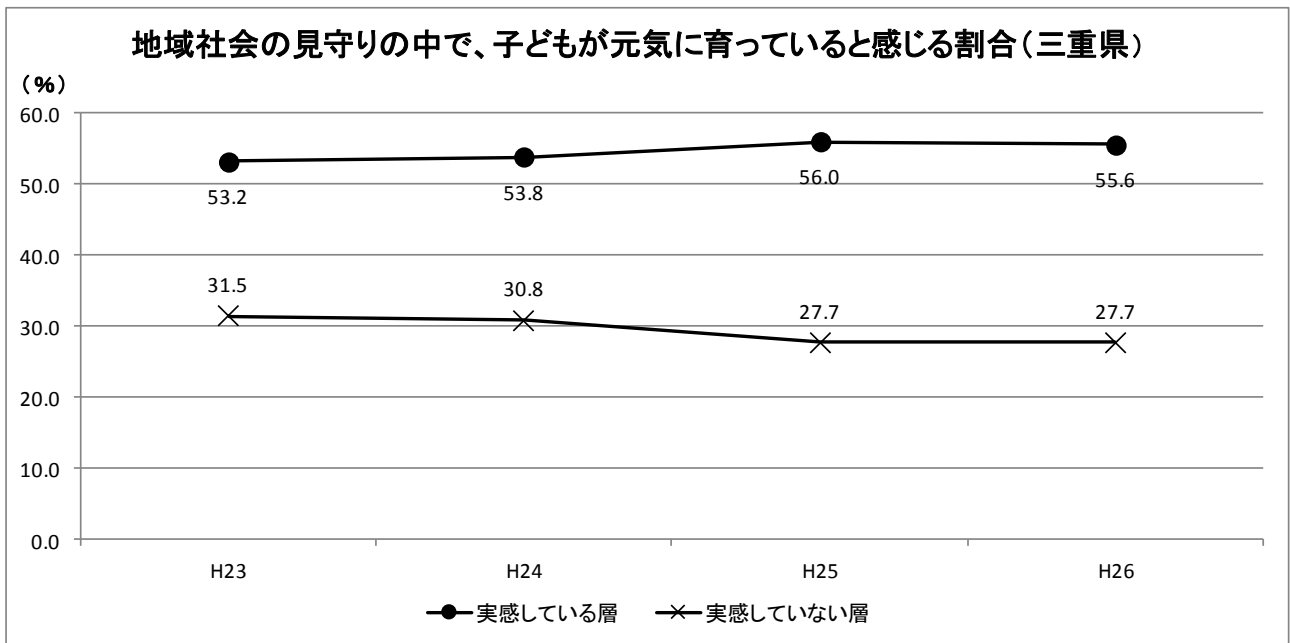
③ 子どものためになる教育が行われていると感じる割合



【みえ県民意識調査】

- ・ 数値は中期的に改善傾向を示しているが、子どものためになる教育が行われていると実感している層より、実感していない層の方が多数を占めている。

④ 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる割合



【みえ県民意識調査】

- ・ 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じている人の割合は、実感していない層が減少しつつあるなど、やや改善の傾向を示している。